

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO DECEMBER 2015 VOL.63 NO.12

ロータリーの友12月号 第63巻 第12号
平成27年12月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻756号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

12

2015

地域社会で汗を流す
自然災害に備えて

Rotary 



1968 — 69 年度

日本から初めての国際ロータリー会長が就任

『ロータリーの友』1968年7月号に「世界市民 東ヶ崎 潔」というタイトルで、日本から初めての国際ロータリー（R I）会長が、紹介されています。記事は「新 R I 会長は 1933 年以降日本に住んでいるが、生まれた地である米国とは深い絆で結ばれている。現在東京 R C の会員であるが、広く世界各地を旅し、自ら世界市民をもって任じている。ジョージ・キヨシ・トガサキというその名前も、二つの文化の影響を表わしているものと云えよう」という文章で始まっています。東ヶ崎潔 R I 会長のテーマは「PARTICIPATE！」。これが今までで一番短い R I テーマです。日本語では「参加し敢行しよう！」と訳されています。

贈り物を分かち合う

親愛なるロータリアンの皆さん、カナダ軍がオランダを解放した 1945 年、この国は飢餓の淵にありました。飢えに苦しむ多くの人を見て、とりわけ子どもたちに心を動かされ、その年、アペルドールン（オランダ中央東部の都市）近郊に配属されていたカナダ人の兵士四人は、できる限り多くのオランダの子どもたちにとって特別なクリスマスにしてあげようと決めました。

四人は仲間の兵士から、チョコレート、ガム、キャンディー、漫画本などを集めて回りました。軍務の合間には、木材と針金でおもちゃのトラックを作り、配給されたたばこを闇市へ流したお金で人形を買いました。それぞれが母国カナダにいる家族に思いを馳せつつ、今自分たちにできるのは駐留地オランダの子どもたちのクリスマスを楽しむものにとすることだと信じ、心血を注ぎました。

12 月 1 日には、プレゼントの詰まった 4 つの袋の準備が整い、その兵士たちは 25 日が来るのを心待ちにしていました。しかしその 2 日後、彼らはクリスマスを待たずして 12 月 6 日に母国へ引き揚げるとの指令を受けたのです。カナダに帰るのをうれしく思いながらも、複雑な心境の兵士たちは、用意したプレゼントを現地の児童養護施設に預け、クリスマスに子どもたちに開けてもらうことにしました。

オランダをたつ前夜、四人の兵士は児童養護施設へ向かいました。そのうちの一人は白ひげを付け、赤い帽子をかぶりました。その途中、彼らは、クリスマスまでまだ数週間もあるというのに、教会の鐘の音を耳にし、家々に明るく灯がともっているのを見て驚きました。ブーツで雪をザクザクと踏んで児童養護施設に近づくと、窓越しに二十数人の子どもたちが夕食を囲んでいるのが見えました。戦争が終わって 2～3 か月のことです。食料はまだ不足していてわずかな量の食べ物しかなく、子どもたちの顔は青白く、やせ細っていました。

サンタクロースに扮した兵士が、力強く、ドアを 3 回ノックすると、まるで魔法のように、子どもたちのざわめきが静まり返りました。ドアを開けた神父は驚きを隠せない様子で、続いて出てきた子どもたちは歓声とともに、サンタクロースの格好をした兵士の元へ駆け寄りました。クリスマスまで 3 週間ありましたが、オランダでは「シンタクラス」が、まさにその日、聖ニコラスの日の前夜、12 月 5 日にやってくるのです。

それから 1 時間ほど、子どもたちは喜びを抑えきれずに大騒ぎをしていました。プレゼントを開けて、お菓子をほおばり、人形を大切に抱きしめました。最後の木製のトラックとチョコレートは、辛抱強く順番を待ち続けていた小さな男の子の手に渡りました。その子は兵士たちにお礼を言うと、神父に向かってオランダ語で何かをささやきました。神父が笑顔で相づちを打つを見て、兵士の一人が尋ねました。「その子は何て言ったんですか？」

神父は目に涙を浮かべて言いました。「きっと来てくれるって信じてた」とあの子は言いました。

人々に喜びをもたらすことによって、自らが犠牲になることはありません。それどころか、喜びは増していくのです。贈り物を贈り合うこのシーズン、私たちはほかの人々と分かち合うことで、与えられてきた贈り物を増やそうではありませんか。クラブ、そしてロータリー財団を通じて、思いやり、優しさ、寛容の心をもって活動することで、世界へのプレゼントになり、いつまでもそうあり続けましょう。



原文（英語）は
こちらから

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

Ravi

K. R. RAVINDRAN
2015-16年度 国際ロータリー会長



世界へのプレゼントになろう



12月は疾病予防と治療月間です

- 3 RI 会長メッセージ
贈り物を分かち合う 
RI 会長 K. R. ラビンドラン
-
- 17 疾病予防と治療
カンボジアで乳がんの検診
広島南RC 井内 康輝
院内感染を予防する
第2760地区 2013-16年度職業研修チーム委員長 福田 哲三
-
- 22 心は共に 東日本大震災
グローバル補助金を活用して
「東北すくすく気仙沼プロジェクト」
東京RC チャレンジ100委員会 津野 正則
-
- 25 公益財団法人 ロータリー日本財団
平成26年度事業報告
理事長 千 玄室
-
- 29 Rotary いま……
新しい発想でロータリーを
-
- 30 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 12月号から
-
- 32 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ⑩
米山に、はまってみませんか？
山形南RC 大久保章宏
米山学友 呉 佩珊
-
- 6 ■ロータリーとは
39 ■パズルdeロータリー
42 ■エバンストン便り
42 ■管理委員長の思い 
43 ■「パズルdeロータリー」(9月号)の答えと解説
44 ■ロータリー掲示板
RC事務所住所変更・RC例会変更・RC名称変更・新IAC・
新RAC・2015-16年度春期地区大会のご案内・『ロータリーの友』
英語版No.74刊行!・『友』誌ご購読部数変更についてお願い・
地区別クラブ数/会員数/出席率一覧表・『友』1月号主要記事予定
-
- 47 ■日本ロータリー分布図
47 ■奥付

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

- 7 特集
地域社会で汗を流す
福井RC 社会奉仕委員長 加藤 幹夫
京都洛西RC 社会奉仕委員長 平岡 弘行
大阪RC 社会奉仕委員長 渡辺 泰男
岡山城RC 高井 初子
金沢香林坊RC 松原 一夫
-
- 12 特集
自然災害に備えて
—独自のシステムを持つクラブ・地区—
岩沼RC・横浜旭RC
第2650地区ガバナー 中澤 忠嗣・
ガバナーエレクト 刀根莊兵衛
第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター長・
2012-13年度ガバナー 鈴木 重吉
鈴鹿シティRC 前田 和也
-
- 34 バギオ基金で夢をかなえています
一般財団法人比国育英会バギオ基金
-
- 36 地区大会略報 I
第2830地区・第2510地区・第2690地区・第2500地区・
第2840地区・第2600地区・第2730地区・第2610地区・
第2780地区・第2710地区・第2560地区・第2760地区
-
- 40 ソウルでお待ちしています
若者たちがソウルに集う
2016年度RIソウル国際大会推進委員会委員 市川伊三夫
元RI新世代委員会委員 御手洗美智子
-
- 41 第5回 日台ロータリー親善会議のご案内
日台ロータリー親善会議総裁 板橋 敏雄
第5回日台ロータリー親善会議実行委員長
第2610地区ガバナー 柳生 好春
-
- 46 第8回全国RYLA研究会開催のご案内

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,187、会員総数1,224,261人（2015年9月30日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,278、会員数88,941人（2015年9月末現在）となっています。

2015 - 16 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the World

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



地域社会で汗を流す

Community Service

おもてなし活動大作戦

福井RC 社会奉仕委員長 加藤 幹夫

9月5日午前8～9時30分、総勢467人が参加し、JR福井駅周辺の広場や歩道に吐き捨てられ、黒くこびり付いたガムを取り除く奉仕作業に取り組んだ。この活動はクラブ創立65周年記念事業として企画したもので、今年3月の北陸新幹線・金沢駅の開業により福井を訪れる観光客が大幅に増加する現状において、福井の街をもっときれいにしてお迎えしようという、おもてなしの精神を発揮する場づくりとしたものである。

会員とその家族だけでなく、新聞広告で集まった一般市民、(公社)福井観光コンベンションビューロー、福井市旅館業協同組合、福井駅前五商店街連合活性化協議会、福井商工会議所青年部、(公社)福井青年会議所、福井ローターアクトクラブなどから、当初目標とした参加者数300人を大幅に超える人たちが奉仕活動に従事した。

当日の様子は地元テレビ3局や地元新聞2紙で報道され、ロータリーの奉仕活動をアピールできた。地元商店街、地域住民、観光客などに喜ばれるとともに、ロータリアンをはじめとする参加者に奉仕の喜びと誇り、達成感を与える事業となった。(第2650地区 福井県)



小倉山保存地区竹穂垣修繕事業

京都洛西RC 社会奉仕委員長 平岡 弘行

9月26日、秋空の下、当クラブの恒例行事である小倉山保存地区での竹穂垣修繕事業を実施しました。竹穂垣は京都洛西の名勝・嵯峨嵐山を代表する風物で、竹林の間を巡る小径に風情を添えています。しかし、意外と傷むのが早く、当クラブでは15年以上前から補修作業に取り組んできました。

今回は会員と家族合わせて31人とクラブ提唱の京都洛西ローターアクトクラブの会員2人を中心に、京都市立嵯峨中学校の皆さんに参加を呼びかけたところ、当日は校長先生と引率の先生、生徒の19人からなる皆さんに手伝ってもらうことができ、総勢52人という過去最多の参加者を得て、和気あいあいと協力しながら、竹穂垣の補修をすることがで

きました。

若手の会員も朝早くから駆けつけてパワフルに取り組み、若さを発揮して活気ある一日となりました。例会を離れ、老いも若きも助け合って作業に励み、普段話す機会が少ない会員同士も気軽に話すことができ、心地よい汗を流せた一日でした。(第2650地区 京都府)





「橋洗い」に参加

大阪RC 社会奉仕委員長 渡辺 泰男

10月3日、中之島ガーデンブリッジにて社会奉仕事業「橋洗い」が実施されました。この行事の主催は「なにわ八百八橋『橋洗い』実行委員会」と「北新地まちづくり実行委員会」で、当クラブは2006年から協賛し、今回で10回目の節目となりました。

当日の参加者は総勢約250人。うち、クラブ会員と家族34人、大阪ローターアクトクラブから26人、相愛中学校・高等学校インターアクトクラブから7人、ガバナー事務所と事務局スタッフから10人の総勢77人が協力してくれました。感謝、感謝です。

天高く快晴に恵まれた秋日和の中、吉川秀隆会長のあいさつと開始宣言の鐘でスタート。後援する大阪市の消

防車が橋の上に散水した後、洗剤をまき、当クラブの会員が毎年寄贈しているデッキブラシとタワシで橋を磨き、ヘラでこびりついたガムを取っていきました。その後、消防車の強力な放水で最後の仕上げ。橋は「ハシからハシまで」きれいになりました。

クラブ広報委員長をはじめメディア関係の会員の協力により、テレビ局5社、新聞5社の取材も入り、夕刻や夜のニュースで放映、翌朝の新聞にも掲載され、ロータリーの公共イメージ向上に資することができました。

「橋洗い」を通じて街がより身近に感じられ、共に汗を流した地域の人たちや会員、家族、ローターアクター、インターアクターとの親睦も深めることができ、爽やかな気持ちになりました。

一句啓上。

「天高く 心を磨く 橋洗い」

(第2660地区 大阪府)



小中学生と共に学ぶ 吉備の古代史と和太鼓に参加して

岡山城RC 高井 初子

天高く好天に恵まれた9月26日、地区補助金プロジェクト「小中学生と共に学び親しむ吉備の古代史と和太鼓」を行った。何らかの理由で親元を離れ、(学)おかやま希望学園という吉備高原の学舎と寄宿舎で共に学び生活する小中学生への支援である。

今回はその1回目、鬼退治の神話が残る吉備津神社に参詣した後、宮司の藤井崇行氏(当クラブ次々年度会長)と、岡山県立博物館学芸員の佐藤寛介氏から「古代吉備の歴史や桃太郎伝説」を拝聴し、その後、弥生時代の墳丘墓・橿築遺跡と岡山城天守閣の見学を計画した。

児童生徒31人と教職員を乗せたバス2台を、吉備津

神社の駐車場で出迎えた時は、心ならずも緊張の面持ちであった。次々と飛ぶようにバスから降りる児童生徒たち、勇気に笑顔を添えて大きな声で「おはようございます。おはようございます。おはようございまーす」と出迎えのあいさつをした。児童生徒たちも目を合わせながら「おはようございまーす」と私に負けぬ大きな声で返してくれた。

手水舎にて心身を清め、吉備津彦命に拝礼した後、参集殿に集合。児童生徒たちは引率の先生方の指導をよく守り、とても素直である。藤井宮司や佐藤学芸員の話聴く姿も、背筋が真っ直ぐですごく感じが良い。両講師ともパワーポイントを駆使し、わかりやすくユーモアを交えての楽しい講話であった。難しいはずの古代史が、いとも簡単に脳裏に刻み込まれ、その面白さに興味津々の様子が窺えた。プロジェクトに参加した喜びをヒシヒシと感じる。

植樹事業を続けて 22 年

金沢香林坊RC 松原 一夫

1990 - 91 年度国際ロータリー会長のパウロ V. C. コスタ氏は、地球の大気、水の汚染の危機を救うことが人類の務めであり、美しい地球を若い世代に受け渡す義務があると主張し、「われらの天体、地球の保全」を世界のロータリアンに訴えた。

当クラブでは 91 年 7 月に環境保全委員会を新設し、同年 11 月 1 日の「地球環境保全の日」、例会場近くの中央公園（現・いしかわ四高記念公園）に第 1 回記念植樹としてヤマボウシを一本植樹した。当初、自然環境に恵まれた当地域で植樹を行うことに疑問の声もあったが、会員と地域の人たちに木々から受ける恩恵を説き、環境保全を啓もうすることに意義があるとして実施した。

以来 22 年間、9 月から 11 月にかけて植樹を行ってきた。植樹に関しては金沢市と交渉し、場所と樹木の選定は造園業を営む植村章英会員の尽力に頼ってきた。ロータリーの創始者ポール・ハリスは「ロータリアンは言葉より行動に心引かれます」と述べているが、植村会員は、この言葉通りの人である。

22 回目の植樹は今年 9 月 29 日に行った。場所は市中心部から少し離れた犀川緑地公園。ここは近隣の幼稚園児がよく利用する公園で、この日は会員 20 人ほどと園児 15 人が参加し、園児に木の大切さを話した後、木が育っていく様子を楽しみながら見てもらおうとドングリが実るクヌギ、コナラなど 4 本を植えた。

過日、これまでに植樹してきた木々を見てきたが、周囲の環境と調和して立派に育っていた。「継続は力なり」の言葉があるが、一方ではマンネリ化することもある。今後、会員の個性を生かしつつ、変化を含んだ事業になることを願っている。

（第 2610 地区 石川県）



その後、弥生時代の墳丘墓・楯築遺跡に移動。佐藤学芸員から説明を受け、その神秘性、まか不思議の念、はたまた歴史の重みに包まれ、無我の境地に陥ってしまった。古代人の文化・文明、あたかもその時代にタイムスリップしたかのように足が浮き立った。佐藤学芸員の指差す、はるか鬼ノ城を望みながら、子どもたちの興味津々の声、声、声。「あっ、見えた見えた。あれが温羅が住んどった城じゃ」「温羅は鬼なんよ」「あんな遠くから矢が届いたん？」「昔の人はスゲー」「この石、どうやって運んだんじゃろうなー」など。

その後、楯築神社のご神体と伝世されているこたいせき弧帯石を拝する。普段は施錠されている収蔵庫の扉は開かれ、児童生徒たちを待っていた。弧帯石には毛糸の束をねじったような文様が施され、正面には人面にも見える文様がある。この国を治めた人物の顔ではないかと言われているらしい。引率の先生の指導に従い、一列に並んだ児童

生徒たちは、順次手を合わせ、頭を下げる。とても素直でかわいい。どうして、こんなにも純粋な子どもたちが親元を離れて生活しなければならないのか。

墳丘墓を後にしたとき、心地よい風の中で、小学生の女兒に「どうだった？」と質問すると、「楽しかった」と答えてくれた。「良かった」と心底思う。子どもたちは思い思いに話し合いながら、足早に待機しているバスへと向かう。その後ろ姿を追いながら、吉備高原の地域の方々や、おかやま希望学園の先生の尽力と深い愛情を感じた。

11 月 3 日には、クラブの世話で中国学園大学の学生らとともに学園を訪問、和太鼓演奏を指導してもらった。

さまざまな気づきや感動を与えてくれたこのたびの地区補助金プロジェクトは、私の大きな財産となった。おかやま希望学園の先生の素晴らしさと、子どもたちの素直さに乾杯だ。

（第 2690 地区 岡山県）

自然災害に備えて

—— 独自のシステムを持つクラブ・地区 ——

地震や台風だけでなく、豪雨や竜巻、火山の噴火など天災が増えている日本列島。世界でも多くの自然災害が頻発しています。地元や海外で災害が発生した場合、いざというときのノウハウを備えているクラブ（地区）の実例を紹介します。今一度「ロータリーとしてどう災害に対応するか」、クラブで話し合ってみてはいかがでしょうか。

宮城県、神奈川県のクラブ間で「災害時相互支援協定」締結

岩沼ロータリークラブ（第 2520 地区）／横浜旭ロータリークラブ（第 2590 地区）

東日本大震災復興支援が縁で

2015 年 6 月 13 日、第 2590 地区の横浜旭ロータリークラブ（R C／神奈川県）と第 2520 地区の岩沼 R C（宮城県）は、「災害時相互支援協定」を結びました。

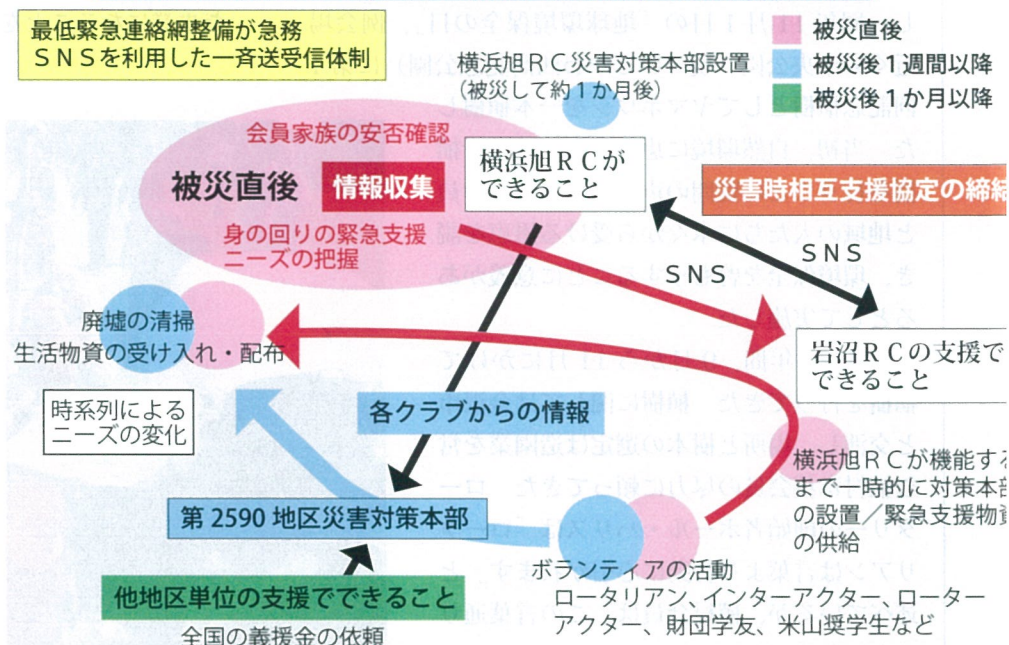
「防災」を 2014 - 15 年度の目標とした横浜旭 R C・増田嘉一郎会長（当時）の提案が発端でした。それは「今まで、当クラブでは何度か防災について取り上げてきた。しかし、具体的に災害発生後にクラブがどう動くかについてまでは、取り上げられていなかった。そこで、災害発生後のクラブの具体的な動きを明確化したい」というものでした。それを受け、クラブ内に防災ワーキンググループを組織し、議論に入りました。

防災ワーキンググループは、まずクラブ内会員間の緊急連絡網を作りました。災害時に比較的有效な連絡手段とされる SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用を試みましたが、会員個々の SNS への理解の差により、現状では、この方法による全会員への情



横浜旭 R C・増田嘉一郎会長と岩沼 R C・小野照代会長が調印（肩書は当時）

防災行動準則試案 01（ケース 1：仮に横浜が大震災に遭遇したら）



防災ワーキンググループの会議資料

報一斉送信は達成できておりません。他の方法をも含めて、有効適切な連絡網の整備検討を進めています。

次に、議論の中で「被災直後のクラブは会員各自の状況回復が優先され、クラブとして地域支援に動き出すには数週間の時間を要すのではないかと。また、災害状況が報道されれば、今までそうであったように、世界中のロータリアンはいち早く支援活動に動き出すと思われる。しかし、被災したクラブがクラブ組織としての支援を受け入れ、状況による支援ニーズの把握など、体制作りに動き出せるようになるには時間がかかる。被災地クラブに代わって被災を免れた他クラブが、情報収集や救援物資の支援など、その一部を一時的に代行できないだろうか」との意見が出ました。

そこで、東日本大震災の復興支援活動をご縁に友好クラブに進展した宮城県の岩沼 R C と協議した結果、「災害時相互支援協定」へと結びつきました。

この協定は、災害時に被災したクラブが地域支援活動

に著しく制限を受け、活動の一時停止を余儀なくされた場合、一時的に被災したクラブに代わって、被災を免れたクラブが情報収集を行い、できる範囲で迅速で効果的な支援を、被災した地域社会に寄与することを目的としています。協定の活動理念は次の通りです。

1. 活動の規範はロータリーの「四つのテスト」に置く
2. 目的達成のために、両クラブは、担当委員会を設置し、互いに支援する
3. 被災地行政と連携を取りながら支援する
4. ロータリーの組織力を最大限に生かす

当初、4つの活動理念の4番目として「活動の規範はロータリーの『四つのテスト』に置く」を掲げましたが、岩沼RCの要望で、活動理念のトップにしました。「今回の東日本大震災で『四つのテスト』を基準にすることはとても辛かった。それでもあえて1番目に掲げることこそロータリーではないか」との意見が、岩沼RCから出されたのです。そこには、実際に被災された経験を持つ、クラブの覚悟のようなものが感じとれました。

意識のズレを減らすために簡易的防災マニュアル作成

また、支援協定を結ぶ過程で、クラブ間、会員間で災害に対する意識のズレがあることがわかってきました。その意識のズレを少なくする目的で、防災の行動マニュアル整備を協同で行い、まずは携帯可能な防災マニユ

アル『てんでんこ』を作りました。基本的な防災情報はもとより「ロータリーと東日本大震災」といった、ロータリー活動の広報をも兼ねており、ロータリアンだけでなく家族、従業員のほか、折々のクラブ行事の際に一般の皆さんに配布しています。これを通して防災意識の向上に役立てていただければと願っております。

(横浜旭RC 五十嵐 正・記)



『てんでんこ』のお問い合わせは横浜旭RC事務局
(電子メール: asahirc@titan.ocn.ne.jp) まで。

義援金の迅速な活用を目指し——第2650地区災害対策基金

第2650地区ガバナー 中澤 忠嗣(京都南RC) / ガバナーエレクト 刀根莊兵衛(敦賀RC)

常時、一定額プールした基金から義援金を拠出

近年は日本各地で「これまで経験したことのないような」集中豪雨が発生したり、最高気温の国内最高記録が更新されたり、記録的な大雪に見舞われることなどが頻繁になってきた。また、世界中を見渡しても、異常気象や地震など天変地異が多発しており、どうやら私たちの住む地球は、比較的温暖な時代から荒々しい時代へ突入しているようだ。このような中で、これからも頻繁に起こるかもしれない災害に対して、ロータリーとしていかに迅速に対応するかが喫緊の課題となってきている。

第2650地区では、2004年7月の福井豪雨により九頭竜川水系の足羽川や清滝川の9か所で堤防が決壊し、福井市南部や旧美山町などを中心に、多数の浸水害が生じた。10月に入りようやく落ち着きを取り戻そうとした矢先、今度は台風23号による記録的な豪雨が京都府

北部を襲い、多くの地域が被災するとともに、舞鶴市の由良川沿いの国道175号で37人の乗った観光バスが冠水して、バスの屋根から救助されるという衝撃的な光景が連日テレビで放映された。

これらの度重なる自然災害に対して、地区内では直ちに義援金を募り、被災した市や町に送るとともに、被災したロータリークラブにも見舞い金を送った。

ただ、被災地のロータリークラブは、自ら被災したにもかかわらず、その見舞い金に自らの資金を足して、さらに地域のために献身的な奉仕活動が続けられたのが実情だった。

数か月後、ガバナー会を通じて全国から義援金が寄せられた。神谷保男ガバナー(肩書は当時、以下同)は、これらの義援金をそれぞれの府県や京都府北部の被災市町に配分するとともに、一部だけは手元に置いて、今後いつ起こるかもしれない災害に備えるべきとの英断で地



物資を小分けに（ミャンマー・2008年）



物資受け取りに並ぶ現地の人々（同）



2度目の訪問支援。離島への物資積み替え作業（同）

区災害基金を創設した。これが「第2650地区災害基金」の始まりであった。

その後、2012－13年度の河本英典ガバナー年度には、東日本大震災の経験も踏まえ、この基金をさらに充実させることが決定され、他の地区基金なども統合し「国際ロータリー第2650地区災害対策基金」として、より強固な基金基盤を構築することとなった。当面の基金目標として5,000万円を設定し、その後、各ガバナー年度で積極的に基金が積み増しされ、現在では、名実ともに日本でも最大級と思われるロータリー地区災害対策基金となるまでに成長した。

この災害基金の運用方法については、国内はもちろん、世界的に甚大な災害があった場合、この基金から直ちに義援金を被災地に送り、その後、地区内で義援金を募金し、常に一定額の基金をプールする方法を採っている。これにより義援金を新たに募るための時間的ロスがなくなり、スムーズでタイムリーな支援活動ができるようになった。基金管理については、災害発生時、ガバナーを中心に地区災害基金委員が集まり、迅速に義援金支出を決定するというシステムも構築されている。

積み立てがあればこそできた迅速な支援

地区災害対策基金活用の実例として、まず2008年5月2日の夕方から翌朝にかけてミャンマーを襲ったサイクロン「ナルギス」災害支援を紹介したい。被災後直

ちに地区による支援が決定され、約1か月後には橋本長平ガバナーが先頭に立って、ガバナー補佐（医師）、元地区WCS（世界社会奉仕）委員長とともに現地ミャンマーに入り、直接被災者に支援活動を行った。被災地に届ける物資は事前に送金した資金で調達し、一家族分ずつ小分けにした支援物資入りの袋を人々に届けたのだ。袋は一定量のコメ、タマネギ、ジャガイモ、塩、衣類、鍋などをセットにしてひとまとめにしてあり、結果的に総額1,000万円の支援となった。単独地区で行った緊急支援としては誠に大きな支援であったが、これも地区災害対策基金の積み立てがあればこそ、迅速な対応ができた例といえる（上写真参照。『友』2008年7月号横組みP44～45、9月号横組みP33に詳細）。

その後、2012年には九州北部豪雨災害支援、フィリピン被災復旧支援、2014年には福知山水害、広島の上石流災害、2015年にはバヌアツ、ネパール地震など数々の国内外の災害支援活動に、この地区災害対策基金はフル活用されている。

もちろん、こうした基金は緊急時の対応であり、その後の継続的な支援については、持続可能でかつ人々の自立を支援するような、ロータリーらしい奉仕が求められることは言うまでもない。自然現象を含めて、ロータリーも不測の事態に備えて、危機管理を今まで以上に充実しなければならない時代になったことを痛感している。

（福井県・滋賀県・京都府・奈良県）

ロータリーと地域連携——ロータリー地域協働ネットワークセンターについて

第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター長／2012－13年度ガバナー 鈴木 重彦（長岡RC）

災害多発の状況で考えた「ロータリーの地域貢献」

当地区には「第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター」があります。設立のそもそものきっかけは、「地域コミュニティの発展的進化のプロセスの中で、ロータリーはいかに関わっていくべきか」という素朴な視点から、1996年、長岡市が企画した都市計画

先進地視察に私が参加し、アメリカ・オレゴン州ポートランド市を訪問したことでした。ポートランド市の計らいで、地元各団体と懇談会の機会をつくっていただき、説明を聞くほどに、地域の行政といくつもの社会奉仕団体、そしてロータリーとの見事なまでの連携に目を見張ったものでした。

よっ！ このシステムを災害大国のわが国に採り入

れたら、もっとロータリーが地域に浸透するのでは……
 という思いから 2001 年、時の野沢謹五ガバナー（肩書
 は当時）に相談、長岡造形大学を会場として、毎年「ロー
 タリー地域防滅災セミナー」を開催してきました。

その経緯の中で、図らずも 2004 年 7 月 13 日の水害、
 10 月 23 日の中越大震災、翌春の豪雪、続く 2007 年
 7 月 16 日の中越沖地震、長野県境での地震など、極め
 て甚大な自然災害に見舞われ続け、その現実の中で、地
 域リーダーの集積団体でもあるロータリーが、どのよう
 に地域貢献すべきかを考えさせられました。そして、自
 身が被災者となって初めて気付くことがあまりにも多い
 ことを、身をもって体験したのです。

ロータリーは、ややもすると義援金や物資などを集め
 ることは容易であっても、タイムリーに「いつ・誰に・
 どのように」支援したらよいかという点になると、残念
 ながら有効性、効率性を欠いてしまうことがままありま
 す。言うまでもなく、それらの支援行為をロータリーの
 宣伝にすべきことではありませんが、少なくともその行
 為が他者から見て妥当かつ有効であり、ロータリーが希
 求する「超我の奉仕」をロータリアン自ら体现すること
 になるならば、ロータリーの地域密着の視点からも大切
 であると考えます。

そこで第 2560 地区では、ロータリーが主体性を持っ
 て活動することがロータリーへの信頼と発展に結び付く
 と確信し、それを具体的に推進すべく 2012 - 13 年度
 に「ロータリー地域協働ネットワークセンター」を設置
 しました。

地域防滅災セミナーの定期開催で情報交換と連携を

センターでは可能な限り、災害時に活動可能な諸団体
 と常日頃からの情報交換と連携に努めており、その活動



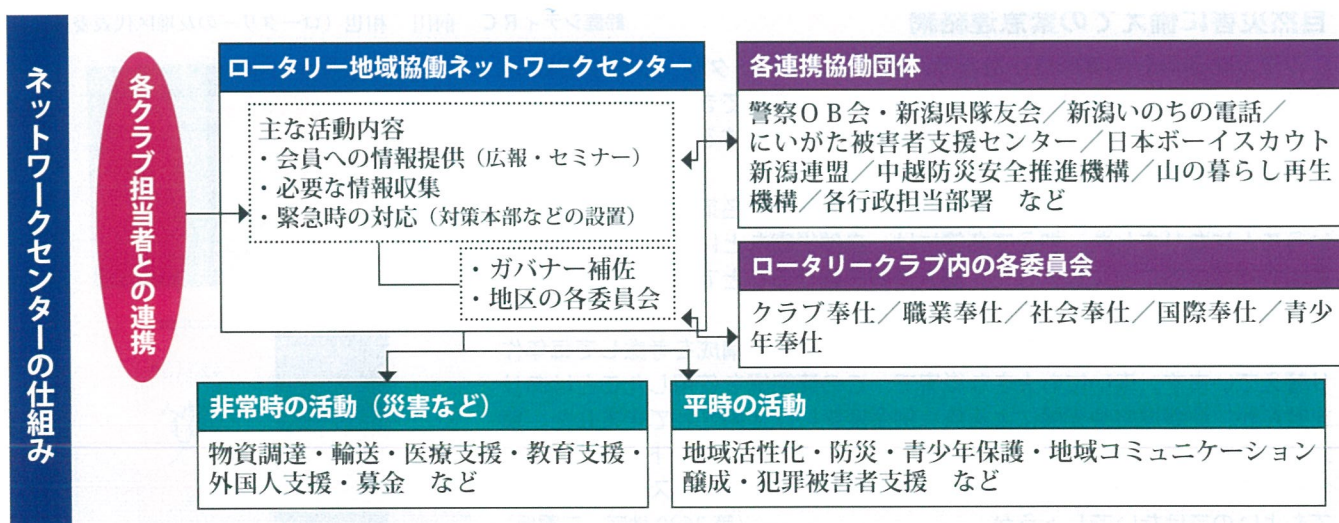
行政とタイアップしての中越大震災被災地での植樹会
 (旧・山古志村、2006 年 5 月)



市民参加の防滅災ワークショップ (2009 年 4 月)

の一つが、毎年開催される「ロータリー地域防滅災セミ
 ナー」です。それぞれの地域のボランティアセンター、
 社会福祉協議会そして自衛隊や警察の O B 組織、ボーイ
 スカウトなどの連携協働団体からも参加いただき、災害
 時などを想定した情報集積、ならびに他団体との協力体
 制の確保、ロータリアンの意識啓発と実行力の強化を目
 的とし、より具体的に地域密着型の支援につなげるため
 の訓練を積み重ねています。

具体的な備えをすることと「いざという時の実践能力」
 が醸成されることによって、ロータリーの社会的知名度

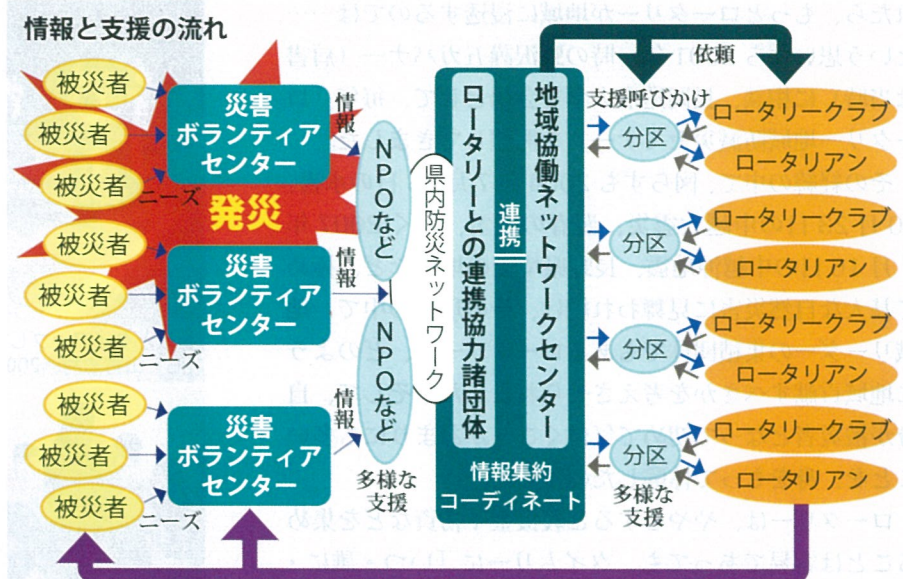


ロータリー地域協働ネットワークセンターの仕組み (2015 年セミナー資料より)

と立ち位置は、さらに向上すると考えます。願わくばこのシステムがより進化し、わが国のロータリーにおいて全国津々浦々にその連携ネットワークが構築され、ロータリーの貢献が各地区において目に見える形となることを切望しています。

今年のセミナーは8月8日、長岡震災アーカイブセンターで山本和則ガバナー、センター役員、ガバナー補佐、緊急連絡網による各クラブの担当者、会員希望者などが参加して行われました。開催内容は、第1部：連携団体の活動紹介／第2部：講演「地域協働ネットワークセンターの役割」（センター長・鈴木重幸）／第3部：講演「災害とは——近年の自然災害から考える」（中越防災安全推進機構地域防災センター長・河内毅氏）／第4部：グループワーク「ロータリーと地域協働」（班に分かれ、第1～3部の内容を基に緊急時対応についてテーマごとに意見交換するグループワークを実施）

として行いました。参加者からは「センターの活動の役割と社会貢献の大切さがリアルに理解できた。地区の大切なセクションとして発展させる必要性を感じた」「災害の多発する現代、ロータリーの活動として取り組む必要性を強く感じた」「将来は、国内全地区一帯となつての活動展開を望む、そうなればロータリーが明確に理解される」などの感想が出され、回を重ね



ロータリーによる災害時における支援体制概念図（2015年セミナー資料より）

るごとにネットワークセンターへの理解が深まっていることを実感しました。（新潟県）



多角的な視点で行われた今年のセミナー（2015年8月）

自然災害に備えての緊急連絡網

鈴鹿シティRC 前田 和也（ロータリーの友地区代表委員）

クラブの活動計画書作成にあたり、鈴鹿シティロータリークラブでは14年前に大幅な見直しを図りました。会員がいつも携帯でき、しかも計画書1冊あればロータリーの大半の日常が把握できるようにするには、どんな様式が良いかということで検討しました。

結果、手帳サイズで、年間の活動計画とともに会員名簿を掲載しては、ということになりました。加えて名簿には、自然災害などに備え、緊急時の連絡網を掲載することにしました。個人情報載せることで扱いが丁寧になると同時に、いつも携帯するようになりました。

連絡網は、会長・幹事を中心に、その年度の委員会構成を考慮して毎年作り替えています。幸いにも大きな災害で、この連絡網を使用したことはありませんが、計報連絡や天候による急な例会変更には活用されてきました。緊急時の連絡方法には一斉メールやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を使った方法もありますが、誰でもが使える紙ベースのものがあったてもよいのではないのでしょうか。（第2630地区 三重県）



「予防可能な疾病を予防し、ウイルス拡大を防ぐための医療従事者の能力向上プログラム」「主な疾病予防を支える啓蒙活動・社会動員」「非伝染性疾病（NCDs）の発症数や合併症の発症数を低減するための取り組み」「『疾病予防と治療』の分野でキャリア向上を目指す人への奨学金支援」など、ロータリアンは、疾病を予防し、健康への認識を高めるために、さまざまな取り組みを実施しています。



疾病予防と治療

具体的には、次のようなプロジェクトが地域社会で行われています。

- ・感染症検査を通じたカウンセリングの提供と治療機関への紹介
- ・感染を予防するための啓蒙活動と予防アイテムの提供
- ・可動式医療機器や医療専用車の提供
- ・地元医療機関との協力による物資の提供、運営サポート、管理プランの作成
- ・予防接種や予防対策などのプログラムを実施
- ・感染状況のモニタリングを行うための情報システムの確立と、それを活用するための研修
- ・伝染病への対応、保健従事者を対象とした研修、地域社会の長期的な改善を目的とした公衆衛生教育
- ・奨学金を通じた「疾病予防と治療」に関連する教育支援
- ・医療の質の向上を目的とした職業研修チーム（Vocational Training Teams、V T T）の派遣と受け入れ
- ・地域社会での保健教育、社会動員、医療物資の確保、保健員の研修などのベストプラクティス

「ロータリアン行動グループ」は、特定分野の活動に詳しいロータリアンとその家族、ローターアクターが、自主的に集まったグループです。専門知識を生かして、人道的奉仕プロジェクトを実施するクラブと地区にサポートを提供しています。

「疾病予防と治療」の分野で活動するロータリアン行動グループとして、「保健とエ

イズ予防のためのロータリアン行動グループ」があります。このグループは、アフリカを中心として医療活動を行い、今後はインドでの活動も予定しています。また、各国の保健省、グローバルパートナー、民間で設立された基金と協力し、医療検査、予防接種、疾病の種類に応じた病院への紹介を含む保健デーの実施にも貢献しています。

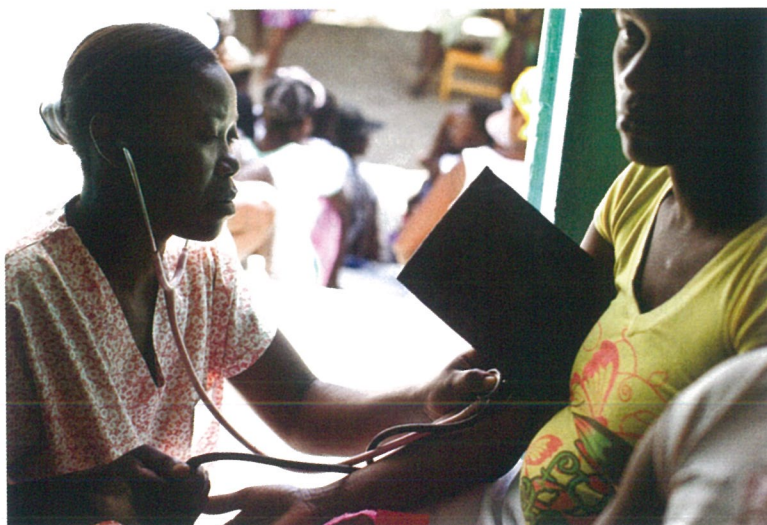
ロータリー地域社会共同隊（R C C）は、ロータリークラブがスポンサーとなって結成されるグループです。地域社会の幅広いニーズに対し、持続可能で創造性に富んだ解決策をもたらします。活動分野は、ロータリーの重点分野から地域特有の課題まで、さまざまです。

ロータリークラブは、ロータリー財団の補助金を利用せずに、地元で募金や資金を集めて独自にプロジェクトを実施することがよくあります。また、グローバル補助金を利用して、持続可能で大規模かつ国際的なプロジェクトに参加することもできます。グローバル補助金では、次のような要件があります。

- ・持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後にも活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- ・測定可能な目標を持っていること。プロジェクトの成果を記録し、報告する
- ・ロータリーの6つの重点分野のいずれかに該当すること
- ・地域調査を通じて特定した、地域社会の真のニーズに応えること
- ・プロジェクト実施地の人々と協力関係を築いた上、ロータリアンが積極的に参加すること

次ページから、グローバル補助金を活用し実施した「疾病予防と治療」分野のV T Tの事例を紹介します。

（以上、国際ロータリーのウェブサイト My Rotary から抜粋）





カンボジアで 乳がんの検診

人道的補助金プログラムと
V T Tプログラムを用いて

広島南RC 井内 康輝

2013年7月、全地区に導入されたロータリー財団の新補助金モデルの一つ「グローバル補助金」は3つの活動、すなわち人道的補助金プログラム、奨学金、職業研修チーム（V T T）に集約され、対象も6つの重点分野に当てはまることが求められます。マッチング・グラントが単年度のプログラムであったことから、単年度では達成できない目標を掲げることは困難でしたが、今回の改革によって複数年度での計画も可能になりました。

また、グローバル補助金での活動の立案にあたっては、一つに「援助しようとする国や地域にニーズがあるのか」という点を考慮することが重要で、そのためには、現地



エクトを実施。続く2009－11年度、広島大学歯学部
の学生が中心となった、シェムリアップ周辺の小学校で
の歯科検診と歯科保健指導の支援、同医学部疫学研究室
のウイルス肝炎の調査の支援、私たち独自で考察した児
童の身体測定ノウハウの提供などを行ってきました。

私たちは、こうした活動で知己を得たカンボジア保
健省の担当者と2012年5月に話し合いの機会を持ち、
これまでと異なった視点からの医療支援としてカンボジ
ア側から望むことと、私たちが実行できるプランとの擦
り合わせを行いました。その結果、カンボジアの女性に
見られる、がんの代表格である乳がんの早期発見、早期
治療のための乳がん検診システムの導入を、ロータリー
財団の支援を得て行うプロジェクトを計画。プロジェク
トを担う日本側の人材の確保と、ロータリー財団への補
助金の申請に約1年半を費やしましたが、幸いにもグ
ローバル補助金として、人道的補助金プログラム「カン
ボジア女性乳がん検診プロジェクト」を立ち上げること
ができました。

援助国・日本のメンバーは、檜垣健二医師（当時広島
市立広島市民病院副院長、日本乳癌学会認定乳腺専門
医）、ハーリー弘子技師（ひろしま駅前乳腺クリニック、
日本超音波医学会認定超音波検査士）と広島南RCの会
員3人（医師の井内康輝、中吉雄二、歯科医師の熊谷宏）
の5人で構成。実施国・カンボジアのメンバーは、カン
ボジア保健省から疫学担当のHok Sirany医師、Svay
Somana医師の2人に加え、現地病院に看護師3人、フ
ァシリテーター2人、アシスタント2人を確保。加え
て通訳（日本語と現地のクメール語）3人の参加を得、
また実施国側のロータリークラブとして、第3350地区・
プノンペンRCのPeter Grey会長（当時）、プロジェク
ト代表Fil Tabayoyong氏が加わりました。

検診を行う地域は、首都プノンペンの西南で海岸に面
した町カンポット。リゾート地で治安も良いということ

の地域社会が抱える問題の調査を前提に、受益者は何人
で、地元の自治体はどのように活動しているのかを知る
必要があります。

二つ目には、それが持続可能性のあるプログラムであ
るのか、すなわち補助金による活動を行った後にも活動
が持続し成果を生み出せるか、という点も重要です。例
えば、医療でいえば、高額な医療機器の提供は単年度で
可能ですが、それを使用する現地スタッフを養成するた
めに、研修を行って技術を取得してもらう、すなわち技
術移転が必要となります。

クラブの長年の支援活動から始まった

広島南ロータリークラブ（RC）は2003－09年度、
カンボジアへ計15本の井戸掘削資金を寄贈するプロジ



で選ばれました。事前に保健省は、現地のラジオ放送や市場での張り紙などで、「ロータリー財団の支援を受けた日本の医師が来て、乳がんの検診が行われる」というPRを行いました。

2014年3月4日夜に羽田を出発し、バンコク経由で翌朝午前8時にプノンペンに到着、レンタカーでカンポットへ向かいました。2時間のドライブでホテルに到着し、早速、検診会場のカンポット・ホスピタルに向かいましたが、到着時、検診会場にはすでに多くのカンボジア女性が待っていました。

受診者が3部屋を移動する形で、問診（井内医師担当）から専門医診察（檜垣医師担当）を行い、必要と思われる受診者（総受診者の約50%）に超音波検査（ハーリー技師担当）を実施。5日午後から7日午前中まで計190人の検診を行いました。5人の乳がんを持つ人あるいは乳がんの疑いのある人が見つかりました。日本で行う乳がん検診に比べて10倍以上の高率で異常のある人を見つけたことになりましたが、これは日本と違い、病院も医師も少ないカンボジアでは、しこりなどの症状があっても乳腺の診察はこれまで一度も受けたことのない人が多いということに起因するものと思われます。

この検診費用は、広島南RCからの5,000ドル、第2710地区のDDF（地区財団活動資金）からの1万5,000ドルの拠出金に加え、ロータリー財団から1万7,500ドルを上乗せした計3万7,500ドル（382万5,000円）で賄いました。うち229万円は超音波診断装置（日立メディコ製）の購入費とし、検診終了後にカンボジアに寄贈して、今後、現地で使ってもらうことにしました。その他の費用は、日本から出かけた医師、技師2人の渡航・滞在費、カンボジアの協力者への謝礼、保健省の経費に加え、ロータリー財団からの要望を受け入れて、発見された乳腺に異常のある女性をプノンペンの病院へ紹介し、乳がんの診断・治療を受けてもらう費用4,000ドルを支出しました。

VTTプログラムとして医師5人を広島に招く

カンボジア保健省の2人の医師は、このプロジェクトの有用性を高く評価し、他地域での再度の検診実施を希望しました。そこで私たちは当初の3年計画に則り、プロジェクト2年目は、同様の検診のため私たちがカンボジアに出向き、またカンボジア人医師を広島に招いて、乳がん検診のノウハウを研修してもらうことを計画。再度、グローバル補助金の申請を試みました。

ところが、その過程でグローバル補助金の申請入力システムに不具合が生じ、2か月余り申請が停滞したため

に当初の計画を遂行することが不可能となり、広島での研修だけをVTTプログラムとして行うこととし、2度目の検診は広島南RCからの支援を得て行いました。会場は、首都プノンペンの北東に位置するカンボジア第3の都市コンボンチャム。2014年12月1日夜に前回同様、医師と技師を伴って広島を出発し、2日午後から4日午後までに250人の検診を行いました。今回は、プノンペンRCの会長以下3人が検診会場まで激励に訪れてくれました。結果は、6人の乳がんの疑いを持つ人が見つかり、前回同様、プノンペンの病院を紹介しましたが、資金不足のため、彼らの診断・治療費は一部しか



持つことができませんでした。ちなみに今回、必要な経費は総額101万円となりました。

その後、VTTとしての補助金の支給（総額375万ドル）が決定したので、2015年4月6～16日の日程で、医師5人（2回の検診を主導したカンボジア保健省の2人、国立病院他から選ばれた3人）を広島に招きました。カンボジアでは乳腺科がいまだ確立しておらず、5人中2人は女性を診る機会の多い産婦人科の医師でした。

プログラムは、午前中は主に乳がん検診に必要な知識に関する講義の時間とし、午後はエコーグラフィーやマンモグラフィーの実際の手技の習得や、診断のための画像写真の読影を学ぶ時間としました。後者については、広島大学病院、広島市民病院などの基幹的病院の乳腺科の他に、もっぱら検診を行う施設である広島市の健康管理センターや広島県の総合健診センターに出かけ、乳がん検診の技術に優れた医師や技師からの指導を受けました。さらに、研修後も継続して学習を続けられるよう、英語で書かれたエコーグラフィーやマンモグラフィーの教科書も5人に贈呈。2回のカンボジアでの健診でク

メール語の通訳を務めたカンボジア人女性の協力を得たので、言葉のハンディなしに学習できたと思われます。また広島南RCの会員との交流も企画し、例会への出席の他に、歓迎会には14人、送別会には7人のロータリアンが参加して交流を深めてもらいました。

申請時の課題——ロータリー財団側との意見の相違

さて、当初の計画では、3年目の目標は、VTTプログラムで広島で研修を受けたカンボジア人医師が、カンボジアで実際に乳がん検診を行い、それを私たちがサポートする態勢をつくることにあります。現在、彼らは11月に検診を行う計画（11月19～21日に決定）ですが、私たちのチームも再度カンボジアを訪れ、彼らの検診を手助けしていくことが必要と考えています。

グローバル補助金の申請については、私たちが申請に慣れていないこともあり苦労しました。ロータリー財団への申請書提出はウェブ上で行う必要があり、地区事務所の理解を得るための日本語と、ロータリー財団の審査のための英語を併記して申請書を提出しました。提出後、ロータリー財団の担当者から質問と意見が寄せられ、彼らの要望も伝えられてきましたが、これらをどのような形で計画に取り込み、彼らにプロジェクトに同意してもらうかが、大きな問題となりました。

今回最も悩んだことは、第1回検診の申請にあたり、「人道的な援助なので、乳がんと診断された人の治療費をプロジェクトの費用として全て賄うべきである」という、ロータリー財団の担当者からの要望が伝えられたことです。

乳がんは発見時の病期によって、手術だけでなく、ホルモン療法、化学療法、放射線療法などを必要に応じて加えなければならず、しかも治療の年月は数年と長期にわたることから、この与えられたグローバル補助金でカバーしていくことは大変困難です。そうした医学・医療の特殊性を理解してもらえず交渉が難航し、最終的にはロータリー財団の要望を受け入れて他の費用を割りました。こうした申請者側とロータリー財団側との意見の違いは、どのような分野での申請であっても生じることが予想されます。こうした問題が生じたとき、簡単に諦めることなく粘り強く交渉し、意見の一致を得られるように努力することが必要でしょう。

ロータリー財団の標語「世界でよいことをしよう」は、全てのロータリアンが常に意識しておくべき言葉であり、身近な社会への奉仕以外に、世界理解、親善と平和を達成すべく、ロータリアンは世界的レベルで活動していくべきであると思われます。（第2710地区 広島県）



院内感染を 予防する

第2760地区2013－16年度職業研修チーム委員長
福田 哲三

VTTは各分野の専門家による実務的な職業奉仕

2014－15年度のVTT（職業研修チーム）事業として、2015年4月29日～5月17日、マレーシア・ボルネオ島にあるコタキナバルのクィーン・エリザベス病院（QEH）に医療研修チームを派遣しました。テーマは「院内感染の予防管理」。過去4年のVTT事業と同じく、ロータリー財団のグローバル補助金事業として、第3310地区（シンガポール、ブルネイ、マレーシアの一部）をパートナーとして実施したものです。

2012年12月に当時の第3310地区のLee Kong



Wee ガバナーにVTT事業を打診したのが最初のアプローチでした。その後、昨年の第3780地区（フィリピン・ケソン市）とのVTT事業を挟み、並行して準備を進めました。すでに第2760地区・近藤雄亮ガバナー（当時、以下同）と第3310地区・Andre Suharto ガバナーには2014年1月のサンディエゴでの国際協議会で実際に会い、互いの協力を確認していただきました。そして今年1月にロータリー財団からグローバル補助金の承認を得て、4月末からの実施を迎えました。

名古屋市立大学病院の中村敦教授をチームリーダーに、同病院の医師や薬剤師、大同病院の医師、名古屋第2赤十字病院の看護師、藤田保健衛生大学病院の看護師など7人の派遣メンバーが、現地QEHや地方病院2か所などで感染症予防についての指導研修を行いました。

以前のGSE（研究グループ交換）と違い、VTT事



業は各分野の専門家によって行われる実務的な職業奉仕であり、国際奉仕でもあります。出発前の壮行会や帰国後の報告会には近藤ガバナーのほか地区の広報、IT、職業奉仕、国際奉仕、社会奉仕の各委員長の参加を得て、地区V T T委員会ならびにロータリー財団委員会の活動への理解を深めていただきました。近藤ガバナー自らは5月4～7日の日程で現地を視察。相手地区のAndre Suharto ガバナーと2日間を一緒に過ごし、両地区間の友好・交流に大いに貢献していただきました。

また5月1～3日の日程で開催された第3310地区の地区大会には、筆者とV T T派遣メンバーが出席し、15分間の時間をいただいて同事業のプロモーションのスピーチを行ってきました。日本から持参した日章旗が会場ステージ上に掲げられ、3か国にまたがるユニークな第3310地区のメンバー数百人と名刺交換を行うなど、にぎやかで充実した時間を過ごしました。

また、研修期間を通してAndre Suharto ガバナーほか現地ロータリアンたちのサポートは、言葉では言い尽くせないほど本当に素晴らしいものでした。これはV T

T事業において毎回感じることであります。ロータリアンの連帯はすごいと、つくづく思います。

研修報告はマレーシア国内に配布

コタキナバルでの研修をより充実させるために、5月17～24日まで第3310地区からの派遣メンバーを招聘し、当地区内の医療施設で研修を行いました。チームリーダーのHo Shin氏は第3310地区のロータリー法人格組織の執行役員(Executive director)を務める重鎮ですが、自らの意思でホームステイを希望されました。当地区内の4人のロータリアンの家でホームステイを楽しんでもらい、両地区の交流に花を添えました。



Q E Hから派遣された看護師2人と外科医1人のV T Tメンバーは、初めての日本を満喫しながら、病院4か所での研修に、熱心に取り組みました。そして、彼らの帰国前日には素晴らしい計画を知らされました。帰国後にマレーシア政府の健康保健局に今回の研修報告を送り、その後マレーシア国内の「感染予防の管理」に携わる関係者に配布するというのです。メンバーの一人がマレーシア政府の感染症予防のワーキンググループに所属していたのです。思いもかけない広がり、2年半の苦労が吹き飛びました。

近藤ガバナーや当地区のロータリー財団委員会の皆さんはもちろんですが、特にV T T委員会の仲間の強い連帯とサポートがなければこの事業は成し遂げられませんが、コタキナバルで2週間にわたりV T T派遣メンバーとともに奮闘いただいた吉川公章副委員長(大同病院理事長)をはじめ加藤浩一、上野広、伊藤素美子、小笠原暁各委員の尽力こそが事業の成功の源であったことをお伝えして、報告とさせていただきます。(愛知県)



グローバル補助金を活用して「東北すくすく気仙沼プロジェクト」

東京 R C チャレンジ 100 委員会 津野 正則

東京ロータリークラブ（R C）は 2020 年 10 月 20 日に創立 100 周年を迎えるにあたり、「チャレンジ 100 委員会」を立ち上げ、東日本大震災の被災地における子育て支援事業「東北すくすくプロジェクト」を推進してきました。2012 年 2 月にはロータリー財団の「ロータリー東日本震災復興基金」を活用し、子育て支援施設「陸前高田あゆっこ」を建設、岩手県陸前高田市に寄贈しました。また、2014 年 12 月にロータリー財団のグローバル補助金を活用して既存施設を改裝し、子育て支援施設「気仙沼すくすくハウス」として運営しています。

今まで、日本のロータリアンはロータリー財団のグローバル補助金を海外のプロジェクトの支援に利用し、国内でのプロジェクトの支援には利用してきませんでした。2011 年 3 月の東日本大震災により、東北被災地での支援用にロータリー財団の「ロータリー東日本震災復興基金」が期限付きで設定され、復興基金の有効性が実証されました。一方で、ロータリー財団のグローバル補助金も、「6つの重点分野」に該当するプロジェクトで

あれば、被災地支援に活用できることは明白でした。

そこで、それまで日本でのプロジェクト支援に利用されてこなかったグローバル補助金を東北被災地支援に活用しようということになり、2011 - 12 年度、子育て支援施設の少ない宮城県気仙沼市に子育て支援施設「気仙沼すくすくハウス」を開設し、子育て活動を支援するプロジェクトとして「東北すくすく気仙沼プロジェクト」を立案。重点分野は「母子の健康」と「経済と地域社会の発展」としました。

2012 - 13 年度には第 2580 地区に申請、グローバル補助金として 5 万ドルの D D F（地区財団活動資金）支援の承認を得ました。同年度は「未来の夢計画」の準備年度であり、2013 - 14 年度の本格的実行年度からのスタートを切るには絶好のタイミングでした。第 2580 地区は「未来の夢計画」のパイロット地区で、グローバル補助金などの新補助金制度に地区のロータリー財団委員長が精通していたことも大いに助かりました。

「東北すくすく気仙沼プロジェクト」をロータリー財団グローバル補助金プロジェクトとして第 2520 地区・気仙沼 R C とアメリカ第 7450 地区・Ardmore R C が申請し、各 R C が所属する地区の支援だけでなく、アメリカのロータリークラブやロータリアン、韓国の第 3640 地区のクラブ、ドイツ・ロータリー本部の支援、ならびにロータリー財団本部からの支援によるグローバル補助金を利用した国際プロジェクトとして、2014 年 5 月 21 日に承認の連絡をいただきました。補助金の規模の概要は表の通りです。

グローバル補助金申請書のオンライン申請のステップは次のようになります。

- ① 2013 - 14 年度気仙沼 R C 会長（以下、肩書は当時）・今泉直喜氏を実施国側の代表連絡担当者、Douglas F. Klepfer 氏（アメリカ・Ardmore R C）を援助国側の代表連絡担当者として、オンライン申請を準備。
- ② 「三者間覚書」ならびに「四者間覚書」に日本側の署名者（気仙沼 R C 会長、協力団体代表者、東京 R C 会長）と、援助国側の署名者（Ardmore R C 会長）が署名し（東京 R C 会長は四者間覚書だけ）オンライン申請書には「三者間覚書」を添付しました。「四者間覚書」はあくまでの四者間の覚書で、東京 R C のコミットメント（誓約）を明記しました。

申請補助金の規模

単位：ドル

プロジェクト総額	197,775
(内訳)	
東京 R C	23,000
第 2580 地区	50,000
Ardmore R C	6,000
第 7450 地区	4,950
第 7450 地区 Gundaker 財団	1,000
Broomall R C	500
Broomall R C 匿名寄付	100
Bryn Mawr R C	500
Coatesville R C	500
Media R C	600
Mrs. Wendy McGarvey	50
Swarthmore R C	1,000
Joan & Lowell Toenniessen (Ardmore R C)	2,000
Washington DC R C	1,000
ドイツ・ロータリー本部	10,000
Seoul-Daegyo R C	2,000
Seoul-Hansoo R C	1,000
第 3640 地区	7,000
ロータリー財団本部 (W F)	86,575

③プロジェクトの各予算項目の見積書を入手し、オンライン申請書に添付しました。なお、第2520地区ロータリー財団委員長の八谷郁夫パストガバナーの助言により、施設賃借料と諸経費も研修教育プログラムと一緒に「Tohoku RELIEF 311」に支払い業務などの管理を依頼することにしました。

④DDFを寄贈する第2580地区、アメリカ第7450地区、韓国第3640地区の地区ガバナーならびに地区ロータリー財団委員長の承認をいただきました。

⑤第2520地区ロータリー財団委員長から、気仙沼RCにクラブまたはクラブ会員でロータリー財団への年次寄付を早急にしていただくよう、『補助金管理の手引き』をお読みいただき、2014年8月3日実施の地区財団セミナー（補助金管理セミナーを含む）への参加表明を、地区ロータリー財団委員長にいただき、同年度クラブMOU（Memorandum of Understanding）を提出していただく、などの要請を頂戴しました。

⑥項目⑤の条件を、気仙沼RCが満たしたため、八谷郁夫第2520地区ロータリー財団委員長と、代表連絡担当者である気仙沼RC会長・今泉直喜氏の最終承認作業を3月14日と17日に完了しました。支援国側の代表連絡担当者であるArdmore RCのDouglas F. Klepfer氏と第7450地区ロータリー財団委員長のBonnie Korengel氏の最終承認作業も、日本時間3月18日（アメリカ時間3月17日）に完了し、同時にオンライン申請が完了。

オンライン申請完了後のロータリー財団本部の審査は一般的に1か月以上かかるといわれていました。本グローバル補助金申請は、日本がプロジェクト実施国となり、アメリカ、韓国、ドイツから支援を受ける大型プロジェクトのため、さまざまな質問や問い合わせがあるこ



とが予想され、審査期間が長くなる可能性がありました。しかし、約2か月後の5月21日に申請書が承認されたとの連絡が入りました。日本がプロジェクト実施国となり、総額約20万ドルの大型プロジェクトとしては、初めてのグローバル補助金プロジェクトとなりました。

グローバル補助金申請まで

ここで、グローバル補助金申請の準備段階からのステップを振り返ってみましょう。今回のプロジェクトは、被災地の気仙沼RCと海外の主要支援RCであるアメリカ・Ardmore RCがプロジェクトの提唱者となっています。気仙沼RCとArdmore RCをつなげるコーディネーターの役割を東京RCが担当。正式なオンライン申請に東京RCが関与することはほとんどないため、コーディネーターとしての役割を十分に果たせない可能性がありました。この問題を回避するために、東京RCがオンライン申請に熟知する必要があると、テスト用のオンライン申請を準備しました。

①テスト用の、仮の代表連絡担当者として、ドイツのMunhen-Bavaria RC会員と東京RC会員の名前を記入し、テスト用申請書作成を開始（2013年7～8月）

②プロジェクト概要に基づき、プロジェクト内容を記入し、東京RC会員が日本文の英訳を作成（同年8～10月）

③海外のロータリークラブ、ロータリアン、地区に支援をお願いし、集めたDDF金額、現金寄付金額などを記入（同年7～12月）

④テスト用のオンライン申請書の内容を



財団本部（含む国際ロータリー日本事務局財団室）に確認していただき、大筋での了承を得る（同年7～10月）

⑤気仙沼RCとArdmore RCに本申請の準備をしていただく（同年8～10月）

⑥「三者間覚書」「四者間覚書」を準備して代表者が署名。「三者間覚書」をオンライン申請書に添付（同年12月～2014年2月）

⑦各予算項目の見積書ならびに相見積書の準備。施設改装費、施設賃借料・諸経費、研修教育プログラム費用、備品費用を気仙沼RCと東京RCの会員が準備。見積書はオンライン申請書に添付済み（2014年1～2月）

⑧DDFを寄贈する3地区の地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長の承認が、完了（同年1～2月）

⑨最終段階にて、気仙沼RCと第2520地区の間で手続きに欠落事項がありましたが、オンライン申請書の内容を一部変更すると同時に、気仙沼RCが、第2520地区のグローバル補助金申請基準を満たすことで、八谷第2520地区ロータリー財団委員長から承認いただきました。直後、今泉氏とKlepfer氏、アメリカ・第7450地区ロータリー財団委員長・Bonnie Korengel氏にそれぞれ承認いただき、オンライン申請が完了（同年3月）

気仙沼すくすくハウスが完成

オンライン申請完了後の3月26日、財団本部・第2520地区（第1ゾーン）担当のCecelia Lisinski氏から気仙沼RCとArdmore RCに質問書が送られてきました。Ardmore RCは3月31日に、気仙沼RCは東京RCとともに4月10日にそれぞれ回答。その後、Cecelia氏とドイツ・ロータリー本部の間でドイツ・ロータリー本部の資金の性格などの確認のためのメール交換がなされたのち、日本時間5月21日にCecelia Lisinski氏からグローバル補助金申請書承認の連絡メールが届きました。

気仙沼RCとの連携を深めるために、2014年5月30日の気仙沼RC夜間例会に東京RC会員と家族十数人が参加し、グローバル補助金プロジェクトのキックオフ・ミーティングとしました。

6月30日付でドイツ・ロータリー本部からグローバル補助金への拠出資金120万9,898円の入金が、気仙沼RCグローバル補助金銀行口座で確認されました。

8月14日付で、ドイツ・ロータリー本部以外から



東京・銀座コリドー街の画廊のウィンドーに活動の様子を展示のグローバル補助金として、ロータリー財団本部から1,915万3,053円の入金が確認されました。これにより入金総額は2,036万2,951円となりました。

2015年2月25～28日、ロータリー財団本部は「東北すくすく気仙沼プロジェクト」の中間監査（事業監査）のために、中間監査人として台湾のロータリアン、Josephine Wong氏（台北芙蓉RC）を気仙沼に派遣しました。Wong氏は気仙沼RC会員、協力団体の「Tohoku RELIEF 311」関係者、地域の子育てリーダー、助産師、「気仙沼すくすくハウス」利用者、市議会議員などと面談し、監査を行いました。

4月17日、東京RCは総勢14人が参加し、「東北すくすくプロジェクト現地視察ツアー」を実施。同プロジェクトの子育て支援施設「気仙沼すくすくハウス」を訪問し、地元の子どもたちと親、子育て支援関係者、気仙沼市副市長と市の関係者、「Tohoku RELIEF 311」代表や担当者、気仙沼RC会員の皆さんと交流を深めました。「気仙沼すくすくハウス」は2014年12月に開所し、今年4月から週5回の本格開所となり、銘板の寄贈式を兼ねた開所式を行いました。

「東北すくすく気仙沼プロジェクト」はグローバル補助金プロジェクトとして、重点分野の「母子の健康」と「経済と地域社会の発展」を実践しており、2017年6月末まで継続します。プロジェクト終了後にはロータリー財団にFinal reportを提出の予定です。

新しい生命の誕生は、短期的には復興への意欲、中期的には新しい消費の創出、長期的には復興のための人材供給につながります。まさに被災地の長期的復興に欠かせません。グローバル補助金プロジェクトと併せて、陸前高田、気仙沼、石巻で活動している「東北すくすくプロジェクト」は今後も被災地の短期、中期、長期的な復興を後押ししてまいります。同プロジェクトは2020年10月まで継続予定です。（第2580地区 東京都）

公益財団法人 ロータリー日本財団

平成 26 年度事業報告

理事長 千 玄室

私たちの公益財団法人ロータリー日本財団（以下、当財団）は 2010 年 12 月に公益認定を受けてから、5 年目を迎えております。当財団は、国際ロータリーのロータリー財団を支える世界に 8 つある協力財団の 1 つであります。

本年 2 月 12 日に行われました、監督官庁であります内閣府の立入検査も、無事クリアできたことを、まずご報告いたします。

また、日本のロータリアン各位、ロータリーファミリーの皆さま、そして、ロータリーの支援者の方々からの温かいご理解のもと、年間の寄付額が、初めて、16 億円を超えることができました。さらに、ご寄付の総件数は 10 万件を超えました。これらは、ひとえに、ロータリー財団を支えるロータリアンの皆さまが、「世界でよいことをしよう」の実践を重ねながら、ロータリー財団のイメージと認知度を高める努力を行ってきたが故と思い、

皆さまのご理解に心から感謝の誠をお捧げいたします。ありがとうございます。

当財団へのご寄付は個人、法人ともに税制上の優遇措置の対象です。ぜひご利用ください。

国際ロータリーのロータリー財団では、創立 100 周年を迎える記念の節目を迎える準備に入りました。2016 年のソウルでの国際大会でお祝いをし、さらに、2017 年のアトランタ国際大会でフィナーレを迎えることとなります。

ここに、平成 26 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日までの事業報告をさせていただきます。皆さまには、事業報告をご覧いただき、当財団に対し、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願いし、ごあいさついたします。

*公益財団法人ロータリー日本財団については、同財団のホームページ <http://piif-rfj.org> をご覧ください。

自 平成 26 年 7 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日

1. 事業内容

公益財団法人ロータリー日本財団（以下、本財団）は、世界理解、親善、平和の達成に資する公益事業を行うことを目的としております。本財団の主な事業は奨学金を付与すること、および本財団と目的を同じくする国際ロータリーのロータリー財団への支援を行うことです。

2. 奨学金事業

本財団は個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するためにグローバル補助金奨学金を付与することとしています。グローバル補助金の重点分野の研究に従事することを目的として、この奨学金を利用することが可能になっています。

また、個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するために、ロータリー平和フェローシップの付与も行うこととしています。ロータリー平和フェローシップは、全世界 7 校の大学に設置された 6 つの「平和と紛争解決における国際問題研究のためのロータリー平和センター」のいずれかで、修士課程または専門能力開発修了証プログラムに参加する資金を援助するものです。

平成 26 年度は、グローバル補助金奨学生 27 人、ロータリー平和フェローシップ派遣 2 人（うち継続 1 人）、受け入れ 18 人（うち継続 10 人）に付与しました。

3. 国際ロータリーのロータリー財団への支援事業

本財団の事業の一つとして、本財団と目的を同じくするロータリー財団への支援事業を行いました。寄付金は、ロータリー財団の管理の下で、日本を含め全世界約 34,000 のロータリークラブを通じて公益事業に使われております。ロータリー財団はアメリカに本部を置く非営利法人です。本財団には、平成 26 年 7 月から平成 27 年 6 月までの 1 年間で 100,263 件、総額 1,617,551,277 円の寄付が寄せられ、そのうち昨年度の未送金分と合わせて 1,386,000,000 円を国際ロータリーのロータリー財団へ寄付しています。

なお、次ページの表のとおり、個人からの寄付は 95,844 件 1,293,046,182 円、法人からの寄付は 1,358 件、36,656,900 円です。

* 2 大学が共同で 1 つのセンターを設置しているため、大学数とセンター数は一致しない。

寄付者種類	件数	年次基金	恒久基金	ポリオプラス	その他の基金	合計
個人	95,844	1,056,595,237	137,087,315	96,922,630	2,441,000	1,293,046,182
法人	1,358	20,841,382	10,158,876	5,656,642	0	36,656,900
クラブ	3,003	178,485,697	5,200,088	70,950,430	17,783,520	272,419,735
ローターアクトクラブ	5	0	0	408,793	0	408,793
インターアクトクラブ	4	0	0	106,921	0	106,921
地区	43	2,979,000	300,000	9,953,326	1,620,000	14,852,326
その他	6	50,420	0	10,000	0	60,420
	100,263	1,258,951,736	152,746,279	184,008,742	21,844,520	1,617,551,277

貸借対照表

平成 27 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	41,396,895	10,872,293	30,524,602
未収金	23,808	23,808	0
前払費用	9,075,300	34,176,477	△ 25,101,177
仮払金	561,039	226,575	334,464
流動資産合計	51,057,042	45,299,153	5,757,889
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	114,100,000	114,100,000	0
基本財産合計	114,100,000	114,100,000	0
(2) 特定資産			
寄付金送金資産	162,168,235	142,267,216	19,901,019
特定資産合計	162,168,235	142,267,216	19,901,019
(3) その他固定資産			
建物	1,561,002	1,876,262	△ 315,260
什器備品	0	40,439	△ 40,439
その他固定資産合計	1,561,002	1,916,701	△ 355,699
固定資産合計	277,829,237	258,283,917	19,545,320
資産合計	328,886,279	303,583,070	25,303,209
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	50,127,539	44,824,079	5,303,460
仮受金	100,000	34,167	65,833
流動負債合計	50,227,539	44,858,246	5,369,293
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	50,227,539	44,858,246	5,369,293
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	162,168,235	142,267,216	19,901,019
定期預金	114,100,000	114,100,000	0
指定正味財産合計	276,268,235	256,367,216	19,901,019
(うち基本財産への充当額)	(114,100,000)	(114,100,000)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(162,168,235)	(142,267,216)	(19,901,019)
2. 一般正味財産	2,390,505	2,357,608	32,897
正味財産合計	278,658,740	258,724,824	19,933,916
負債及び正味財産合計	328,886,279	303,583,070	25,303,209

正味財産増減計算書

平成 26 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	28,525	29,264	△ 739
受取寄付金			
受取寄付金	※ 1,258,951,736	1,150,118,647	108,833,089
受取寄付金振替額	338,698,522	348,951,423	△ 10,252,901
受取寄付金計	1,597,650,258	1,499,070,070	98,580,188
雑収益			
受取利息	34,289	30,726	3,563
経常収益計	1,597,713,072	1,499,130,060	98,583,012
(2) 経常費用			
事業費			
通信運搬費	1,457,612	1,501,715	△ 44,103
消耗什器備品費	98,059	121,191	△ 23,132
消耗品費	290,991	287,060	3,931
印刷製本費	102,775	45,607	57,168
賃借料	4,515,434	2,803,284	1,712,150
支払寄付金	1,386,000,000	1,290,000,000	96,000,000
委託費	1,775,924	1,878,969	△ 103,045
奨学金	197,687,332	197,858,776	△ 171,444
雑費	904	2,732	△ 1,828
事業費計	1,591,929,031	1,494,499,334	97,429,697
管理費			
会議費	150,470	103,250	47,220
旅費交通費	446,079	130,328	315,751
通信運搬費	333,052	365,175	△ 32,123
減価償却費	355,699	382,457	△ 26,758
消耗什器備品費	42,029	51,759	△ 9,730
消耗品費	132,145	101,844	30,301
印刷製本費	5,398	69,226	△ 63,828
賃借料	1,935,187	1,197,788	737,399
保険料	220,000	220,000	0
委託費	1,618,070	1,660,605	△ 42,535
雑費	513,015	314,639	198,376
管理費計	5,751,144	4,597,071	1,154,073
経常費用計	1,597,680,175	1,499,096,405	98,583,770
当期経常増減額	32,897	33,655	△ 758
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	32,897	33,655	△ 758
当期一般正味財産増減額	32,897	33,655	△ 758
一般正味財産期首残高	2,357,608	2,323,953	33,655
一般正味財産期末残高	2,390,505	2,357,608	32,897
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	※ 358,599,541	377,377,898	△ 18,778,357
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 338,698,522	△ 348,951,423	10,252,901
当期指定正味財産増減額	19,901,019	28,426,475	△ 8,525,456
指定正味財産期首残高	256,367,216	227,940,741	28,426,475
指定正味財産期末残高	276,268,235	256,367,216	19,901,019
III 正味財産期末残高	278,658,740	258,724,824	19,933,916

※ 事業報告書の寄付金総額 1,617,551,277 円は、1,258,951,736 円と 358,599,541 円との合計金額となっています。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

定率法（ただし、建物〔建物附属設備を除く〕については定額法）を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	114,100,000	0	0	114,100,000
小 計	114,100,000	0	0	114,100,000
特定資産				
寄付金送金資産	142,267,216	162,168,235	142,267,216	162,168,235
小 計	142,267,216	162,168,235	142,267,216	162,168,235
合 計	256,367,216	162,168,235	142,267,216	276,268,235

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	114,100,000	(114,100,000)	—	—
小 計	114,100,000	(114,100,000)	—	—
特定資産				
寄付金送金資産	162,168,235	(162,168,235)	—	—
小 計	162,168,235	(162,168,235)	—	—
合 計	276,268,235	(276,268,235)	—	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	2,397,457	836,455	1,561,002
什器備品	121,315	121,315	0
合 計	2,518,772	957,770	1,561,002

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金	338,698,522
合 計	338,698,522

公益財団法人ロータリー日本財団

理事長	千 玄室（京都）				
副理事長	渡辺 好政（児島）	森嶋 庸吉（船橋西）	黒田 正宏（八戸南）		
理事	上野 孝（横浜）	宮崎 茂和（福井）	松本茂太郎（福山）	佐久間崇源（東京目黒）	
	江崎 柳節（小牧）	田中 作次（八潮）	岩瀬 均（浦和）		
評議員	伊藤 義郎（札幌）	板橋 敏雄（足利東）	古宮 誠一（東京東）	橋本 長平（京都東）	
	富田 謙三（京都）	杉谷 卓紀（玉名）	北 清治（浦和東）	小沢 一彦（横須賀）	
	松宮 剛（茅ヶ崎湘南）	鈴木 雅博（市原中央）	重田 政信（高崎北）		
監事	井上 暎夫（千里）	片山 主水（名古屋東南）			

新しい発想でロータリーを

本誌 2015 年 8～9 月号で例会の食事について、10 月号では例会の運営についてご紹介しました。これらの記事に関して、私たちが予想していたより多くの反響がありました。

「例会を楽しく有意義なものにしたい」という思いは、ロータリアンすべてに共通の思いだと思います。「クラブの例会がマンネリ化しているの、これを参考に考えたい」という意見も多かったのですが、その一方で、私たちのクラブではこのような工夫をしているという紹介もいただきました。

日本の多くのクラブで「やらなくてはいけない」と思っていることで、規則には書かれていないものもたくさんあるようです。海外のクラブの例会に出席して驚いたという投稿も時折いただきます。『手続要覧』を見ても、例会についてそれほど多くの決まりごとが書かれているわけではありません。ですから、食事のある・なし、例会時間も含めて、それぞれのクラブに合った例会運営を工夫し、実行することが大事なのだと思います。

日本でもロータリー E クラブが創立され、少しずつですが数が増え、現在 11 クラブがあります。「顔を合わせるから意味がある」と、当初、インターネット上で例会を開くクラブのあり方について、非難する声が多く聞かれました。

『手続要覧』には、E クラブについて例会の形式以外に特別な事項が定められているわけではありません。しかし、日本の場合、ネット上で開く例会以外に実際に会う機会をつくったり、共に活動をしたり、所属会員の自宅または勤務先をいつでも会える範囲に会員資格を限定するなど、それぞれのクラブが工夫して

会員同士の絆を強くしています。

仕事で例会に出席する時間がなかなか取れない若い会員、年を取って例会場に行くのが大変になった会員にとって、ロータリーに参加できる、ロータリーを続けることのできる方法の一つが E クラブなのでしょう。

もう一つの新しいクラブがロータリー衛星クラブ。現在、国内に 3 クラブあります。これは 2013 年規定審議会で採択されたもので、馴染みのない方も多かもしれません。「標準ロータリークラブ定款」の第 1 条定義には、衛星クラブは「潜在的クラブ。その会員は本クラブの会員でもある」と書かれています。

「潜在的クラブ」と言っても何のことかわかりづらいのですが、英語では「potential club」となっています。「potential member」という言葉をロータリーでは「会員候補」と訳すことがあるようですから、「potential club」を、「クラブ候補」と考えるとわかりやすいかもしれません。

ロータリークラブとして承認されるためには、会員数など、定められた条件をクリアする必要があります。しかし、その間、会員候補者たちは、ロータリアンではなく中途半端な立場になってしまいます。ロータリー衛星クラブでは、定められた条件が整うまで、スポンサークラブの会員としてロータリアンとしての身分が保証され、自分たちの新しいクラブのあり方を模索しながら、独立した例会を開催することができます。これなら、最初に集まった会員候補者たちがしびれを切らして離れていくのを防げるかもしれません。

来年 4 月には規定審議会が開催されます。ここで、新しい発想のクラブについて審議され、採択される可能性もあるでしょう。

ロータリーでは「多様性」という言葉をよく耳にします。伝統を重んじるクラブ、新しいことをどんどん取り入れるクラブ……、クラブの形、例会のやり方、プロジェクトの内容など、そのクラブらしい方法を工夫し実行し、「多様性」あるロータリーにしたいものです。それでも「ロータリーの目的」「四つのテスト」などに表れるロータリーの心は、ロータリアンすべての中に共通のものとして受け継がれることを願っています。

『友』編集長 二神 典子



World Roundup

世界のロータリーニュース



エジプト

第 2451 地区ロータリー識字委員会は、ファイユーム、カリュービーヤ、ギザ、アレクサンドリアの 4 つの地域で、6 か月の識字コースを監督しています。2 月までに、このコースを 8,700 人以上が卒業しました。

「Knowledge Is Power (知識は力なり)」と名づけられたこのコースで、既に第 2 段階に進んだ受講者の 4 分の 3 は若い女性だと話すイマン・エル・ガムラウィ氏 (同活動の委員長、ヘリオポリス・ロータリークラブ元会長)。このコースには、15 ～ 30 歳の個人が無料で参加でき、ボーダフォン・エジプト財団からの資金提供と、700 のオブザーバー、コーディネーター、教員、30 のロータリークラブと他団体の運営担当者により支えられています。

エジプトの女性の 35% 近くは
読み書きができません。



インド

北部にあるウッタラーカンド州は、ヒマラヤ山脈の丘陵地帯にあり、その険しい地形とまばらな人口から、医療サービスの提供が困難とされていました。そこから 900 マイル (約 1,400 km) 南に離れたグジャラート州のバーヴナガル・ロイヤル・ロータリークラブ (RC) は、2014 年 5 月に 5 日間にわたる医療訪問を計画。北部住民の心拍数、血圧、血糖値などを測る診察を行いました。ロータリアンである薬剤師も同行して、医薬品を提供。

2015 年はプロジェクトを拡大し、イギリスのルートンノース RC から 3,000 ドルの支援を受けて、5,000 ドルの医療キャンプを実施しました。約 750 人の住民が診察を受け、30 人の患者が白内障の手術を受けました。



フィリピン

2013 年 11 月にフィリピンを襲った大型台風 30 号 (ハイエン) で、約 6,300 人が命を落としました。救援物資の多くは最も被害を受けたタクロバン周辺地域に届けられましたが、タクロバン以西にあるア克兰州のバンガの人々には支援がいき渡りませんでした。

ア克兰州の北部にあるカラパン・ロータリークラブ (RC) は、マニラから物資を運ぶために 6,500 ドルの寄付でトラックをレンタルし、15 人の会員が片道 11 時間、フェリーを乗り継いで移動し、衣類、毛布、米、保存食、水、防水シート、おもちゃ、寝具、衛生用品などを届けました。現地ではメトロカリボ RC の会員が、物資を届けてくれた会員たちの滞在を支援しました。



アメリカ

第 6080 地区（ミズーリ州）のスティーブ・デューレ氏（コロンビアサウス・ロータリークラブ）は自らのガバナー就任に際し、しゃれたオードブルや高級料理でお祝いする代わりに、心温まる奉仕活動を実施したいと考えました。伝統的な就任式は「ややフォーマルで、スーツにネクタイ着用、素晴らしいものですが」と話すデューレ氏は、セントルイスとカンザスシティーの周辺地域を含む地区内のロータリアンに、就任式の代わりに、保存が効く食料を集め、フードバンクでボランティア活動をするよう呼びかけました。

「土曜日の朝 9 時から午後 1 時までを活動に充てることにしました。皆が半袖、短パン姿で活動し、続いて一緒に昼食を取り、その後、肩の凝らない楽しい就任式を開きました」。地元フードバンクを会場に、約 150 人が集まり、役員の就任と新年度の始まりを祝いました。

デューレ氏はまた、地区内クラブを北と南の 2 つのグループに分け、「フード・ファイト月間」に参加するよう呼びかけました。ロータリアン、ローターアクター、その家族や友人が参加し、重量にして約 4,500kg、1 万 9,000 ドル相当の食料が集まりました。勝ったのは北側のグループでしたが、最終的に地区の全 49 クラブ中 33 クラブが参加し、延べ 1,500 時間が費やされました。中には、スーパーマーケットの入り口で食料の寄付を呼びかけたり（ジェファークソンシティーのロータリークラブとローターアクトクラブは 2,700kg の食料を確保）、フードバンクでシリアル 2,300kg を配布用に袋分けするといった活動も行われました。

2011 年、ブラジルでは
100 人に 1 人の新生児が、
生後 1 か月間に
命を落としました。



ブラジル

レジストロ・ロータリークラブ（RC）のジョアン・デル・ピアンコ・ネット氏は数年前、友人が双子を早産した時に、地元のある病院が深刻な問題を抱えていることに気づきました。その病院は周辺 24 都市、人口 50 万人が利用しているのですが、その新生児集中治療室には、ベッドが足りないのです。「ここはサンパウロ近くの貧困地域。妊婦と子どもたちのために医療サービスの拡充が必要でした」とネット氏は説明します。

彼のクラブは、岐阜県の中津川 RC と協力してロータリーのグローバル補助金 17 万 2,500 ドルを受領し、集中治療室用のベッド 5 台、保育器、モニタリング機器を病院に導入し、また妊娠中のケアと授乳方法についての研修を開催したほか、妊婦へのやさやかな贈り物も提供しました。



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑩

米山に、はまってみませんか？



山形南 R C
(第 2800 地区 山形県)

カウンセラー (現・地区米山奨学委員長)

大久保章宏 さん

カウンセラーって？

私が最初にカウンセラーを引き受けた米山奨学生が、台湾出身の呉佩珊さんゴハイサンでした。当初、何をすればいいのかわかりませんでしたが、彼女の明るさに助けられ、常に連絡を取り合う環境ができました。振り返ると、これはカウンセラーとして大事な仕事の第一歩だったと感じます。

より多くの会員に親しんでもらうため、親睦会には必ず呉さんを誘うようにしました。指導教官を例会に招いて奨学金授与の様子を見てもらうなど、大学の先生にも事業の意義を理解してもらえるよう工夫しました。クラブ内で呉さんの中国語講座を開く予定でしたが、実現に至らず、それがちょっと心残りです。呉さんをただ見守るだけでしたが、クラブと奨学生との橋渡しをするのがカウンセラーの役割なのだと思います。

何物にも替え難い経験

今年度、私は地区米山奨学委員長を拝命しました。役割の多さに、当初は「えーっ、こんなにメンドクサイの!？」と面食らいました。しかし、ガバナー補佐として地区全体を見渡す経験をした上で言えることですが、数ある委員会の中でも、米山奨学委員会には特に充実感のある委員会だと断言できます。奨学生一人ひとりと密度の濃い、人間同士の付き合いができるからです。

母国を飛び出して海外で学位を取る。考えてみれば、並大抵の覚悟ではありません。奨学生を間近に見ていると、どの子にも強い決意を感じます。単位や資格の取得に向けて努力する姿、大学に泊まり込んで論文を仕上げ

る姿に圧倒されます。夢に向かって羽ばたく彼らの人生の一時期を共に過ごし、われわれが支えていくという奉仕の実感は、何物にも替え難いものです。

終わりなき継続事業

当地区は一人当たり平均寄付額が全国 34 地区で常に下位にあり、地区に割り当てられる奨学生数は今年度ついに一桁の 9 人となりました。私のクラブでは会長をはじめ支援に積極的ですが、大学の所在地が偏っていることもあり、理解が浸透しているとはいえません。

「奨学期間が終わったら音沙汰がない」という声も、よくある意見の一つです。私自身、呉さんの卒業後、1 年ほど連絡が取れない時期がありました。いつか返事が来るだろうと楽観的に構え、たまにメールを送っていましたが、あとから聞くと、母国でお父さんが亡くなり、心身ともに大変な時期だったそうです。ロータリアンの理解を得る一つの鍵として、奨学生の皆さんには、学友になってからも連絡し続けるよう指導していますが、さまざまな事情があることも事実です。

米山は事業そのものも、奨学生との縁も、終わることのない継続事業です。次年度、地区では世話クラブ以外のサブクラブ制度を設け、地区内全てのクラブに奨学生との交流を経験してもらおうと考えています。私のように米山に“はまる”会員が増えることを願っています。



クラブの夏祭りに、現役の奨学生らと参加した呉さん（右から二人目）と大久保さん（右端）

米山カウンセラー、ガバナー補佐を務めた翌年度に、地区米山奨学委員長となった大久保章宏さん。米山記念奨学事業を盛り上げるため、地区独自の米山バッジを作ったり、サブクラブ制度を提案したりと、会員が米山に“はまる”工夫を重ねています。今回は、そんな大久保さんと、彼が“はまる”きっかけとなった最初の奨学生・呉^ゴ佩珊^{ハイサン}さんのそれぞれに、当時の思い出や経験、米山の魅力について語っていただきました。



米山学友
ゴ ハイサン
呉 佩珊 さん

出身：台湾
奨学期間：2010 - 11
学校名：山形大学大学院

人と触れ合い、文化を感じて

私は大学時代の1年間、交換留学生として山形大学で学びました。帰国後も東北の生活が恋しく、今度は修士の学位を取るため再来日し、米山奨学生となりました。ロータリーは台湾でも有名で、例会はさぞかし厳粛だろうと緊張していましたが、山形南ロータリークラブは若い会員も多く、温かく気軽な雰囲気ですぐに打ち解けることができました。

有益な卓話も楽しみでしたが、皆さんとの歓談が一番心弾む時間でした。例会以外にも、一緒に台湾料理や日本食を満喫したり、日本文化を深く理解するため、旅行にも行きました。そのせいか、大久保さんからは「ちゃんと勉強しているか」と、いつも心配(?)されましたが、勉学を一番の目的としながらも、留学したからにはその土地の人と触れ合い、文化を体験することが、勉学と同じくらい大切なことに思えました。

日本で学んだ多様性と柔軟性

奨学期間が終わるころ、東日本大震災が起きました。経験したことのない揺れが何度もあり不安が募る中、携帯電話の回線がつながって真っ先に目に入ったのは大久保さんからの、私の身を案じるメールでした。皆さんそれぞれが大変な時に、とても感動しました。

私は現在、Apple Japanに勤め、仕事を楽しんでいます。今、伝えたいことは、大久保さんをはじめ世話クラブの皆さん、台湾のことを伝える機会を与えてくださってありがとう。楽しい思い出をありがとう。4年たった今も、クラブの行事に誘ってくださってありがとう。多様性を受け入れて尊重し、柔軟性を持つことを、日本で学びました。米山奨学生としての数々の経験は、今はまだ自分の財産でしかありませんが、皆さんのように周りに良い影響を与えられる人間になりたいと思っています。米山学友であることを誇りに思い、日々のたくさんの出会いを大切にしていきます。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



米山奨学生・学友 60 人超が日本の高校生と国際交流

関東在住の米山奨学生・学友らが9月26日、東京都立小平高等学校を訪れ、生徒約280人に対し国際交流の授業を行いました。東京米山学友愛ロータリークラブ(RC)と東京米山ロータリーEクラブ2750の共催によるもので、3年目の今回は、国内5地区の奨学生・学友ら67人(出身：計15か国)が参加し、母国を紹介したり、言葉を教えたりしました。「アジアの学生と交流する機会が少ないので、生徒たちには良い刺激となった」と校長先生から感謝の言葉があり、発起人の朴貞子^{ハクテイ}さん(東京米山学友愛RC)は「参加した皆さんが、各地で高校生との交流を展開してくれたら、それこそがロータリーの“善の循環”になる」と期待を述べました。



地区を超えて多数の奨学生・学友が参加

バギオ基金で夢をかなえています

一般財団法人比国育英会バギオ基金
総務担当副会長 齊藤 実

介護福祉士国家試験に合格

ランドカン・エミリー・ヴォンさん（第4期留学生）

エミリーさんは、バギオ基金の第4期留学生として、2011年4月に福井県敦賀市の敦賀短期大学（当時）へ入学しました。フィリピンではセントルイス大学看護学科を卒業し、2008年10月にはフィリピンの看護師資格を取得しています。小さな体ながら元気いっぱいの女性です。

短期大学で勉学に励む傍ら、市内の特別養護老人ホームでアルバイトをしていました。そこで介護を経験し、日本語の習得にもプラスになったようです。ロータリアンの皆さまの協力もあり、2013年3月に短期大学を卒業することができました。卒業後、日本で働くことを希望していましたが、日本での就労には、経済連携協



介護福祉士国家試験のお祝いの会にて

定（EPA）に基づき、日本の介護福祉士国家試験に合格する必要がありました。本人の努力もあり、エミリーさんは日本語能力試験N1に合格したため、EPAで必要な日本語研修期間が通常より短くなりました。そして、国家試験を受験し、福井県内では初めての合格者となりました。

介護の人材不足が言われる中、これからもエミリーさんのような優秀な介護福祉士が、バギオ基金の留学生出身者から出てくると大変うれしく思います。お世話になった地域のためにも、またロータリアンの皆さまにも恩返しとなることと思います。そしてこれからの後輩たちの目標になるよう、体に気を付けてがんばって精進してほしい

です。それが、日比両国の親善友好に寄与することになるでしょう。

第5期留学生の近況



（左）日本語学校入学式にて手前からニッキ君、レイン君。（右）宜野湾市トロピカルビーチにて左からクラスメート二人とレイン君、ニッキ君

第5期留学生として、6月にレイン・カルシさんとニッキ・チオクさんの2人が来日しました。現在は沖縄県那覇市の日本語学校、沖縄JCS学院に在籍。7月に入学式があり、日本語クラスで勉学中です。成績も優秀で、

9月から上級クラスに入ったという報告もありました。

また9月には学校主催のビーチパーティーに参加するなど、学校生活も楽しんでいるようです。2016年4月から同市にある専門学校大育の調理本科に入学し、専門的な勉強が始まります。



バギオ基金の現況 【創立】1981年9月22日【財団設立】2009年7月1日【奨学金を与えた学生数】3,399人
【受け入れ留学生数】11人【後援・関係RC数】369RC(34地区)【後援者数】3,897人
【バギオ訪問回数と参加延べ人数】1977年度から2014年度まで36回 1,076人



「転換期を迎える日本の介護」シンポジウムにて発表するミアさん
(左から2人目)

介護福祉士国家試験に挑戦

ミア・ロスリン・オプラスさん (第3期留学生)

エミリーさんと同じ特別養護老人ホームで、もう一人バギオ基金留学生だった女性がいます。ミアさんは2010年4月、敦賀短期大学に入学。2012年3月に卒業後、同年12月まで研修生として引き続き在籍していました。2013年6月からEPA候補者として再来日し、現在実務研修中です。本年度中に介護福祉士国家試験を受験する予定です。

看護師国家試験に挑戦

ジョイ・シムシムさん (第2期留学生)

2009年4月、敦賀短期大学に入学。2011年3月同短期大学卒業後、研究生として2年在籍し、2013年4月、京都ノートルダム女子大学へ編入しました。2015年3月に同大学を卒業。2015年7月からEPA候補者として愛知県の病院にて実務研修中で、現在看護師国家試験を目指し、勉強中です。

京都ノートルダム女子大学卒業式にて
中央がジョイさん



第7期第1回理事会および第7回定時評議員会の開催



第7回定時評議員会

8月24日に開催の第1回理事会にて、代表理事・坂本俊雄氏の任期満了により、あらためてその選定について諮り、坂本氏を再び当法人の代表理事に選定しました。

また、9月14日に開催した第7回定時評議員会にて、現在の理事45人のうち任期満了となる42人についても再選重任を可決しました。理事会メンバーの詳細については、比国育英会バギオ基金までお問い合わせいただくか、ホームページ (<http://www.baguiofund.or.jp>) をご覧ください。

一般財団法人比国育英会バギオ基金事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-9 新盛ビル5階

Tel. 03(5367)1937 Fax. 03(5367)1938

E-mail baguiofund@eos.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.baguiofund.or.jp>



第2830 地区

2015 年 9 月 5 ～ 6 日
リンクモア平安閣市民ホールほか
ホスト 青森モーニングRC 登録者 588 人

鈴木唯司ガバナー 岩瀨均 R I 会長代理を迎え開催。初日の地区指導者育成セミナーは、山崎淳一氏（第 2830 地区 P G）による「ポリオ撲滅の現状と今後」、岩瀨氏の講演「国際ロータリーとロータリー財団」、本会議は、中路重之弘前大学大学院医学研究科長・医学部長の基調講演「青森県の短命県返上活動の現状」を一般公開、医師ロータリアンとのパネルディスカッションもありました。2 日目の本会議は、大ロータリーウルトラクイズを開催、入賞者にはソウル国際大会に向け、青森—ソウル往復航空券が贈られました。



第2510 地区

2015 年 10 月 3 ～ 4 日
まなみーる岩見沢市民会館ほか
ホスト 岩見沢RC 登録者 1,750 人

嵯峨義輝ガバナー 金杉誠 R I 会長代理を迎えて開催。1 日目は会長・幹事会、小船井修一氏（第 2500 地区 P G）、鈴木隆志氏（第 2750 地区）を講師に迎えた地区指導者育成セミナー。2 日目は、市内をドローンで空撮した映像で本会議が開会。新会員セミナーの講師は北河原公敬氏（第 2650 地区 P G）。地元の高校出身で外交ジャーナリストの手嶋龍一氏の記念講演「『自立する北海道』～自己決定権の時代」は興味深く、叱咤激励を込めた話。金杉氏から「エクセレント！」と講評があり、素晴らしい大会となりました。



第2690 地区

2015 年 10 月 3 ～ 4 日
岡山ドームほか
ホスト 岡山南RC 登録者 2,580 人

佐藤芳郎ガバナー 台湾から楊祖穎 R I 会長代理夫妻を迎え開催。1 日目は、地区研修リーダー・延原正氏（第 2690 地区 P G）の基調講演、ロータリー米山記念奨学会理事長・小沢一彦氏の特別講演、ミズノ（株）会長・水野正人氏（第 2580 地区 P G）の記念講演から、多くのことを学びました。夜はルネスホール（旧日本銀行岡山支店）で大会初の前夜祭が開かれました。2 日目の本会議は、楊氏が流暢な日本語で R I やポリオ撲滅運動の現況を報告。「集う」「学ぶ」「楽しむ」を核にした「記憶に残る良い」大会となりました。



第2500 地区

2015 年 10 月 16 ～ 17 日
旭川市民文化会館ほか
ホスト 旭川北RC 登録者 1,253 人

東堂 明ガバナー 韓国から韓時俊 R I 会長代理を迎え、地区初の E クラブを含め 67 クラブが参加。1 日目の地区指導者育成セミナーの基調講演は金一氏（第 3590 地区 P G・韓国）の「我等の道、ロータリーは素晴らしい」が、2 日目、韓氏が壇上で参加クラブ全ての会長、幹事と握手を交わしたクラブ紹介では、韓氏の優しいまなざしが印象的でした。続いて「下手ですが」と断った上での全て日本語でのあいさつとメッセージは、親しさと友情と感動を深く感じさせ、参加者に大きな感銘を与えることとなりました。



第2840 地区

2015 年 10 月 17～18 日
利根沼田文化会館ほか
ホスト 沼田中央 R C 登録者 874 人

生方 彰ガバナー 地区スローガン「奉仕・真実・喜び」を掲げ、R I 会長代理には台湾の曾秋聯氏^{ツェンチューリン}を招き、開催。大会前半では会員増強優秀クラブの表彰があり、会員増強トップの高崎 R C は実に 51 人の増強を達成し、表彰を受けました。午後の部では、2 年ぶりに復活した基調講演が行われ、認定 N P O 法人日本紛争予防センター理事長の瀬谷ルミ子氏が、「『紛争地に平和を築く活動』世界の現状と私たちにできること！」と題して実際の体験を基にした講演を行い、大変なインパクトがありました。



第2600 地区

2015 年 10 月 17～18 日
まつもと市民芸術館ほか
ホスト 松本南 R C 登録者 1,950 人

望月宗敬ガバナー 小船井修一 R I 会長代理を迎え、「今見直しに勇気を！」を大会目標に開催。職業奉仕の実践として大学や地域社会への出前講座の推進や地区事務所の設置固定化、自治体、ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付などの決議がなされました。元 NH K アナウンサー・松平定知氏の記念講演「日の本一の兵（つわもの）・真田幸村」には、ロータリアン 1,000 人のほかに一般市民 600 人も聴き入りました。友愛の広場には、ロータリーデーとしてロータリー商店街を開き、市民を巻き込んだ有意義な大会となりました。



第2730 地区

2015 年 10 月 17～18 日
延岡総合文化センターほか
ホスト 延岡東 R C 登録者 1,261 人

野中玄雄ガバナー 香港からの R I 会長代理が病気のため突然の欠席^{ききうきよ}。急遽、中村靖治 R I 会長代理を迎えて開催。「集え、ロータリアン！ 水郷とお接待のまち延岡へ！」を歓迎コンセプトに、鮎の塩焼き、チキン南蛮などのふるまいやお茶席を準備して参加者全員を接待。田中作次元 R I 会長のロータリー特別セッション「ロータリーを語ろう！」やジャーナリストの櫻井よしこ氏の記念講演などもあり、「素晴らしいロータリー」「不思議なロータリー（ロータリーマジック）」「楽しいロータリー」をあらためて体感した大会となりました。



第2610 地区

2015 年 10 月 24～25 日
白山市松任文化会館ほか
ホスト 白山 R C 登録 1,386 人

柳生好春ガバナー 「世界へのプレゼントになろう」とのテーマを掲げ、台湾から康義勝 R I 会長代理夫妻を迎えて開催。地区内 65 クラブのロータリアンが一堂に会しました。1 日目、本会議での小船井修一氏（第 2500 地区 P G）の基調講演「ロータリーの職業奉仕」は、ロータリーを学ぶ上で貴重な話でした。2 日目には作家・五木寛之氏の記念講演「利他のこころ」がありました。ホスト白山 R C の姉妹クラブの京都城陽 R C や韓国の友好クラブ・大邱青雲 R C の参加もあり、親睦を深めることができました。



第2780 地区

2015 年 10 月 24 ~ 25 日
茅ヶ崎市民文化会館
ホスト 茅ヶ崎 R C 登録者 2,589 人

田中賢三ガバナー 田中作次 R I 会長代理を迎え開催。すべて会員の手作りでという大会には、心温まるエピソードがあふれていました。また、地域を基盤として活動するロータリークラブにふさわしく、この地域の文化の深さ、色の豊かさをふんだんに取り入れ、大会が進められました。本会議では湘南に本拠地がある「乃羽バレエ団」の演技に、普段バレエに縁のない会員まで賞賛の拍手を贈りました。迫力ある「海老名東柏太鼓」で幕が開いた懇親会には、メンチカツ、ハム、地ビールなど、地元の食材が懇親会に花を添えました。



第2710 地区

2015 年 10 月 24 ~ 25 日
宇部市渡辺翁記念会館ほか
ホスト 宇部西 R C 登録者 1,800 人

東 良輝ガバナー 江崎柳節 R I 会長代理を迎え、1 日目は会長・幹事会での基調講演「Rotary Magic」、R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、日韓交流パーティーが開催されました。2 日目は、本会議で、R I 現況報告や地区の奨学生が海外での体験談を話す国際アワーなどが行われました。村上和雄筑波大学名誉教授の記念講演「遺伝子オンにして可能性を引き出す」では、ユーモアたっぷりの眠気を寄せ付けない話術に聴講者は魅了されました。大会目標の「仲間と集いロータリーを矜持しよう」が全うできた意義ある大会となりました。



第2560 地区

2015 年 10 月 31 日 ~ 11 月 1 日
朱鷺メッセほか
ホスト 新潟南 R C 登録者 1,259 人

山本和則ガバナー 青少年交換学生の経験やローターアクターの活動報告を聞き、自分も若かったら体験してみたい、と思ったロータリアンは多かったことでしょう。壇上で堂々と自分の言葉で語る若者たちは、青少年プログラムの意義を証明してくれました。8 年前と全く同じ実行委員会メンバーによって練られたプログラムは、硬軟の両面を併せ持つスケジュール。藤林豊明 R I 会長代理からは「地区大会の手本」と評され、最後の親睦会には予定を変更し参加する人もいたほど。最後の最後まで熱気あふれる大会となりました。



第2760 地区

2015 年 10 月 31 日 ~ 11 月 1 日
ウェスティンナゴヤキャッスル
ホスト 岡崎東 R C 登録 2,881 人

イムチャンゴン 加藤陽一ガバナー 韓国から任昌坤 R I 会長代理を迎えて開催。本会議では、地区が取り組んでいる V T T や「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」などの活動が次々に紹介され、一丸となって目標に向かう地区の勢いが表れていました。友愛の広場で会員同士が積極的に談笑していたのも、クラブを超えた交流がさかに行われている証なのでしょう。任氏の「講評が必要でしょうか？」と笑顔の講評の後、閉会。大きな拍手が鳴りやまない中、加藤ガバナーが感極まり任氏に抱き付く瞬間が。友情を大切にするガバナーの思いがあふれました。



今月は数独。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

ルール

- ①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

		2	8					
	5			2				6
7					6		9	
		6	1				5	
1								4
	2				9	7		
	4		5					2
9				7			3	
					1	6		

問題

二重枠のマスに入った数字をA～Eの順に並べてできる5桁の数字をお答えください。

答

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

プレゼント

毎月10人の方にロータリーの友ロゴ入りオリジナルペンをプレゼント（2色ボールペン＋シャープペン）



応募方法

郵便はがきに、①「12月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ランキングベスト3」の集計に使用します。会員のご家族の方もご応募できます。

締め切り 2016年1月12日（火）必着

正解と当選者発表 本誌2月号

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！

* 9月号の答えと解説を横組みP 43に掲載しています。

ソウルでお待ちしています

若者たちが ソウルに集う

2016年国際大会で世界青年指導者会議開催！

2016年度R I ソウル国際大会推進委員会委員 市川伊三夫
元R I 新世代委員会委員 御手洗美智子



先月号の『ロータリーの友』（11月号横組みP 23）に掲載された「世界青年指導者会議（Y L S : Young Leaders Summit）」につきまして、大会組織委員会から詳細が届きましたので、ご紹介します。

この会議は、ホスト組織委員会が企画、実施するもので、友好関係の構築、ロータリー理念の理解、異文化の交流を目的に、世界中から19～35歳の若者1,000人が一堂に会します。ローターアクトやライラリアン（R Y L A : ロータリー指導者養成プログラム）などのロータープログラム経験者だけでなく、一般社会人やロー

タリアンも応募することができ、日本からは約100人の参加が期待されています。

各国からの参加者は、すべて韓国の若者と一人ずつペアを組み、共に行動します。すべてのプログラムが英語で進行し、通訳はつきません。参加者は英語でコミュニケーションができることが条件になります。

参加には、ガバナーの推薦が必要です。宿泊費用、食費、宿舎から国際大会会場までの交通費は全てホスト委員会が負担しますが、その他の費用については地区によって条件が異なります。地区からの案内をご確認ください。

世界青年指導者会議（Y L S）の日程

5月26日（木） ソウル到着、宿舎チェックイン
5月27日（金） Y L S 会議
基調講演、討論会、夕食会など
5月28日（土）
午前8時30分 平和行進 3km（ソウル市内）
午後 国際大会奉仕ボランティア
オリエンテーション
トレーニングと役割分担（K I N T E X）
午後8～10時
ソウル国際大会歓迎フェスタ
（オリンピックパーク体育館ソウル市南）
5月29日（日） 国際大会開会本会議（K I N T E X）
国際大会奉仕ボランティア
午後 開会式参加
5月30日（月） 本会議、各種分科会、友愛の家
午前 国際大会奉仕ボランティア

午後 R I - Y L S の分科会に参加
特別行事：多様な文化の子どものための図書館に本を寄贈する行事
5月31日（火） 本会議 各種分科会 友愛の広場
午前 国際大会奉仕ボランティア
午後 R I - Y L S の分科会に参加
国際大会奉仕ボランティア
6月1日（水） 閉会式参加
6月2日（木） ソウル出発

* Y L S 参加者は大会中に10時間の国際大会奉仕ボランティアをします。これにより、通常の国際大会登録費用は免除されます。

* Y L S ワークショップとローターアクトの日がありますが選抜されたら参加します。



台湾の仲間を、金沢でお迎えしませんか

第5回 日台ロータリー親善会議のご案内

日台ロータリー親善会議総裁

板橋 敏雄

第5回日台ロータリー親善会議実行委員長

第2610地区ガバナー

柳生 好春

日台ロータリー親善会議（台湾では「台日国際扶輪親善会」：法律で認められた法人団体です）の発足は、2007年2月に開催された第2580地区の地区大会で国際ロータリー（R I）会長代理を務められた林士珍パストガバナー（P G）と佐藤千壽P G（故人）、前川昭一P G、小澤秀瑛ガバナー（当時）をはじめとする皆さまの歓談の中で「日韓親善会議があるのになぜ日台親善会議がないのか？」という共通の思いから始まりました。2008年5月に第1回日台ロータリー親善会議が東京で開催されて以来、第2回は台中・日月潭、第3回は京都、第4回は台北と回を重ねてきました。

皆さまもご存じの通り、日本と台湾は政治的には国交がないなどの課題はありますが、経済・文化をはじめ、お互いにさまざまな分野での交流を深めています。特筆すべきは、東日本大震災と福島原発事故に際して多額の義援金をいただいたことであることは言うまでもありません。国を超えた人間同士の温かい絆が存在すること

に他ならないものと確信しております。もちろんロータリーにおいても日台間で姉妹クラブや友好クラブを締結している例もたくさんあります。

ところで、なぜ金沢での開催となったのでしょうか？実はここにも一つの物語があります。日本統治時代の1930（昭和5）年、インフラの整備がまだ整っていない時代、台湾南部の嘉南平野に嘉南大圳（烏山頭ダム）が建設され、多大な恵みをもたらしました。このダムの建設を担ったのが、金沢出身の技師、八田與一氏です。氏の偉業は毎年命日に烏山頭ダムで慰霊祭が行われるばかりでなく、台湾の教科書にも紹介されています。さらに氏は当時まだ日本でもロータリークラブ（R C）の数が少ない中、台北R Cの会員でもありました。

このように、さまざまなご縁をいただき、第5回日台ロータリー親善会議を来る6月5日に金沢で開催いたします。ソウル国際大会の直後とはなりますが、多数のご参加をお待ち申し上げております。

開催日 2016年6月5日 13:00～

会場

- ・会議・式典 石川県立音楽堂コンサートホール
- ・懇親会 ホテル日航金沢（いずれもJ R金沢駅前）

登録料 2万円

登録締切 2016年2月29日

※詳細は、各地区ガバナー事務所にご案内いたします。クラブを通し、各地区のガバナー事務所にお申し込みください。

プログラム

13:00～14:00 登録受付

14:00～15:20 会議、あいさつ、活動報告

15:40～17:10 記念講演 田中作次元R I会長
黄其光直前R I会長

18:00～20:00 懇親会

お問い合わせは

第5回日台ロータリー親善会議実行委員長 柳生好春

第2610地区ガバナー事務所

Tel. 076-245-5575 Fax. 076-245-5576

E-mail yagyu15-16@rotary2610.jp



国際大会カウントダウン 韓国のおもてなし



韓国の人はフレンドリーで親切。訪問者を熱心に歓迎してくれます。その温かさを表す、韓国の言葉を一つご紹介します。

韓国語の「정 (ジョン)」は、献身、思いやり、親縁を意味し、密接な絆、真の結びつき、他者への愛情を表します。旧友同士で使われることもあれば、出会ったばかりの人にも使われます。

聞いただけではよくわからないという方も、ご心配なく。2016年5月28日～6月1日にソウルで開かれるロータリー国際大会で、きっと「정」を体験できるでしょう。

「정」はホストホスピタリティーの夕べの大切なコンセプトでもあります。このイベントでは、大会参加者が地元のロータリアンと直接交流できます。内容はカジュアルなピクニックからエンターテインメントまでさまざま、地元ロータリアンが手配します。チケットは www.riconvention.org/ja から購入できます。

ホスト組織委員長の尹商求氏は、大会開催地の人と交流できるのがロータリー国際大会の醍醐味のひとつと話します。自身もこれまでに出席した国際大会では必ずホスト行事に参加し、シドニーでホームステイ、ロサンゼルスでアートギャラリー巡り、スウェーデンで古城ツアーに参加しました。毎回、

世界中から集まったロータリアンとの触れ合いを楽しんだそうです。

ホスト委員会では、できる限り多くの方が参加できるよう、複数の日にホスピタリティーの夕べが開催されます。尹氏は、特に韓国のクラブとパートナーシップを結んでいる人に参加を呼びかけています。皆さんもどうぞ韓国のおもてなしと「정」をお楽しみください。

12月15日まで国際大会登録の早期割引をご利用いただけます。登録は、

www.riconvention.org/ja から。

世界経済の低迷で ロータリーの投資に陰り

ロータリー財団管理委員会の10月会合で、投資委員会は、主にコモディティ市場と新興市場の下落により、ロータリーの投資収益が予想を下回ったと報告しました。

2015会計年度(2015年6月30日まで)、年次基金(運営予備金を除く)は0.2%の損失を記録し、国際ロ

管理委員長の思い

今年度の会長主催会議

2015-16年度ロータリー財団管理委員長 レイ・クリンギンズミス

RI指定記事

世界各地で開催され、ロータリアンに好評の会長主催会議。主題はその年の会長によって異なります。今年度、ラビンラン国際ロータリー(RI)会長は、ロータリーの重点分野に関連した5つのユニークな会議を企画しました。



会議はRIとロータリー財団の共催で、ラビンラン会長と私がすべての会議に出席します。ロータリアンの皆さまには、特に近隣で開催される会議をご支援いただければ誠に幸いです。どの会議も2日間の日

程で行われ、ロータリーのリーダー、重点分野に詳しい専門家とともに、主題について理解を深める機会となります。また、ロータリアンが、革新的かつ効果的なプロジェクトに取り組んでいく上で実践的なアプローチを学ぶ参考にもなるでしょう。

興味深い内容となっておりますので、ぜひ多くの方にご参加いただけることを願っております。また、ご自身が参加できない場合は、クラブから代表者を派遣することをご検討ください。会長主催会議は、ロータリー国際大会に加えて貴重な経験の場となり、またロータリーが「世界でよいことをしている」と実感できる絶好の機会です。

日程

・平和と紛争予防／紛争解決

1月15～16日(アメリカ・オンタリオ) peaceconference2016.org

・疾病予防と治療

2月19～20日(フランス・カンヌ) rotary-conference-cannes2016.org

・地域社会と経済の発展

2月26～27日(南アフリカ・ケープタウン) rotarycapetown2016.com

・識字率向上と「WASH in Schools」

3月12～13日(インド・コルカタ) rotaryteach.org/presidentialconference

・「WASH in Schools」

3月18～19日(フィリピン・パサイ)

2016RotaryPresidentialConferenceManila.org

The
Rotary
Foundation



ーターリー（R I）一般資金は2.8%落ち込みました。一方、ポリオプラス基金は0.7%増、恒久基金は0.5%増と、ごくわずかな上昇にとどまりました。

今年度第1四半期も、中国市場の伸び悩みに対する世界的懸念が金融市場に影響していることを受け、年次基金、恒久基金、R I一般資金の投資がマイナスになるとロータリーは予想しています。ポリオプラス基金は同四半期に若干のプラスになると予想されています。

現在のほぼすべての損益は含み損にとどまり、ロータリー財団は運営に必要な資金を十分に備えていることが

ら、長期的にはロータリーの各基金の投資はこれまで順調な成果を挙げています。ただし、ロータリーの運転資本のニーズを支えるためにR I一般資金を使用する可能性もあります。

今後のR I 国際大会

2016年5月28日～6月1日

韓国・ソウル

(以下、予定)

2017年6月10～14日

アメリカ・アトランタ

2018年6月24～27日

カナダ・トロント

統計

全世界ロータリアン総数

1,224,261人

クラブ数 35,187 クラブ

地区数 535 地区*

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 194,028人

クラブ数 8,436 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 429,203人

クラブ数 18,661 クラブ

国と地域 150 以上

2015年9月30日現在

* 2015 - 16年度

ロータリーの
ニュースは

**ROTARY
JAPAN**
Home Page www.rotary.or.jp

「パズル de ロータリー」(9月号)の答えと解説

9月号の答えは

「1935」

当選者(敬称略・順不同)

中村薫(鈴鹿RC)、那谷定彦(大阪金剛RC)、中里公哉(福岡城西RC)、河合睦文(神戸垂水RC)、寺嶋一夫(新潟東RC)、遠藤亮之(倉敷東RC)、田中哲雄(長岡東RC)、清水慶造(福井RC)、原田正之(若松RC)、藤田誠(高岡北RC)

応募総数 236人 正解者 227人

7	4	8	2	9	①	3	6	5
9	5	6	8	3	7	2	1	4
1	2	3	6	5	4	8	7	9
4	1	7	9	8	3	6	5	2
6	⑨	5	4	1	2	7	3	8
8	3	2	7	6	5	4	9	1
③	6	9	5	2	8	1	4	7
5	8	4	1	7	6	9	2	3
2	7	1	3	4	9	⑤	8	6

ところで「1935」って?

1935(昭和10)年は日本のロータリーにとって忘れられない年でした。

2月、ポール・ハリス夫妻が、当時の国際ロータリー会長のロバートE.リーヒル氏らとともに、マニラで開催される太平洋会議に出席するため、日本に立ち寄りました。

ハリス一行の乗った船が横浜港に着いたのは予定から3日遅れ。日本に滞在したのはわずか2日でしたが、その間に、3回の歓迎会に出席し、東京と京都を観光、帝国ホテルの庭に植樹をするなど、超過密スケジュールでした。ポール・ハリスが66歳の時です。この時植樹された月桂

樹は、その後分けられ、現在では国内各地で2世、3世、4世が育っています。

また、5月に京都で開催された地区大会で日本語のロータリーソングが発表された年でもあります。当時、例会で歌うのは英語のロータリーソングをそのまま歌うのが常でしたが、日本語のロータリーソングを求める声が高まったのを受け、募集されました。祇園の歌舞練場で、東久邇宮殿下の出席のもと、4曲が発表されました。そのうちの2曲は70年たった今でも例会などで歌われている「奉仕の理想」「我等の生業」。なお「奉仕の理想」の作詞は、京都RCの前田和一郎氏、作曲は東京RCの萩原英一氏です。



米山梅吉に箸の使い方を教わって食事をするポール・ハリス

当時、日本は第70区。地区には、朝鮮、満州、台湾も含まれていました。『ガバナー月信』によると、1935年4月時点で、27のロータリークラブがあり、会員数は約1,200人。この地区大会に参加したのはなんと823人。当時のロータリアンの情熱が伝わってきます。

おまけ

『友』9月号

印象に残った記事ベスト3

1位(36人)

- ・東日本大震災から伝えたいこと
- ・ちょっと変わった例会の食事エピソード②

3位(26人)

「ギフトになろう」(友愛の広場)

事務所住所変更

飯坂 (2530・福島県)

〒 960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯 6
匠のこころ 吉川屋内

東京麻布 (2750・東京都)

〒 107-0052 港区赤坂 2-12-25
ネオキャステール 402
アールシープランナーズ内

奈良大宮 (2650・奈良県)

〒 630-8115 奈良市大宮町 6-3-7
中室ビル 3 階 301 号室

阿波池田 (2670・徳島県)

〒 778-0001 三好市池田町ウエノ
3050-1

佐世保北 (2740・長崎県)

〒 857-0872 佐世保市上京町 6-21
上京ビル 4 階

例会場・曜日・時間変更

旭川東・旭川南・旭川モーニング
(2500・北海道)

アートホテルズ旭川 (建物名称変更)

飯坂 (2530・福島県) 匠のこころ 吉川屋
弘前西 (2830・青森県)

第 3 のみ 18:30

西尾 (2760・愛知県) 西尾信用金庫本店
KUMATORI 向日葵 (2640・大阪府)

金→月 19:00

堺フラワー・堺利晶 (2640・大阪府)
レジデント米田

ロータリークラブ名称変更

大阪千代田→堺利晶 (2640・大阪府)
2015 年 10 月 14 日承認

新インターアクトクラブ

佐野日本大学高等学校さくら

(2550・栃木県・佐野)

発会 2015 年 9 月 15 日 会員数 57 人

2015 - 16 年度 春期地区大会のご案内

(地区・ホストクラブ・開催月日・メイン会場名・開催地)

第 2790 地区 千葉 2/6 ~ 7

アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉ホール (千葉県千葉市美浜区)

第 2750 地区 東京飛火野 2/23 ~ 24

ザ・プリンス パークタワー東京 (東京都港区)

第 2580 地区 東京武蔵野中央 2/24 ~ 25

ホテルニューオータニ (東京都千代田区)

第 2540 地区 秋田 3/5 ~ 6

秋田県民会館(秋田県秋田市)

第 2680 地区 神戸西神 3/12 ~ 13

神戸ポートピアホテル (兵庫県神戸市)

第 2520 地区 仙台泉 3/26 ~ 27

仙台国際センター(宮城県仙台市)

第 2570 地区 本庄 3/26 ~ 27

埼玉グランドホテル本庄ほか (埼玉県本庄市)

第 2640 地区 和歌山 2/27 ~ 28

ルミエール華月殿/和歌山県文化会館 (和歌山県和歌山市)

第 2720 地区 熊本南 3/26

市民会館崇城大学ホール (熊本県熊本市)

第 2650 地区 京都南 4/2 ~ 3

ロームシアター京都、京都市勧業館みやこめっせほか (京都府京都市)

第 2820 地区 竜ヶ崎 4/16 ~ 17

ノバホール(茨城県つくば市)

第 2670 地区 徳島 5/14 ~ 15

アスティ徳島(徳島県徳島市)

第 2700 地区 福岡東 5/21 ~ 22

福岡国際会議場 (福岡県福岡市)

事務所 〒 327-0192 佐野市石塚町

2555 佐野日本大学高等学校内

会長 長 恒太郎 幹事 大川 寛人

高槻中学校・高等学校

(2660・大阪府・高槻)

発会 2015 年 10 月 1 日 会員数 19 人

事務所 〒 569-8505 高槻市沢良木

町 2-5 高槻中学校・高等学校内

会長 鈴木 滉 幹事 小野塚悠斗

新ローターアクトクラブ

東京浅草中央

(2580・東京都・東京浅草中央)

結成 2015 年 8 月 30 日 会員数 11 人

事務所 〒 111-8765 台東区西浅草

3-17-1 浅草ビューホテル内

会長 小笠原 聡 幹事 三浦慎太郎

豊岡 (2680・兵庫県・豊岡)

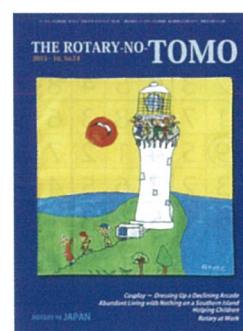
結成 2015 年 8 月 20 日 会員数 8 人

事務所 〒 668-0046 豊岡市立野町

19-1 萬長ビル 2-1 号

会長 大坪 香穂 幹事 広瀬 早希

『ロータリーの友』 英語版 No. 74 刊行!



英語版は『友』誌から記事を
転載し、年 1 回発行しています。
海外でのメイクアップ時や、国際
大会のプレゼントにいかがでしょ
うか。交換学生や、その受け入れ
先のご家族に差し上げるなど、あ
らゆるシーンでご活用できます。
ご注文は『友』事務所まで。

定価 500 円+消費税 (送料込)

『友』誌で購読部数 変更についてのお願い

- ①今年度『友』誌下半期分(2016年1月号～6月号)減部のご連絡は、2015年12月7日までに直接、友事務所へお願いいたします。ご連絡は、郵便・電話・FAXのいずれでも結構です。
- ②1月号の発行部数決定や発送準備の都合上、12月8日以降は、1月号の減部はご容赦ください。
- ③12月8日以降の会員変動による減部は、2016年1月12日までにご連絡いただければ、「2月号～6月号」の減部として対応いたします。
- ④1月13日以降にご連絡いただいた減部はすべて、次年度7月号からになりますので、お気をつけください。
- ⑤追加お申し込みは、残部がある限りお受けできます。随時ご連絡ください。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2015年12月号と同じ部数を送付いたします。

2014年1月号から、印刷版に加え電子版を会員の皆様全員にご提供しております。1月号～6月号下半期の購読料は電子版も含めて、定価200円＋消費税といたします。ご不明の点など、お問い合わせはロータリーの友事務所までお願いいたします。

◆修正 本誌9月号横組み表紙裏の万博写真キャプション・タイトルと上から2行目の3月14日→15日へ、同10月号横組みP23のハイチ・左段上から8行目の財団補助金を26万7,000ドルへ、おわびとともに修正。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル4階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2015年9月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第2500地区	67	2,275	2,277	79.80
第2510地区	70	2,592	2,584	83.25
第2520地区	79	2,309	2,299	78.24
第2530地区	66	2,391	2,351	71.91
第2540地区	42	1,114	1,114	79.10
第2550地区	51	1,750	1,711	83.64
第2560地区	56	2,126	2,082	83.50
第2570地区	51	1,680	1,694	83.69
第2770地区	73	2,602	2,623	81.19
第2790地区	84	2,792	2,793	81.98
第2800地区	50	1,642	1,622	86.02
第2820地区	57	1,993	1,989	83.84
第2830地区	40	1,156	1,141	86.25
第2840地区	46	2,082	1,987	80.80
第2580地区	70	3,043	3,025	84.56
第2590地区	59	2,147	2,187	86.88
第2600地区	55	2,010	2,002	87.28
第2610地区	65	2,633	2,631	83.98
第2620地区	78	2,988	3,011	88.63
第2630地区	78	3,132	3,131	86.22
第2750地区	100	4,840	4,696	78.41
第2760地区	83	4,854	4,855	93.95
第2780地区	65	2,375	2,331	80.46
第2640地区	70	1,884	1,970	85.17
第2650地区	97	4,658	4,624	90.46
第2660地区	81	3,636	3,667	87.20
第2670地区	74	3,001	2,994	85.34
第2680地区	73	2,874	2,884	91.26
第2690地区	67	3,120	3,100	86.86
第2700地区	61	3,193	3,185	90.52
第2710地区	74	3,343	3,322	92.02
第2720地区	74	2,393	2,432	85.85
第2730地区	65	2,368	2,354	84.78
第2740地区	57	2,235	2,226	83.70
34地区合計	2,278	89,231	88,894	

日本のロータリー

会員概数 88,941人
クラブ数 2,269

(左の表中34地区合計から、第2750地区のP Bグループを引いた数です)

ガバナー月信より 左の表ですが、第2750地区のクラブ数・会員数は、P Bグループ9 R C 290人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P6「日本のロータリー」数は、34地区合計からP Bグループを引いた数。前年同月末P Bグループ9 R C 会員数315人。

修正 本誌9月号横組みP41(6月末)表中、会員数修正: 2590・2,140人、34地区合計・87,432人、表外とP6「日本のロータリー」最終行・87,149人。同10月号横組みP50(7月末)表中、会員数修正: 2540・1,106人、2570・1,651人、34地区合計・88,030人、表外とP6「日本のロータリー」最終行・87,747人。平均出席率修正: 2560・82.36%。本誌11月号横組みP41(8月末)表中、会員数修正: 2540・1,112人、2570・1,650人、2760・4,839人、2780・2,367人、2690・3,115人、34地区合計・88,887人、表外とP6「日本のロータリー」最終行・88,599人。平均出席率修正: 2560・82.19%、2800・85.22%、2760・94.19%。

*『ロータリージャパン』の「ロータリー関連資料」には、データ修正後の表を掲載。
*第2520地区の数値は震災につき概数。第2640地区の数値集計遅れのため34地区合計数も概数。

ロータリーの友

1月号主要記事予定

横組み 職業奉仕 出前授業の試み

地区大会略報

World Roundup

縦組み 挑戦、二戸から世界へ……

「南部美人」5代目蔵元 久慈 浩介

わがまち……そしてロータリー 足利市

Rotary



第8回全国RYLA研究会開催のご案内

未来のリーダーを育成する「ロータリー青少年指導者養成プログラム」(RYLA-Rotary Youth Leadership Awards)への理解を深めるための研究会「全国RYLA研究会」を、今年度も下記の要領で開催いたします。

RYLAの最新の情報交換の場として、皆さま、ふるってご参加ください。

記

日時：2016年1月31日(日) 10:00～17:00

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
国際会議室
(東京都渋谷区代々木神園町3)

電話：03-3469-2525

参加費：1万円(昼食代などを含む)

対象者：ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、ガバナー補佐、

地区の青少年奉仕プログラムに関連する委員会メンバー、RYLA委員長、RYLA委員、そのほか、RYLAに関心を持つロータリアン。

内容：基調講演および分科会、オープンフォーラム、ライラリアンの報告、RIのRYLA委員会、ソウル国際大会での世界青年指導者会議(横組みP40参照)の情報など。

大会委員長：元RI理事・南園義一

*「申込書」は、各地区のガバナー事務所で配布しています。お申し込みは、各地区のガバナー事務所まで。

ご質問、お問い合わせは、担当・御手洗美智子(大会副委員長・第2750地区・東京広尾RC)まで。

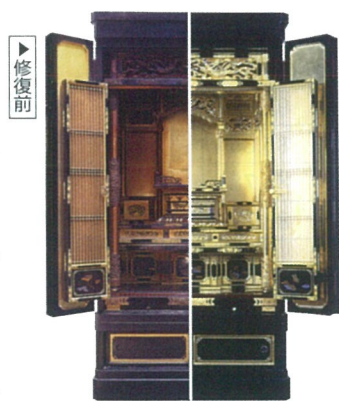
Fax：03-5707-0768

E-mail：mymitarai@gmail.com

京に生まれ育って186年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで
在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

夕に感謝

朝に礼拝

京都本社/〒600-8218 京都市下区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131 (代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 ☎(03) 3755-8488 (代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1 (築地本願寺内) ☎(03) 3546-8228 (代)・水曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 ☎(011) 512-3455 (代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 ☎(022) 213-0666 (代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 ☎(077) 564-1011 (代)・水曜定休
福岡営業所/☎(092) 761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫
芸術の香り高い迫真の肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に
法人企業や団体の創立者、功労者のご顕彰に。叙勲、褒章、就任退任のご記念に。還暦、古希、喜寿、米寿など人生の節目の記録に。金、銀婚式などのお祝に、また遺影を肖像画にしますと仏間の暗さが減り明るくなります。褪色のない油彩肖像画・・・是非お勧め申し上げます。

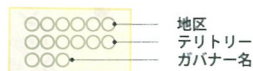
日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫による最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

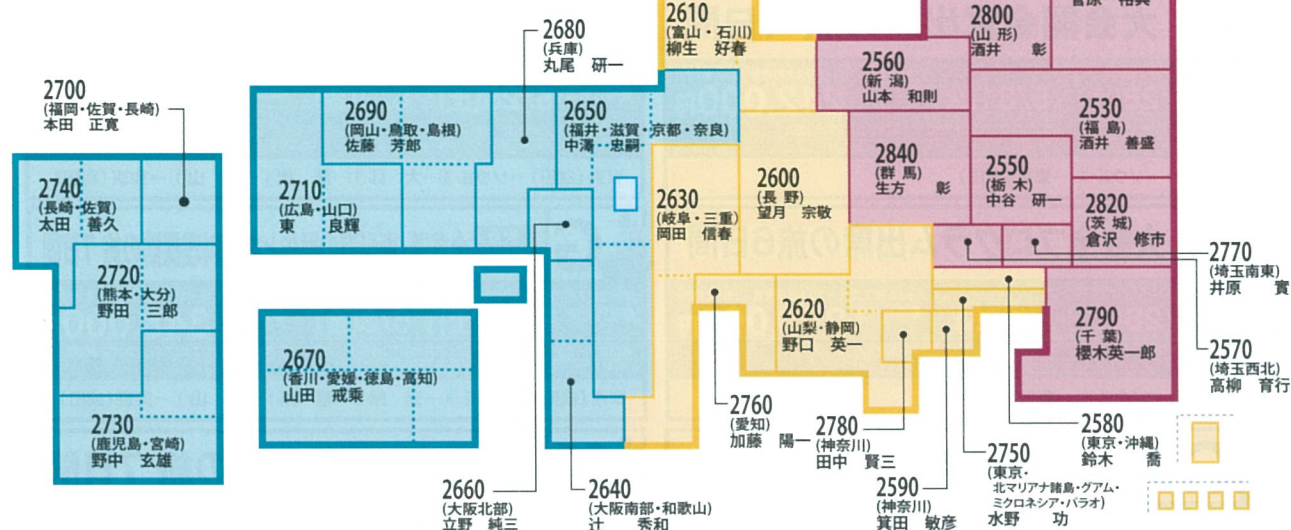
ホームページ <http://www.nihonshouzou.jp/>

(株)日本肖像 ☎0120-222-368

東京事務所/☎03-5285-3141
福岡事務所/☎092-451-0133 広島事務所/☎082-264-6075
熊本本社/〒861-1102 熊本県合志市須屋3882-1
☎096-249-1081 FAX 096-249-1082



- 第1ゾーン
- 第2ゾーン
- 第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友 第63巻 12月号

2015年11月30日印刷 2015年12月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

- 社員
- 杉谷 卓紀 (玉名)
 - 斎藤 直美 (豊田)
 - 鈴木 喬 (東京江北)
 - 水野 功 (東京飛火野)
 - 箕田 敏彦 (横浜)
 - 立野 純三 (大阪)

■ 理事会

- 代表理事 橋本 長平 (京都東)
- 理事 清水 良夫 (横浜)
- 中山 義之 (横浜南)
- 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
- 上野 孝 (横浜)
- 安平 和彦 (姫路)
- 片岡 信彦 (土浦南)
- 藤居 彰一 (日立)
- 大野 清一 (横浜東)
- 田中 俊實 (鹿屋)
- 上山 昭治 (東京武蔵野中央)
- 大槻 哲也 (東京中央)
- 横山 武志 (東京北)
- 中里 公造 (川口モーニング)
- 堀口 昇治 (東京西)
- 野中 茂 (川崎)
- 津村 政男 (東京臨海東)
- 渡辺 誠二 (東京みなと)
- 二神 典子 (東京築地)
- 船越 豊 (千葉中央)
- 小川 湧三 (川崎鷺沼)
- 板橋 敏雄 (足利東)
- 中村 昌平 (東京北)
- 監事
- 相談役

■ 職員

- 所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
- 編集長 二神 典子 (東京築地)
- 編集 稲川 やよい
- 黒野 穰二
- 野崎 恭子
- 山名 愛
- 飯田亜由香
- 経理 富澤 美子
- 半田 弥生
- 福元菜穂子

- 振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
- 郵便振替 口座番号 00180-8-694591
- 印刷 大日本印刷 (株)
- 表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956

ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

2016年 国際ロータリー年次大会
ROTARY INTERNATIONAL ANNUAL CONVENTION 2016

ソウル大会参加旅行のご案内
2016 Seoul

●大会開催地:韓国/ソウル ●大会期間:2016年5月28日(土)~6月1日(水)
●大会会場:KINTEX(キンテックス)エキシビジョンセンター



- ◆大会地ソウルでは、市内デラックスホテル宿泊を確約!
◆大会行事の全てにご出席いただけるコースから韓国のみならず台湾、ベトナムを訪ねるもの等、バラエティ豊かな9コースをご用意。

充実の**全9**コース

A 大会開会式出席の旅 4日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶5/31(火)** ●旅行代金 **242,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,580円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、
海外空港諸税(目安3,390円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル③→東京(成田)

B 大会全プログラム出席の旅6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶6/2(木)** ●旅行代金 **299,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,580円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、
海外空港諸税(目安3,390円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル⑤→東京(成田)

C 大会参加と 自然遺産の島 済州島の旅 6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/26(木)▶5/31(火)** ●旅行代金 **343,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,330円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、
海外空港諸税(目安3,600円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→済州②→ソウル③→東京(成田)

D 大会参加と 釜山・慶州周遊の旅 6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/26(木)▶5/31(火)** ●旅行代金 **294,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,600円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、
海外空港諸税(目安3,390円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→釜山①→慶州①→ソウル③→東京(成田)

E 大会参加と 山岳と風雅の地、江原道を訪ねる旅 6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/26(木)▶5/31(火)** ●旅行代金 **323,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,220円:2015年10月現在)、羽田空港旅客施設使用料(2,570円)、
海外空港諸税(目安2,870円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(羽田)→平昌①→江陵①→ソウル③→東京(羽田)

F 大会参加と 世界遺産巡り[安東~慶州~釜山] 7日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶6/3(金)** ●旅行代金 **370,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,580円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、
海外空港諸税(目安3,390円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル③→大邱①→慶州①→釜山①→東京(羽田)

G 大会参加と 全羅道・慶尚道の歴史と郷土料理探訪の旅 7日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶6/3(金)** ●旅行代金 **348,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,220円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税
(目安2,880円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル③→光州①→晋州①→釜山①→東京(成田)

H 大会参加と 台湾・台北満喫の旅 7日間

最少催行人数:15名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス羽田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/25(水)▶5/31(火)** ●旅行代金 **407,000円**
●燃油サーチャージ(目安3,600円:2015年10月現在)、羽田空港旅客施設使用料(2,570円)、海外空港諸税
(目安2,870円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(羽田)→台北③→ソウル③→東京(羽田)

I 大会参加と エキゾチック・ベトナム[ダナン・ホーチミン]の旅8日間

最少催行人数:15名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/23(月)▶5/30(月)** ●旅行代金 **433,000円**
●燃油サーチャージ(目安6,440円:2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、
海外空港諸税(目安7,000円:2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ダナン③→ホーチミン②→ソウル②→東京(成田)

旅行代金は、お二人部屋にお二人で宿泊基準のお一人様旅行代金です。○内の数字は宿泊数を表します。
詳しい募集案内をご請求ください。
ご請求は右下のフリーダイヤル電話でお気軽に!



◎ クラブ単位等で親睦を兼ねた特別コースの企画見積りも承っております、何なりとお申しつけください ◎

■お申し込み・お問い合わせ、募集案内のご請求は……

ボンド保証会員 旅行業公正取引
(社)日本旅行業協会正会員 協議会会員
観光庁長官登録旅行業第270号
東日観光株式会社
＜日本で唯一のRITS指定旅行代理店＞
総合旅行業務取扱管理者:大谷 俊之
〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5築地KYビル4階
電話: 03-5148-1730 FAX: 03-5148-1827

ロータリー室 曾我、大山、井上、上藤、松浦
Eメール: rot@tonichi.co.jp

0120-444-654

●上記の旅行の旅行条件については別途お渡しする旅行条件書、最終日程表及び国土交通大臣認可の旅行約款によります。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。
この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく左記の総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

国際ロータリー年次大会参加旅行は最も経験豊かな当社にご用命下さい。

Rotary - 107th International Annual Convention 2016

第 107 回 国際ロータリー年次大会 2016

開催地：韓国ソウル 開催会場：KINTEX（ソウル中心部から北西約 13km の大規模国際会議・展示施設）

開催期間：2016 年 5 月 28 日（土）～ 6 月 1 日（水）

開会式：5 月 29 日午前と午後の 2 回（予定） 閉会式：6 月 1 日午後

ご案内

* 旅行代金はソウルでご利用いただくホテルによって異なります。

開催地ソウルでのご滞在には、抜群の好立地を誇るロッテホテルを 100 室、設備とサービス面で最高級クラスのリッツ・カールトンを 100 室、エコノミークラスながら室内の諸設備が特に充実している新羅ステイ・ホテル 160 室をご用意いたしました。ソウル以外の周遊コースのホテルは、いずれもその地域を代表する最高級クラスのホテルを手配しております。お食事は、その国独自の伝統的なお料理を 2～3 回ご賞味していただきますが、日本人のお口にも充分合うよう特別の配慮をいたしました。航空座席は、大韓航空を主体に、日本航空、全日空、アジアナ航空をご利用いただきます。具体的な利用航空機、ホテル、旅行日程、旅行代金等の詳細は、当社のパンフレットをご参照下さいませ。

① 大会参加 3 日間 5 月 28 日～ 30 日 ¥78,000～¥128,000

ご多忙を極め、開会式ご参加を最重視される方のために作られたツアーです。3 日目の帰国便は夕刻便を利用し、ソウル市内観光も数時間していただけるよう工夫しました。◇5 月 28 日夕刻便発、5 月 30 日早朝便で帰国。この便は航空座席が格安のため、旅行代金は ¥78,000（新羅ステイ（泊）食事なし）とさせていただきます。

② 大会参加 4 日間 5 月 28 日～ 31 日 ¥98,000～¥148,000

5 月 29 日の開会式ご参加の後、5 月 30 日をフルに活用して、O.P. ですがソウル郊外の板門店、第 3 トンネル、水原華城などを見学いたします。韓国で有名な汗蒸幕エステで休養をとりながら、体力の回復を計るなどゆったりとした時間をお過ごしになることも一興です。

③ 済州島と大会参加 5 日間 5 月 26 日～ 30 日 ¥137,000～¥187,000

済州島は物価も安く、ゴルフ代も驚くほど安価で海の幸は大変好評です。現時点では航空運賃が割高になるソウル経由便で組んでおりますが、今後、成田／済州市の直行便が運航されるようになりましたら大々的に宣伝したいと考えております。

④ 韓国周遊と大会参加 7 日間 5 月 24 日～ 30 日 ¥213,000～¥263,000

韓国の観光のハイライト（世界遺産）を効率よく周遊していただくコースで、韓国旅行の醍醐味を 8 割方カバーしております。帰国時は韓国の新幹線 KTX の試乗も楽しみです。お食事その地の自慢料理をご堪能いただけるよう気を配らせていただきました。

⑤ 大会参加とプノンペン・アンコールワット・アンコールトム 6 日間 5 月 25 日～ 30 日 ¥286,000～¥336,000

カンボジアのアンコールワットはいまさら説明不要の超有名世界遺産。首都プノンペン観光の他に、残虐非道な行為で悪名高いポルポト政権時代の負の遺産足跡（建物）も見学いたします。最近のカンボジアは政権も安定して経済も着実に前進しており、新しいカンボジアを実感することができます。

⑥ 大会参加と香港・マカオ 6 日間 5 月 25 日～ 30 日 ¥265,000～¥315,000

最近の香港、マカオの発展、変貌ぶりは目を見張るものがあります。特にマカオには数千室の客室をもつ巨大なホテルも出現し、いまやカジノの売り上げはラスベガスを凌ぎ世界一です。香港の中華料理は世界一との評価を得ております。その評価を存分に味わって参りましょう。

⑦ 大会参加とミャンマー 7 日間 5 月 24 日～ 30 日 ¥332,000～¥382,000

近年の日本とミャンマーとの経済交流は一段と活発です。ヤンゴンのシエダゴン・パゴダをはじめ世界三大仏塔の一つバガンの遺跡はまさに必見の価値。旧国名ビルマの時代から大変親日的で敬虔な仏教徒の国への旅は心が安らぎます。ミャンマーのロータリークラブはまだ発展途上です。その発展のために一翼を担って頂ければと思います。

⑧ 大会参加とベトナム世界遺産みどころ 8 日間 5 月 23 日～ 30 日 ¥302,000～¥352,000

短期間の旅ですが、ハノイ、ハロン湾、ダナン、フエ、ホーチミンとこの国の主だった見どころを極めて手際よく回遊するコースです。ハノイのホーチミンの生家も見逃せません。1960 年に始まったベトナム戦争は 14 年続きましたが、その後の国の発展ぶりは目を見張るものがあります。

⑨ 大会参加とモンゴル・ウランバートルとハラホリ 8 日間 5 月 28 日～ 6 月 4 日 ¥296,000～¥346,000

現在、日本と最も外交関係がよい国の一つがモンゴル共和国。チンギス・ハン由緒の地ハラホリンの見学も一興。この旅では、現 3 機編を筆頭に日本の大相撲で活躍する数々の力士を輩出するこの国の秘密、力を垣間見ることが出来ます。

⑩ 大会参加とスリランカ世界遺産 10 日間 5 月 28 日～ 6 月 6 日 ¥367,000～¥417,000

現 R1 会長、K.R. “ラビ” ラビンドラン氏が生活を営んでおられるのが、スリランカ最大の都市コロンボ。今回はこの国にある七つの世界遺産のうち、六つを見学してまいります。6 月 5 日の昼食時に K.R. “ラビ” ラビンドラン会長ご自身、あるいは代理の方にスリランカの政治、経済等についてお話を伺いする機会を持ちたいと考えております。

日洋航空株式会社 

TEL: 03-5774-5781 FAX: 03-5774-5783

観光庁長官登録旅行業第 334 号 社団法人日本旅行業協会正会員 海外緊急事故支援システム会員

お問合せ先  フリーダイヤル: TEL 0120-347016, FAX 0120-342315

〒107-0062 東京都港区南青山 6-13-2 ブルジョン南青山 3 階

総合旅行業務取扱管理者: 金澤 拓平

E-MAIL: nas@nichiyu-air.co.jp URL: www.nichiyu-air.co.jp

担当: 金澤・江藤・長澤・名倉

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅

ここは東京駅に近い丸の内——
歳末でにぎわう雑踏のなかに巨大なクリスマスツリーが青白く輝いていて、買物客や勤め帰りの人々も思わず足を止めてツリーを見上げている。

十二月二十五日のクリスマスはキリストの降誕日を祝う行事で、X印はキリストの意味という。「クリスマスツリーを見上げると、砂漠のオアシスのような印象で、ごく自然に足が向いて撮影した一コマです」

と、大須賀予偲子さんは言う。
撮影は、平成二十六年十二月上旬。



「都会のオアシス」(東京都)
撮影 大須賀予偲子 (2760 岡崎南)

※
ここは、熊本県人吉市麓町を流れるくま川の流域。小春日和のゆるやかな流れのくま川下りは楽しい。

くま川下りには、のんびりと揺られながら城下町人吉の景色を見ながら下る「清流コース」と豪快に白波を立てながら下る「急流コース」があり、「清流コース」は年中無休で冬場にはあたたかい「こたつ船」もある。

「急流コース」は四月一日から十月末まで運行しており、自然との一体感を存分に味わえる



「くま川下り」(熊本県)
撮影 梅田 勇 (2720 人吉中央)

絶好の船旅ともいえよう。

くま川には「瀬」と呼ばれる急流の場所が四十八カ所もあり、とくに流れの速い五つの瀬は、「球磨川五大瀬」と呼ばれている。なかでもスリル満点の「修理の瀬」は(船頭が声を上げて水神さまにあいさつしないと船がこわれてしまう)という言い伝えがあるほど激しい。船頭の巧みなかじさばきがなかなかの見ものだ。背景の人吉城跡は国指定史跡に指定されており、五月には「日本百名城 人吉お城まつり」が開催される。

撮影は、平成二十六年十一月二六日。

「人吉城あとにかかる橋の上からちょうどくま川下りがさしかかるので何とも風情のある景色だな、と思いながらシャッターを切りました」と、梅田勇さんは言う。

のびやかにくま川下る冬景色

岡井 輝生
(ジャーナリスト)

『友』誌表紙写真再募集表紙写真が決定!

再募集しておりました、二〇一五—一六年度『ロータリーの友』一二月号、一—三月号、五月号の表紙写真は、厳正なる審査の結果、一二月号は本誌に掲載の通り、梅田勇氏(第二七二〇地区 人吉中央RC)、大須賀予偲子氏(第二七六〇地区 岡崎南RC)に、その他の掲載写真は左記の通り掲載月と掲載者が決定いたしました。たくさんのお作品をお送りいただき、ありがとうございました。

既に決定しております表紙写真入選者については、『友』誌九月号縦組み三三ページ、または、ホームページ『ロータリージャパン』(www.rotary.or.jp)に掲載しておりますので、ご覧ください。

二〇一五—一六年度も半分を過ぎましたが、まだまだロータリアンの皆さまによる素敵な表紙写真が待っています。次号以降の『友』誌表紙写真もご期待ください。

表紙写真再募集審査結果 掲載月および撮影者 (敬称略)

二〇一六年

一月号 林 進(二八四〇 高崎東)

二月号 秋本清道(二七八〇 三浦)

三月号 牧野弘明(二五五〇 氏家)

四月号 鈴木 豊(二七六〇 岡崎城南)

五月号 中島裕之(二七〇〇 大川)

六月号 黒岩 英(二七二〇 別府東)

七月号 脇村重徳(二六四〇 有田)



地元の高校生を対象に上映会

では古き良き教育の原点が描かれています。舞台となる嘉義農林学校野球部は台湾の先住民と漢人、日本人の混成チームです。言葉も通じない異質な者として互いを拒絶していた子どもたちが、日本から来た、近藤兵太郎監督のもとで個性を尊重し合い、個々の能力を発揮することで困難に立ち向かいます。ついに甲子園出場を果たし、準優勝を勝ち取る姿は感動的です。

生徒たちの感想は、スボ根ドラマとして捉える者から歴史や人種問題を考える者までさまざまでしたが、「諦めずに努力することの大切さを知った」という素直な声が多かったのがうれしいところです。本作品を通じて教育の原点に触れ、互いを尊

重し合うことの重要性を、彼らにも感じてもらえたと確信します。

また、当日は近藤監督の教え子、第二六七〇地区・松山西ロータリークラブの林司朗会員が遠路駆けつけ、生徒に向けて今も色あせることのない監督直伝の教えを話してくれました。

ニタマ駅長も うれしいにゃん

和歌山東南ロータリークラブ

第二六四〇地区 和歌山県

クラブ創立当時の所在区域だった和歌山市の東南部には、市を代表する日御前宮・國懸神社、竈山神社、伊太祁曽神社という三つの神社があり、この三社参りに最適な交通機関として和歌山電鐵貴志川線があります。一時、廃線の危機にあったこの路線は経営が別の会社に引き継がれ、地域の市民グループなどの支援活動、また、ユニークな電車や三毛猫「たま」の貴志駅駅長就任などで全国区になり、海外のメディアにも紹介され、外国からの訪問者も増加しております。

しかし、経営状況はいまだに厳しく、当クラブによる調査の結果、イ



ニタマ駅長を扶んで寄贈式

ンフラを整備し、地域のお年寄りや子どもたちがホームを安全・快適に利用できるようにすれば、今後、利用客の増加につながるのではないかと考えました。

今年度は創立四五周年でもあり、社会奉仕委員会の事業として、主要な駅のホームにベンチを増設・設置。県内外や外国などからの来訪者に利用してもらうことで、ロータリーのPRにもなると思いました。

和歌山電鐵貴志駅を含む五駅に計八脚を設置し、九月六日、貴志駅にて寄贈式・除幕式を行いました。今回の式典は、六月に亡くなった「たま駅長」の跡を引き継いだ「ニタマ(たまⅡ世)駅長」の就任後初の公式行事でしたが、堂々と仕事をこな

し、同電鐵社長も満足げでした。小さな奉仕活動でしたが、全国紙をはじめたくさんの方々に報道してもらったことができました。「たま駅長」のこれまでの功績が非常に大きかったと感じさせられると同時に、「ニタマ駅長」には大きな声援と期待がかけられていると感じました。

(市川正夫・記)

Annotation

米山梅吉(一八六八～一九四六) 日本のロータリーの創始者。よって、日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称されます。梅吉は一九一八年の渡米中、ダラスロータリークラブ(RC)会員だった福島喜三郎の紹介によりロータリークラブと出会い、帰国後の一九二〇年一〇月、東京RCを創立し会長に就任しました。

青少年交換学生

(Rotary Youth Exchange)

ロータリー青少年交換とは、一五～一九歳の青少年が、最長一年間にわたり母国以外の国を訪問したり留学したりする機会を提供する、国際ロータリーのプログラムです。関与する国の法令により許され、参加クラブと地区が同意した場合は、二〇歳以上でも参加することができます。『二〇一三年手続要覧』七四頁参照。



炎天下で一生懸命プレーする中学生たち

第三回中学校 新人野球大会開催

上川ロータリークラブ

第二五〇〇地区 北海道

八月八日、上川ロータリークラブ杯争奪第三回中学校新人野球大会」を上川町総合グラウンドで開催。近隣の町から七チームが参加し、トーナメント方式で熱戦を展開しました。大会は、近隣の少年の健やかな成長を願い、野球を通じて親睦を深める中で、強健な心身と責任感のある青少年の育成を図ることを目的としており、今回で三回目を迎えました。

当日は、北海道としては珍しく三〇度を超える炎天下での試合とな

り、選手はもちろん審判、さらには応援に駆け付けた保護者の皆さんは、熱中症に気を配りながらの大会となりました。おかげさまで病気やけがもなく、無事に大会を終了できたことに、会員一同、胸をなでおろしました。

試合は午前八時に開会式、八時半に試合を開始。全試合終了は午後三時半と七時間の長丁場となり、大会運営に携わった関係者の皆さんには心からの感謝でいっぱいです。

(徳光勝俊・記)

ロータリークラブって 何ですか？

杉戸ロータリークラブ

第二七七〇地区 埼玉県

クラブでは長年、埼玉県北葛飾郡杉戸町内の小中学校で教育的活動を行ってきました。学校図書への寄贈、あいさつ運動、吹奏楽演奏会、エコキャップ収集といった継続事業によって、今まで学校のあらゆるところにロータリーのロゴを残してきました。これらは、町内の子どもたちにとっては、学校のあちこちで見られる謎のマークとなっています。

八月二日、杉戸町観光協会主催の「古利根川流灯まつり」では、クラ



会員の説明に耳を傾ける小学生たち

ブの親睦活動として縁日屋台とともに、町の障がい者福祉に関する募金活動を行いました。そこに小学生たちが寄ってきて「このロゴ、学校にもあるけど何ですか？」と聞いてきたのです。職員室前のエコキャップボックスにも、図書室の本の裏にもついているこの印、実はなかなか説明するチャンスはありません。

一般的にロータリークラブというと、お金持ちの団体だと冷ややかに見られることがあります。会員がロータリー活動の一つとしてポリオ撲滅の説明をすると、子どもたちはワゴンコインで発展途上国の子どもたちを救えるワクチンが買えることに大変驚いていました。今回は障がい者福祉の募金だよと説明しましたが、

みんな、快く財布から募金をしてくれました。

「ロータリークラブって何ですか？」。社会奉仕事業をするに必ず聞かれる言葉です。私たちは、この質問に笑顔で答えるたび、私たちの活動によって、ロータリークラブがもっともっと知られる未来を期待せずにはいられません。

会長の熱い思い！ 高校生を対象に上映会

行橋ロータリークラブ

第二七〇〇地区 福岡県

当クラブは半世紀にわたり青少年交換事業、インターアクトクラブ活動など、さまざまな事業を通じて青少年育成活動を行ってきました。

今回は一〇年後、二〇年後の当地域の発展と日本を担う人材が育ってほしいという道脇孝一会長の熱い思いを込め、九月一日にコスメリト行橋大ホールに福岡県立京都高等学校と県立行橋高等学校の一年生を招待し、台湾映画「KANOS 1931 海の向こうの甲子園」の上映会を開催しました。

映画の内容は一九三一年、一人の日本人監督と台湾の弱小野球チームが起こした奇跡の実話であり、そこ

そういった先輩諸氏の活躍のたまものだということを思い起こしましょう。来年は創立四〇周年となりますが、心を引き締めてクラブのますますの発展に努力をしまいいりましょう」と述べました。

式の後、ただ一人の創立会員である坂野宇内会員が、創立以来の歴史、故人との思い出や苦労話をされました。また、遺族として参加した宇野剛一会員は、盛大に物故者の法要が開かれたことへのお礼を述べ、今後の発展への努力を誓っていました。

最後に物故者の残された映像を中心に、過去の行事をスクリーンに映し出し、在りし日の思い出をしのびました。

御巢鷹の尾根、 慰霊・清掃登山

藤岡ロータリークラブ

第二八四〇地区 群馬県

一九八五年八月一二日に日本航空一二三便が御巢鷹の尾根に墜落して以来、今年で三〇年になります。

当時、群馬県の藤岡地区では遺体の検視、一時安置、家族、関係者の待機場所などが設置され、多数の市民、当クラブ会員もボランティア活動に関わりました。



登山道に設けられた手すりを拭く会員たち

事故後三〇年に際し、多くの皆さんが事故現場を訪れることが予想され、当クラブと藤岡ロータリーアクトクラブが協力し、七月二六日の例会として、御巢鷹の尾根への慰霊・清掃登山を実施しました。

午前八時に藤岡商工会議所を出発し、一〇時二〇分に標高一三五九メートルの登山口に到着。木陰は二五度で、涼しく感じられました。

「御巢鷹山慰霊碑（昇魂之碑）」まで約八〇〇メートル、標高差約二〇〇メートルの沢沿いの登山道を、急斜面のため時々休憩を取りながら登り、坂道に設置された手すりの清掃を実施しました。途中のスケノ沢は当時、奇跡的に四人の生存者が発見されたところでした。

標高一五三九メートルの昇魂之碑に到着

し、ロータリーアクターと合流し、総勢約四〇人で、献花して、お参りしました。

下山後、群馬県上野村の浜平温泉で昼食を取り、この村に設けられている「慰霊の園」で献花、参拝し、帰路に就きました。猛暑日の、大変険しいながら心に残る慰霊・清掃登山でした。

（高橋謙司・記）

離島甲子園開催！ おもてなしの清掃活動

福江中央ロータリークラブ

第二七四〇地区 長崎県

「離島甲子園」の愛称で親しまれる軟式野球の大会「第八回全国離島交流中学生野球大会」が八月二四、二八日に開催されるのを前に、当クラブでは八月九日、会場となる長崎県五島市中央公園野球場の周囲一帯を、地域貢献活動の一環として清掃しました。

当日は晴天に恵まれ、朝七時に一七人の会員とそのお孫さん、事務局員、市役所の職員が集合し、球場周囲のトイレ清掃、草刈り、落ち葉やごみ拾いなどを、それぞれ手分けして行いました。

業務用の清掃機器や草刈り機など



離島甲子園の開催を前に、球場の周囲を清掃

を持参してくれた会員もいて、一時間半の短い時間ではありましたが、大きなごみ袋二〇袋以上のごみを集めることができ、球場の周囲が見違えるようにきれいになりました。時間がたつにつれ、日差しは厳しくなりましたが、来島者へのおもてなしの心を込めて作業を行い、さすがに心地よい汗を流しました。

また、地元メディアの五島ケーブルテレビに取材に来てもらい、ロータリー活動の広報に一役買っていたできました。

この清掃活動によってきれいになった球場で、離島甲子園の中学生球児たちに気持ち良く試合に臨んでいただき、応援に訪れた皆さんにすてきな思い出と楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思いました。

ロータリークラブ（RC）の会員と同地区の米山記念奨学委員と米山奨学生、米山学友の総勢約一〇〇人で、柿田川公園の清掃奉仕活動を行いました。二班に分かれ、柿田川湧水内と公園内の外来植物を除去しました。胴長を着て川に入っている作業を通じて、奨学生やロータリアンは、湧水の冷たさや外来植物の多さに驚いていました。

帰りのバスで感想を聞いたところ、「とても楽しかった」「また、ぜひやりたい」との声が奨学生から上がったほか、ロータリアンからも「素晴らしい活動だった」「また行いたい」との意見が出ました。作業の様子は地元新聞に掲載され、ロータリーの認知度向上にも貢献しました。



冷たい水に漬かって、外来植物の除去

被爆七〇年目を前に 平和記念公園で早朝清掃

広島西南ロータリークラブ

第二七〇地区 広島県

八月六日、広島が被爆七〇年を迎えるのを前に、同四日、広島市中区の広島平和記念公園にて午前七時から会員四五人（会員数六四人）が参加し、早朝清掃活動を行いました。

世界平和を掲げる上で、広島平和記念公園は大切な情報発信の場でもあります。園内の記念碑や周辺清掃は、広島にあるロータリークラブだからこそできる奉仕事業の一つであり、木村恭之会長の「世界平和」に向け、できることを探していこう」という方針に基づいた活動でもある



記念碑の汚れを落とす会員たち

と考え、今年度初めて実施することになりました。

当日は早朝から二六・五度という夏日の中、原爆ドーム前を中心に記念碑の周辺を四エリア、四チームで担当し、熊手やほうきを使ってごみや落ち葉などを拾っていききました。原爆の子の像や慰霊碑は、ブラシで汚れを落とし、周辺の雑草を抜き、参加者全員が汗を流しました。

会員たちは「広島を訪れ、原爆ドームや平和記念公園を回る人たちに少しでも気持ちのいい環境をつくり、鎮魂の時を過ごしてもらえれば」「七〇年の歴史を無駄にせず、世界平和に向けてみんなでもっと考えていきたい」などと語り、とても有意義な時間を共有できました。

また、当日はテレビ局や雑誌社の取材を受け、クラブの活動を一般の市民の方々に知っていただく貴重な場となりました。

（田中朋博・記）

創立四〇周年を前に 物故者追悼法要例会

武生府中ロータリークラブ

第二六五〇地区 福井県

クラブが二〇一六年に創立四〇周年を迎えるのを前に、物故者の追悼

法要例会を開きました。物故者のご冥福をお祈りするとともに、四〇年間の苦勞をしのび、感謝の気持ちをささげ、クラブのますますの発展を誓いました。

式は九月一七日、遊亀孝文会長が住職を務める教善寺にて行いました。物故者の遺族、会員が出席しました。浄土真宗の作法にのっとり、導師登礼盤、三奉請、表白導師降礼盤の後、導師の阿弥陀経の読経のもと、全員が焼香を行いました。

遊亀会長はあいさつの中で「四〇年という時間は、われわれの人生にとっては本当に長い時間です。その間にたくさんの方々が活躍され、故人となりました。今、その方々を思い出し、先輩たちの活躍や苦勞に感謝し、今日当クラブがあるのは、



創立 40 周年を前に物故者追悼法要例会



現地の学校で完成したトイレを視察

区などの郊外ではまだ不衛生なトイレを使用しており、数も不足しているため、公共衛生面で課題を残しています。

現地のパートナーとなったクリヤピティヤロータリークラブ（RC）の会員に案内され、トイレを寄贈した学校を訪問しました。

子どもたちによる熱烈的な歓迎を受けた後、実際に建設されたトイレを視察。真新しいトイレではありませんが、和式便所のようなスタイルで、傍らにある水道から桶に水をくみ、使用後はその桶の水を使って流します。もちろん日本と違い、下水道など備わっていませんので、最終的には土に返すということです。ただ、衛生面は飛躍的に向上したようです。この他、今回のプロジェクト

では産院や貧困家庭など一七か所にトイレを寄贈しました。

せっかくの訪問ですので、視察後は、K・R・ラビンドラン国際ロータリー（R）会長の会社・プリントケア社を訪ねました。R会長は不在でしたが、スタッフの方々が丁寧に応対してくれました。グローバル補助金事業の検証、R会長の会社訪問と、非常に有意義な旅となりました。

（野口隆史・記）

二国間の友好港調印を ロータリーが橋渡しし

八代南ロータリークラブ

第二二〇地区 熊本県

当クラブでは三六年前、第三四九〇地区（台湾）の基隆東區ロータリークラブ（RC）と友好クラブを締結して交流が始まりました。

今年四月の基隆東區RC創立三十八周年記念例会には、上原治会長（当時）をはじめ、会員とともに八代市長、同市議会議員が基隆市と同市議会を表敬訪問。その返礼として、六月二二日の当クラブ最終例会に、林右昌基隆市長（基隆西北RC会員）夫妻、同市議会議員を含む議員、第三四九〇地区バスター、同市



贈ったTシャツを着て「手に手つないで」を合唱

内のロータリアンら総勢四〇人が来訪され、歓迎レセプションを開催しました。

当方から八代市内四クラブの会員、市長夫妻、市議会議員、商工会議所議員らが集い、当クラブの会員夫人によるお抹茶の接待に続き、総勢約一五〇人の参加で開会。こちらで用意した「八代市」「基隆市」「友好」の文字の入った三種のTシャツを林市長に手渡し、最後はそれらを着て、「手に手つないで」を合唱するなど盛会となりました。

こうした当クラブと基隆東區RCの交流を通じて両市間の友情が深まったことで、八月一〇日に基隆市内のホテルで、基隆港と八代港が友好港となるべく調印式が行われました。松岡隆志会長含め会員四人と市

長、議長らに加え、熊本県副知事や県議会議員らも出席し、厳かに執り行われました。

台湾第二の港とされる基隆港は、首都台北市に隣接し、八代港の一〇〇倍近い取り扱い貨物量を誇り、今後は相互物流ネットワークの推進が期待されます。ロータリーの国際奉仕活動に端を発した両市の友好関係が、未来に明かりをともし、国際交流、世界平和へとつながっていくことを、ロータリアンとして大変誇りに思います。

米山梅吉記念館 訪問バスハイク

第二五八〇地区

東京都・沖縄県

九月五日、第二五八〇地区米山奨学委員会は毎年恒例の「米山梅吉記念館訪問バスハイク」を実施しました。午前中は、静岡県駿東郡長泉町の（公財）米山梅吉記念館を訪問し、梅吉翁の足跡や人となりなどを学び、梅吉翁のお墓にお参りしました。参加者は、なぜ奨学金に梅吉翁の名が冠されたかを理解したようでした。

昼食後は地元の第二六二〇地区（静岡県・山梨県）から沼津柿田川

国際交流コンサート 富士へ響け友好の歌声

三島ロータリークラブ
第二二〇地区 静岡県



浴衣姿で合唱するデア・フリーゲル

当地区静岡第二分区内七クラブの協賛を得て、八月二八日、静岡県駿東郡長泉町の（公財）米山梅吉記念館で「国際交流コンサート」富士へ響け友好の歌声を開催しました。出演は、会員有志で結成し、クラブのイベントや慰問の際に活躍している三島ロータリークラブ合唱団、当地区の学友会でロータリー財団法人静学会会員による音楽家グループ・Natia（ル・ナティア）、そしてドイツ南西部のカールスルーエで活動する、カールスルーエ独日協会合

唱団デア・フリーゲルの三団体。音楽を通じた国際交流は、言葉の壁を超え人と人が直接触れ合えることから、音楽の絆で異文化間の友好を深めたいと企画し、Natiaのメンバーが留学していたドイツのカールスルーエという街の、日本が大好きで、日本で日本の歌を歌いたいというデア・フリーゲルを招いたことで実現しました。

当クラブの合唱団メンバーも練習を重ね、当日は「のぼら」や「ローレイ」を慣れないドイツ語で歌い盛り上げました。デア・フリーゲルのメンバーは全員、浴衣姿で日本の唱歌「ふじの山」や「ソーラン節」「木曽節」などを披露し、その歌声は館内に響きわたりました。近隣のロータリークラブから多くの皆さんが聴きに訪れ、大変感動してくれました。約二時間のコンサートでしたが、あっという間に時間が過ぎました。歌声はきくと、米山梅吉翁にも届いたことと思います。

来日学生の特別合宿 オリエンテーション

第二七七〇地区

埼玉県

当地区では八月二六・二七日、秋



参加者が浴衣に着替えて食事

の気配が感じられる中、今年度来日した青少年交換学生の特別合宿・オリエンテーションを実施し、学生二人が参加しました。来日して約一週間が経過し、母国が恋しくなるころでしょうが、一年間の留学生生活に必要な最低限のマナーやルール、そして日本文化、日本人の特性、習慣、宗教観（神道や仏教）などを学んでもらおうというものです。

初日の前半は、越谷東ロータリークラブ（RC）の守屋トミー会員による英語での説明が行われ、後半は①家族・友人・近隣へのあいさつ、②部屋の掃除・整理、③門限厳守、④家事手伝い、⑤金銭管理、⑥ホストファミリーとの交流などについての留学生活のアドバイスとQ&A。その後、夕食や入浴で初日を終了し

ましたが、就寝時間になっても会話が續いていたようです。

二日目は七時に起床、部屋の整理整頓後、朝食は来日学生代表が「いただきます」の掛け声で箸を持ちました。その後、さいたま市大宮区にある氷川神社を参拝し、大宮RCの川島利雄会員がわかりやすく説明しました。最後にお茶会体験をしました。だが、正座には苦労していました。日本の文化を少しでも理解していただいたことと思います。来日学生が素晴らしい一年を過ごすことをお祈りして、オリエンテーションを終りました。

（吉川RC 染谷良雄・記）

事業検証のため スリランカを訪問

神奈川ロータリークラブ

第二五九〇地区 神奈川県

当クラブが初めてロータリー財団のグローバル補助金を使って行った国際奉仕事業「スリランカにおけるトイレ建設」の検証のため、九月一九～二四日、原祥史会長を団長として五人で現地を訪問しました。

二〇一〇年に内戦が終結し、急速に経済発展をしている同国ですが、今回寄贈を行ったクリヤピティヤ地

ROTARY 文章編 AT WORK

ロータリークラブならびに
地区の活動を紹介、600
字以内。関連写真があれば
添付してください。

岡山ネクステージ ジャズコンテスト

岡山旭川ロータリークラブ

第二六九〇地区 岡山県

クラブは九月一三日、創立二五周年記念事業およびロータリーデーとして、岡山で初となる学生ジャズコンテスト「岡山ネクステージジャズコンテスト」を実施。小学生から大学生まで幅広い世代が、プロの奏者をバックに一曲ずつ披露し、観客を魅了しました。

地元の若きジャズブレイヤーの発表の場を作って応援し、地域の方々に無料で招待。彼らの熱い演奏と、ゲストに迎えた日本を代表するサックス奏者・MALT Aさんのライブで大いに盛り上がりました。

この企画は、クラブのプロミュー



プロ奏者をバックにハイレベルな演奏を披露

ジシャソ会員の発案でスタート。ポスターやチケットデザイン、募集要項、ロゴ、ステージ上の看板まで会員で作リ、当日の運営も会員の協力で行いました。ポスターのモデルには、当クラブが受け入れた青少年交換学生を起用しました。

心配していましたが、予想を上回る応募があり、選考の結果一六人に出演してもらいました。地域の歴史的建造物・ルネスホールを会場とし、立ち見が出るほどの聴衆を前に、出演者たちは想像より、はるかにハイレベルな演奏を披露しました。

コンテストは、プロのバックをグイグイ引っ張り、圧巻のパフォーマンスで大歓声をもらった小学生が優勝。出演者がキラキラと輝く瞳で一生懸命に楽器を操る姿は、準備の苦

労を忘れさせてくれました。「次はもつと頑張る！」と次回開催を期待する声があり、継続事業にしていけたらと考えています。

準備段階からテレビ局数社の取材を受け、新聞、ラジオでも大きく取り上げられました。音楽を通して、次世代の育成、地域との交流だけではなく、ロータリーの広報にも貢献する良いイベントになりました。

音楽で福知山を元気に！ コンサート開催

福知山西南ロータリークラブ

第二五五〇地区 京都府

七月三〇日、世界的に活躍する指揮者・佐渡裕氏とスーパーキッズ・オーケストラを福知山に迎え、「音楽で福知山を元気に！コンサート in 福知山」が開催されました。私たちのクラブでは創立三五周年を記念し、これに協賛して支援しました。

昨年八月に起きた大規模水害で、甚大な被害を被った福知山を「音楽で元気にしたい！」と、中高生を中心に組織された実行委員会の熱い思いを実現するため、私たちのクラブと先生、保護者が協力し、約一年の準備期間を経て開催に至りました。佐渡氏の「福知山の災害のことは気



中高生と市民、会員で大合唱

にしてみましたよ」という気遣いの言葉と、励ましに後押しされたこのコンサートは、中高生と約一〇〇〇人の来場者の熱気に包まれ、鳴りやまぬ拍手とともに大成功を収めることができました。

このコンサートの最後に佐渡氏が話された内容が感動的でした。「子どもたちだけではできないことがある。だから大人はそれを見守り助ける。私たち大人も子どもたちから学ぶことがある。そして時に耳を傾ける。そんなまちづくりができる福知山になってほしい」

クラブ創立三五周年の節目にこの事業を支援できたことを、幸せに思います。佐渡氏の言葉をしっかりと心に刻み、新たな節目に向かいたいと、決意を新たにしました。

ROTARY AT WORK



第24回中学生招待野球大会

〈荏崎RC〉

荏崎RC主催の「第24回中学生招待野球大会」を、荏崎市立荏崎中学校、同市立荏崎東中学校の2会場で開催。クラブ所在区域内の7中学校の野球部1、2年生の選手たちが日ごろの練習の成果を発揮した。決勝で、激戦を制した荏崎東中学校が見事優勝し、2連覇を遂げた。好天に恵まれた中で熱戦が繰り広げられ、素晴らしい一日となった。

(8月22日 第2620地区 山梨県)



支援学校の子どもと家族を野球観戦に招待

〈大阪梅田RC〉

2012-13年度から年2回、大阪府立の支援学校の子どもと家族をプロ野球観戦に招待している。社会との触れ合いの機会を作って、家族の楽しい思い出作りを応援しようとしているもので、今回は7月14日に京セラドーム大阪で第1回、9月3日に阪神甲子園球場で第2回を実施。各100人招待し、両日とも総勢約120人が観戦した。球団提供のタオルを振り、風船を飛ばし楽しんで応援する姿が印象的だった。京セラドームは球場もバリアフリー対応で空調も効き、招待者も会員も快適で有意義な時間を過ごした。

(第2660地区 大阪府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

恒例の納涼家族会

〈函館RC〉

毎年恒例の納涼家族会を金森赤レンガ倉庫特設会場で開催。会員、家族総勢106人の参加で盛大に行い、親睦委員会が早くから準備したバーベキューを楽しんだ。アトラクションは、はこだて未来大学のマジックサークルの手品ショーや森川順治会長率いる「プランチャーズ」の生演奏で大変盛り上がった。子どもには花火で楽しんでもらい、お菓子、おもちゃのプレゼントも用意。最後は「手に手つないで」の合唱で楽しい夏の夜を締めくくった。

(8月6日 第2510地区 北海道)



U-14越谷南ロータリーカップ

〈越谷南RC〉

「U-14越谷南ロータリーカップ」を開催。越谷市・八潮市内の中学校21校が参加して予選リーグを行い、勝ち上がった中学校が8月25、28日に越谷しらこばと運動公園の芝生の競技場で決勝リーグを行った。汗と泥にまみれボールを追う姿はまぶしく輝き、勝利のうれし涙と敗北の悔し涙の奥に、明日への課題が詰まっていると確信した。彼らのあいさつと笑顔に触れたたび、会員も達成感と継続する力が湧いてくる。

(第2770地区 埼玉県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



児童養護施設の夏祭りに参加

〈熊本菊南RC〉

合志市の児童養護施設・熊本天使園で恒例の夏祭りがあり、クラブから7人がバザーの手伝いをした。バザーは毎年この時期に開催される同園のイベントで、カレー、焼き鳥、焼きトウモロコシ、かき氷など10種類の飲食物が用意され、子どもたちは大喜び。じゃんけんゲームでは負けて泣きだす子も。最後は花火で、夏休みも終わりに近づいた夕べのひとときを楽しんだ。

(8月21日 第2720地区 熊本県)

ROTARY AT WORK



新設小学校に花と緑の環境整備

〈佐久RC〉

ロータリー財団地区補助金を活用した「未来の夢プロジェクト」の一環で、新設の佐久市立佐久平浅間小学校で植樹を行った。これは、小学生が花と緑との触れ合いを通じてこれらを愛し、守り、育てる心を養い、人間性豊かな、健康的で明るい社会人に育っていくのを全面的に支援しようというプロジェクトで、樹木贈呈式の模様は、地域の新聞にも掲載された。

(7月10日 第2600地区 長野県)

ROTARY AT WORK



お盆明けに緑陰例会

〈魚津西RC〉

暑さが厳しいお盆明けの例会を緑陰例会として、魚津城ゆかりの照頭寺で行った。この寺院は天正末(1592)年、加賀藩前田家から魚津城初代城主・青山佐渡守が着任した時に寄進された菩提寺。奥座敷で庭を見ながら抹茶を味わい、富山城主の書状など、当時をしのばせる貴重な資料を閲覧した。例会前には本堂で物故会員や大切な人の面影をしのびながら経を上げてもらうなど、魚津の歴史や生命のつながりを考える有意義な例会となった。

(8月18日 第2610地区 富山県)

ROTARY AT WORK



継続は力なり 水辺の清掃活動

〈新潟南RC〉

川と海に囲まれた新潟市で、海岸や川辺の清掃奉仕活動を続けている。今年は新潟西港内の観光拠点施設「ピアBandai」周辺で会員、家族、ローターアクト、米山奨学生が参加し実施した。回を重ねるたびにごみの量が減っていると実感。継続した活動の成果として、「ごみは出さない、捨てない、持ち帰る、いつもきれいに」の意識が地域に浸透してきたとクラブでは考えている。

(8月23日 第2560地区 新潟県)

ROTARY AT WORK



**養護学校への教育支援と
記念植樹** 〈彦根RC〉

滋賀県立鳥居本養護学校への教育支援を実施。同校は継続して療養・生活規制を必要とする病弱の児童・生徒のための養護学校で、支援の手が遅れていることから、クラブとして理解を深め彼らと交流を図ろうと、知能検査機器や認知評価システムなどの学校備品を寄贈するとともに、サザンカとモミジを記念植樹した。教育機器贈呈式には会員、児童・生徒、教職員計58人が出席。児童・生徒代表の言葉の後、全員から素晴らしい合唱のプレゼントがあった。

(9月1日 第2650地区 滋賀県)



海のワンダーフォーゲル 〈八代RC〉

八代市大島町で、八代ヨットクラブと八代RCの共催で「海のワンダーフォーゲル」を開催。1980年からの継続事業で、今回は小・中学生5人と保護者が、航海試乗(一人乗りヨット操縦)を体験した。ヨットの構造の説明、帆、かじの手ほどきを受けてから準備体操、続けて救命具を装着し乗船。子どもたちは怖がらずに悠々と操縦を楽しみ、帆とかじをこなし帰港した時には顔がほころんでいた。海水は冷たかったが、参加者は貴重な体験に大喜びだった。

(8月30日 第2720地区 熊本県)

ROTARY AT WORK

高校生と夏の清掃作業 〈頼娃RC〉

鹿児島県立頼娃高等学校の野球部と卓球部、サッカー部、吹奏楽部、アート部(頼娃IAC)、学校関係者、ロータリアン8人の総勢約40人で校内の清掃活動を実施。例年にも増して日差しが強い中での活動となり、終了後は例会・家族親睦会としてバーベキューを開催。学校関係者、インターアクターとともにバーベキューを楽しみ、地区のIAC地区大会の報告も受けた。夏の最後の奉仕活動を終え、ほっと一息ついた。

(8月20日 第2730地区 鹿児島県)



ROTARY AT WORK

**記念すべき10年目の
サッカー大会** 〈さいたま中央RC〉

今年度クラブ創立50周年を迎えるクラブでは、夏休み終盤の2日間、さいたま市八王子公園サッカー場で「第10回さいたま中央RC杯さいたま市中央区夏季中学校サッカー大会」を開催。サッカー少年たちは炎天下にもかかわらず爽やかな汗を流し、友情を深めていた。

(8月20・21日 第2770地区 埼玉県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

プロバスケット選手を 招きクリニック開催

名古屋城北ロータリークラブ

第2760地区 愛知県

ロータリー財団の地区補助金を活用した青少年奉仕事業として8月19日、愛知県豊山町内の体育館で、プロバスケットボールチーム・アイシンシーホース三河の選手やアシスタントコーチなどを招き「バスケットボールクリニック in 豊山町」を開催しました。町内3つの小学校（豊山小、新栄小、志水小）のバスケットボールクラブの児童計99人が参加、大久保愛樹アシスタントコーチによるバランストレーニングや1対1でのボールを使った練習を行い、最後に白濱僚祐選手によるダンクシュートの実演がありました。児童だけでなく、学校で指導する先生も憧れのプロ選手やコーチに指導を受ける中、その一挙手一投足を見逃すまいと、目を輝かせて見つめていたのが印象的でした。

これに先立ちクラブでは、3校に15着ずつユニホームを贈呈することを決定。当日は各校の児童がデザインしたユニホームの贈呈式と、その披露も行いました。以前にも中学校バスバンド部へロータリーのロゴ入りのTシャツを贈った経緯があり、それが生徒に好評で、町長からもロータリーのロゴ入りのユニホームがモチベーションを高め、技量の向上につながるとの期待が寄せられました。

豊山町は、アメリカ・大リーグで活躍するイチロー選手の出身地でもあり、地元から世界に飛躍した先輩を身近に感じている地域です。いつの日か、今回参加した児童の中から、プロの世界で活躍する選手が出ることを夢見て過ごした一日でした。（服部智謙・記）

夕空の一筋の雲秋近し

埼玉・川口中央

野崎 昌雄

台風の上陸未明身構へり

埼玉・川口中央

納口 俊通

秋雨を肅然と受け森鎮む

千葉・市川

照井 親資

整理する古き写真や今朝の秋

千葉・野田

高梨昇一郎

六道のいづくへ誘ふ秋の風

東京日本橋東

廣瀬 嘉夫

湯煙か山霧なるか熱海の湯

東京西南

菊池 恭三

投函の葉書一枚虫の秋

愛知・瀬戸

沢田 充子

釣船の岸を離るる月の夜

愛知・瀬戸

玉井美智子

父の忌を修せし夜の遠花火

奈良

寺田眞佐子

露しとど今日の快晴疑はず

大阪北

吉田 邦男

日めくりも瘦せて八月終りけり

東大阪東

島 顕佑

朝涼や朝食までのひと仕事

兵庫・神戸西

村野 利昭

西日濃し優先席の正面に

兵庫・神戸東

高石 昇

旅晴れて花野の風に潮れゆく

福岡城南

吉武 草径

秋夕焼一步一步と山下る

埼玉・日高

野口 明良

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

ロータリーは吾が人生を変へにけり
夏の日盛り例会進む

千葉・富里

寒部 政雄

「いっちょよう」と言う居酒屋で仲間等と
最後は豆腐で一丁あがり

群馬・館林

新井 進

走らせる車の窓を少し開け
湖に行く晩夏の風連れて

京都西南

池田 敏子

息子達一家が揃い吾もまた
入りにて楽しむガーデンゴルフを

新千葉

菊地 忠

会長幹事慰労会へと繰り出しぬ
晴海の夜景屋形船よし

茨城・友部

矢吹 和夫

移転して空ビルのままの医院あと
看板もまたそのままだにあり

岡山・倉敷東

吉岡 洋子

一日を楽しく過し仕舞風呂
やがて出てくる都々逸嬉し

埼玉・行田さくら

小澤 誠邦

チリペパー『カフェ・ドゥ・レーヴ』に集う友
ホイットニーのさびが聴こえる

鹿児島・志布志

西岡 雅博

掌に光る螢を黒姫山の
ゆるぎ流れの間に戻せり

東京ワセタ

福地桂之助

古城から現代美術館へ歩く人
病いの癒へて一步一步を

熊本水前寺公園

北里美知子

寺庭にたまたま逢ひし人なつかし
御先祖様の導きならむ

島根・出雲南

小村 尚子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

人並みを宝と思ひ生きている

熊本西南

古閑 修

シャボン玉 孫と猫とが向かい合い

京都・宇治鳳凰 辻

幸男

ひよつこりと出てきたノートれもん味

青森北東 遠間

善弘

北斗星これでおやすみラストラン

埼玉・加須

堀越 康司

お賽銭セント混じって国際化

神奈川・横浜旭

吉原 則光

白いもの白と毅然として生きる

青森・五所川原中央

小野 順蔵

きのうデモ今日リクルート明日がない

群馬・伊勢崎

秋山 春海

空の神スカッと秋晴れ忘れたか

大阪・豊中

関谷 洋子

蟬までが昼間静かに夕騒ぐ

福島・会津坂下

鈴木 義一

物好きな変人友も作れない

大阪・堺

松谷 湖塔

雑草があるので蘭も華になる

埼玉・行田さくら

小澤 誠邦

切り札を使う時まで議論させ

茨城・日立港

小松 弘二

あるときは受付やつてるそっくりさん

愛知・豊橋

荒島小太郎

赤とんぼパットの後で寄ってこい

奈良

寺田 康宏

置き場所を内緒で変える枝鉄

大阪大淀

長谷川眞哲

医者通い梯子ができる元氣者

群馬・高崎東

豊泉 清

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑汀子 選

電柵も案山子も置かず豊の秋

京都・福知山 松山ひとし

収穫の秋を迎えた。稲穂が黄金色に輝いている田園風景が広がっているのである。大抵、収穫の頃の田んぼには、収穫前に雀や他の動物などに荒らされないよう対策をするのに、この辺りは鉄柵に電気を流して妨害したりしていないのに気がついた。案山子（かかし）も立っていない。良く熟れた稲田そのままの情景の広がりが見事である、と作者は眺めているのである。収穫が始まる寸前の雰囲気満ちた一句となった。

清浄な邑の空気が流れ星

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

都会ではなかなか星空を見ることができなくなったのも、街が明るすぎるせいであろうか。この句の邑（むら）はいかにも空気が清浄で、星空が美しく見えているのであろう。流星を見た作者の感動を通してこの邑の佇まいなども想像される。

地球温暖化がもたらすさまざまな自然の変化を、俳句を通して正していけたらと思ひながら、この一句を鑑賞させていただいた。

軽^{かる}寢の子のはやと道草を覚えけり

富山南 升田 義次

喧騒を負うて孫来る夏休

福岡・小倉東 廣澤 元彦

秋簾片付けぬまま入院す

北海道・登別 寺島紀子夫



佐佐木幸綱 選

隅田川水上バスのガラス屋根
あきずに見てゐる雨の水泡を

東京荒川 井上 久子

最近、ヨーロッパのライン川やドナウ川のクルーズツアーにならって、東京の水上観光も少し盛んになったようです。

ここは、しかし、せつかく水上バスに乗ったのに、あいにくの雨という事情なのでしょう。ガラス張りの屋根に降る雨。それを見てあるしばらくの時間。その時間をさりげなく読者につたえる「あきず」が、うまい。

老いづくもときめくものあり男なり
脈とるナースの手のあたたかさ

神奈川・相模原 佐藤 浩一

「……ときめくものあり男なり」という第二句から第三句への、「……あり……なり」とリズムに乗った続け具合が見所の一首です。何度か、くり返して読んでみると、定型詩ならではのこころよい音楽が聞こえてきます。

きつと見とれてしまうような美人ナースだったでしょう。ユーモラスで、ちよつとかわいらしい感じもする楽しい一首です。

荒田には人の心の荒み見ゆ
美田に集う水鳥の群れ

神奈川・横浜 長谷川武雄



てじま晩秋 選

お天道様でなくカメラがよく見てる

香川・高松 大平 昇

昔は「悪いことをするとお天道様がいつもよく見ているよ」と祖母に諭（さと）されたりしました。現代は街中の「監視カメラがじっと見えています」。そして検挙率も非常に高いです。

街で会う友と見せ合う歩数計

新潟 小林 悟

「ほら、五〇〇歩だよ」「すごい！ 私も負けず頑張らなくては」。小林さん、秋たけなわの下、楽しい会話ですね。万歩計は商品名ですので、歩数計としました。ご了承ください。

ほめ上手妻にのせられ皿洗い

北海道・斜里 辻 舒宏

ご家庭内に限らず、会社では上司に、趣味の世界ではそのジャンルの先生に。人間、褒められることで、意欲が増してきます。辻さん、奥方にのせられたふりも幸せの内です。

節目の日今日は何の日首かしげ

埼玉・入間南 大野 快三

「本日はハンバーゲの日です」。朝、車のエンジンに掛けるとカーナビがまず一言、発します。その事項は、全国共通でないものもあります。メーカーが作っているのでしょうか。

苦痛な日々にもなり、自殺につながることもあります。双極性障害なら気分安定薬を服用しますが、抗うつ薬を服用していると、それにより病気が作られる（医原病）という問題が大きく浮上します。いくつもの薬を服用し、身動きが取れなくなった患者も少なくありません。

この改善策として、二〇一四年に保険適用となったのが、光トポグラフィ検査。これは患者の頭に光トポグラフィ装置のプローブ（探針）を装着し、脳を働かせる課題を与えながらプローブから近赤外線を出して、反射して戻ってくる量を測定してグラフが作られます。健康者、統合失調症、うつ病、双極性障害でそれぞれ特徴的なグラフになります。

東京大学などの研究では、光トポグラフィの診断の正確さはうつ病で七四・六割、双極性障害もしくは統合失調症で八五・五割ですから、診断補助として使うべきですが、クリニックでは保険適用になりにくい適用条件になっています。正確に診断がつくと薬は単剤で、三か月で効果がはっきり表れ、六か月一年の治療で薬をやめることができます。（第二五八〇地区・東京都・東京新宿RCにて、同RC会員）

成田空港におけるLCCの現状

成田国際空港（株）エアライン
営業部エアライン営業グループ
マネージャー

西浦 文吾

LCCとは、Low Cost Carrier（格安航空会社）の略。比較的低価格の運賃で利用できる航空会社のことです。LCCは、サービスの簡素化・機内食などの有料化、座席数や機材の稼働効率の最大化、地域のメイン空港ではなく第二、第三の空港の使用、インターネット中心の予約システムなど、低コストによる運営手法により、運賃の低価格化を実現するビジネスモデルを採用しています。

成田国際空港は、日本と世界を結ぶ表玄関です。世界の二〇〇都市以上と結ばれている豊富なネットワークが強みです。太平洋線（アメリカ・成田）が成田国際空港の一番の売りで、アジアから成田で乗り継ぎをして北米に行く乗客が非常に多かったのですが、中国や韓国に巨大な乗り継ぎ空港ができたり、航空機の性能が上がったりで、成田国際空港を経由しない航空機などが出てきています。そうした中で、成田国際空港は新しい需要を生

み出すため、今アジアを一番重要視しています。特に中国などの日本から比較的近いエリアです。これは、主に近距離を運航するLCCの目的と合致しています。

成田国際空港におけるLCCのシェアは、二〇一四年冬のダイヤ開始時で、全航空会社が成田国際空港で運航する便数の二一・五割です。二〇一二年は六・一割でしたから、どれだけ急激に成長しているかわかりますが、世界各地域におけるLCCのシェアと比較すると成田国際空港ではまだまだ少ないのです。

LCCが成田国際空港に乗り入れるようになって大きく変わったことは、国内路線が非常に増えたことです。二〇一一年、LCCが就航する前の成田国際空港の国内線の旅客数は年間約一七〇万人でしたが、二〇一四年は約五九〇万人。国際線と合わせた全体の旅客数は約三五〇〇万人で、LCCが就航した二〇一二年以来、大幅に増加しています。現在、成田国際空港の国内路線は日本人利用客が多いですが、今後は海外からの旅客を増やしていくという国の方針もあり、訪日需要獲得に向けた新しい武器にしていきたいと考えています。

（第二七九〇地区・千葉県・八日市場RCにて）

卓

話

の

泉

■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

特別警報とは

気象予報士

野田俊一郎

特別警報は、気象庁が発表する「最後通告のような情報」です。重大な災害が差し迫っているか、重大な災害が進行中の状況で発表されますから、「命を守る行動を」がキーワードになります。

つまり、すでに浸水が発生しているなど、避難が間に合わない状況になっている可能性もあり、その場合、崖の近くなら、崖から離れた部屋などに避難することが必要という意味です。また、まだ避難ができる状況であれば、浸水などが発生する前になるべく早めに避難を行うことが必要です。いざという時に、避難が

迅速にできるように、日ごろからハザードマップなどを確認して、自分が住んでいる場所が浸水などの災害が起こりやすい場所なのか、浸水の危険や崖などを避けてより安全に避難するルートはどこになるのかを確認しておくことが必要です。国土交通省のホームページからは全国ハザードマップが検索できます。

特別警報には、大雨のほか、暴風、高波や高潮、地震、津波、火山の噴火があります。さまざまな細分化された情報が増えていて、果たしてこれが本当にストレートに伝わるのか、という疑問が残る状況です。特別警報の発表にあたっては危険な場所が特定できないなど、「おおかみ少年」のような情報に陥らないか、さまざまな課題があると考えます。いざれにせよ特別警報は、気象庁が発表する情報の中で最も危険度の高いものですから、発表された際には早急な対応を行ってください。また、特別警報は府県程度の広さで危険な状況にならないと発表されないものですから、特別でない警報や土砂災害警戒警報、河川の洪水警報などが出された時にも、やはり早めの対応が必要です。

(第二七三〇地区・宮崎県・宮崎西RCにて)

増えるうつ病 変わる治療

医療ジャーナリスト

松井 宏夫

日本の年間自殺者は約三万人で、その九〇％は何らかの精神疾患を患っていた可能性があります。その事態を受け、二〇一三年に国は日本人にとって重点的対策が必要な四大疾患に精神疾患を加え、五大疾患とし、対策を始めました。

精神疾患の中で患者が最も多いのは心の風邪とも言われるうつ病です。日本人の七人に一人が一生のうち一度はうつ病を経験します。原因としては①体内時計などの概日リズムを乱す現代社会、②食生活の貧困化、③運動不足、④肥大化した権利意識、⑤ストレスに弱い現代人の体質などが指摘されています。

こうした原因でうつ病患者は増えます。では、自殺者が増えるのはどう説明できるのでしょうか。そこには誤診の多さが強く指摘されます。とりわけうつ病と双極性障害(そううつ病)の誤診です。

双極性障害にもかかわらず、うつ病と診断され治療を受けることが、薬漬けの

えて直せばよい。失敗した人の方が成功率が高いのはこのためです。間違わない人はこの世にはいません、間違ったら認めて、ごめんなさいを言える人になってください。人生とはいかに耐えていくかです。すぐにやめたり、諦めたりしないで、まず耐えてみてください。当たり前のことを当たり前に継続しなさい。きつと誰かがあなたを認めてくれます」

阿久津さんは一時間もの間、生徒には着座させ、直立不動で講演しました。八三年果敢に生きているからこそ見えるもの、得たもの、あるがままの自分をさらけ出し、あるがままの生徒を温かく受け入れ、心から応援し励ました。講演は、多感な生徒たちの心を捉え、私語は全くなき、講演終了後、拍手は鳴りやみませんでした。生徒たちは阿久津さんから勇氣と希望をプレゼントされたと思います。

私はロータリアンとして、またこの学校の評議員として、愛に満ちあふれた素晴らしいプレゼンター、阿久津馨氏に心から感謝と敬意を表します。

(第二五七〇地区 埼玉県 不動産賃貸)

『ロータリーの友』賛歌

桑名西 鶴田 正道

九月は新しくできた「ロータリーの友月間」です。今年度から特別月間が変更となり、四

月の「雑誌月間」がなくなったのですが、日本独自の強調月間として新設されました。私のような『友』ファンにとってはうれしいことです。

『友』はロータリアンにとっては、最大の情報源であり、最高の教科書です。その『友』がどんどん変わってきています。特に変化が見られるのは、誌面上でロータリーに対する「異見」を許していることです。「ここでないか言わなければ、ロータリーは良くならない」という当事者意識がロータリアンの中に広がっているのを感じます。いまや、『ロータリー（組織）の友』は、『ロータリアン（個人）の友』であるように感じます。

現在は、右肩上がりに会員が増える時代ではありません。『友』も、新会員を対象とした「啓蒙的な教科書」としての役割は終わりました。ロータリーは、古風なロータリーの建前、識見、伝説、年功序列、権威、威厳といった積み上げられた財産を捨て、たくましいプレゼン能力、建設的な批判、ダイバーシティ意識、SNSの活用といった新しい価値が求められる、激動の時代に入ったのです。

『友』は、ロータリーの未来をつくるオピニオンリーダー（発言する指導者）の集結場所として、いよいよ機能し始めたのです。「完成された作品は常に自らを壊そうとする力を内に持っている」というゲーテの言葉を信じさせるほど、『友』は円熟してきました。

その思いを強くしたのは、二〇一五年八月号の「友愛の広場」の「新会員の集い」に

参加して」を読んだ時です。投稿した小林久純さんは、ロータリーの旧弊さを、遠慮なく、具体的に、鋭く批判しています。さすが新会員で、従来正しいとされ、それが伝統だとされてきたロータリーの悪しきしきたりに対して、正面から異議を唱えたのです。

じつは私なりの「異見」を『友』に投稿したところ、翌九月号に載せていただきました。二か月続けて、この二つの「異見」を選んで誌面への掲載を許したことに感謝します。どちらの投稿とも、最後は「健全な討論を」で締めくくっています。

そこで提案です。『友』にも読者の声欄を設けてはいかがですか。単なる意見や感想ではなく、ロータリーの現状に対して「新しい提案」を載せる欄です。要するに「ROTARYいま……」の会員版で、「ROTARIANいま……」です。この二つを対にして載せてはいかがでしょうか。誌面での「健全な討論」を促すことになります。ベテラン・新人を問わず、論客ロータリアンが登場して、旧来のロータリーのしきたりに対して「新しい提案」を行うのです。(第二六三〇地区 三重県 大学教育)

Annotation

大連宣言

大連RCの副会長だった古澤丈作が、「ロータリーの目的」と「ロータリー道徳律(倫理訓)」の神髄を翻訳という方法によらず格調高い日本語で的確に日本語で表現し、一九二八年に発表した職業奉仕についての文章。



台湾での3クラブ合同例会で(執筆者左から2番目)

ありませんでした。日本人の誠実な国民性は世界でも有名で、来日してメーカーアップした外国の会員は異口同音に話していました。

各クラブとも受付に分厚いノートが置かれ、そこに訪問日、国とクラブ名、署名をします。例会場はホテルが多いですが、国旗、ロータリークラブ旗などを掲げているクラブはアメリカでも比較的少なく、ヨーロッパでは一切ありませんでした。東南アジアのクラブは演出が大変派手で、立派な会場設営が多く、特に香港のクラブは旗と標語などの提示が目立ち、国際ロータリーのテーマのタペストリーも多くありました。

二〇年以上も前になりますが、ロサンゼルスRC(アメリカ)には六〇〇人近い会員がおり、幹事が各テーブルを回り、バナー交換をしていました。演壇で会長と交換するクラブが多いのですが、とてもそれができる規模

ではありませんでした。またシンガポールのあるクラブでは、交換と同時にバナーのデザインについて説明するように言われました。

ロータリーは国際的な団体ですから、どの国のクラブでも、いつでも自由に訪問できる利点を最大限活用し、知り合いを多くつくることができました。国際団体の会員として、国内クラブを含め、ロータリアンとして国内外で交流することが当初から私の夢であり、多少でも目標が実現できたことをうれしく感じています。

(第二七五〇地区 東京都 鋼管製造)

世界へのプレゼントになろう

和光 加藤 洋子

二〇一五年七月八日、埼玉県立和光高等学校で、三年生一七人を対象に、進路講演会が開催されました。講演者は七つの会社を所有する、当クラブの阿久津馨さん(八三歳)です。

演題は「最終学年を迎えた三年生が今考えるべき事」。前半は混沌とした世界情勢の中で、特に東アジアにおいては緊張が高まっていること。特に政府レベルでさまざまなあつれきが報道されていることをわかりやすく説明し、重要課題の集団的自衛権について話しました。

難しいと思われる内容でも、生徒の目線



自身の経験談を語る阿久津さん

で、本音で語りかければ、政治や外交について真剣に受け止め、真剣に考える生徒がたくさんいることを知りました。

後半の冒頭で「学生のころ、私は勉強をしませんでした。マージャンばかりして遊びほうけていました。もちろん就職先はありません。お金も、土地も、お客も、人も何もありませんでした。だから自分で何かを始めるより仕方なかった……」と切り出しました。生徒は身を乗り出して話に聞き入っていました。

「卒業後、社会に出てそれからが問題です。どのように社会と接したらよいのか、どのように考え、生きていったらよいのか。社会に出たら自分の考えと違う人がたくさんいます。自分の思う通りにはほとんどいきません。打たれても、打たれても起きなさい。失敗は当たり前前のことです。どうして失敗したかを考

良識を持ち、見識高く、深い洞察力を持った人がいることは幸せなことと思う。

三五〇ページに及ぶ一節、一節が人間として何を大事に生きていったらいいのかという道しるべとなっている。年代は問わないが、若いロータリアンには、ぜひ一読をお勧めしたい。

(第二七九〇地区 千葉県 浄水)

『ロータリーの友』の 一枚の写真から

村上 西坂 寛

私たちのクラブが『ロータリーの友』の「わがまち……そしてロータリー」に載ったのは二〇一四年の五月号でした。宮本貞氏、水村孝氏の感性豊かな視点から地域取材していただき、「城下町を彩る町屋の人形さま巡り」というタイトルで、村上を詳しく紹介してもらいました。

お二人が私たちのクラブの例会を訪問したのが月初めだったこともあり、会員の誕生日祝いで誕生日の歌を、私のウクレレに合わせて全員で歌ったのですが、その時の写真が『友』に掲載されました。

キャプションには「ウクレレも登場してなごやかな例会」とありました。

物語はここから始まります。ある日突然、クラブの事務局に芦屋ロータリークラブ（兵庫県）の内崎以佐美さんから、ご自身のウケ

レレのコレクションの写真集が届いたので。手紙には「同好の方がおられるのを知り、うれしく存じました」と記してありました。写真集を拝見すると、素晴らしいウクレレの数々、よくぞここまで集めたものだと感じました。

それよりも何よりも、『友』に掲載された小さな一枚の写真が縁で、新潟県からは離れた兵庫県芦屋市のロータリアンから届いたすてきなプレゼントはとてもうれしく、温かく、ほのぼのとした気分させてくれ、ロータリーの持つ温かさを肌で感じる事ができました。

その後の手紙のやり取りで、私がクラシックギターをやっていることとお知らせすると、今度はギターのコレクション写真集を送ってくださいました。これも素晴らしいコレクションだったことは言うまでもありません。



この投稿でさらに増えるかも。ウクレレの友

『ロータリーの友』を通して知り合った「ロータリーの友」との出会いに感謝します。

(第二五六〇地区 新潟県 家具小売)

世界各国五二クラブで バナー交換

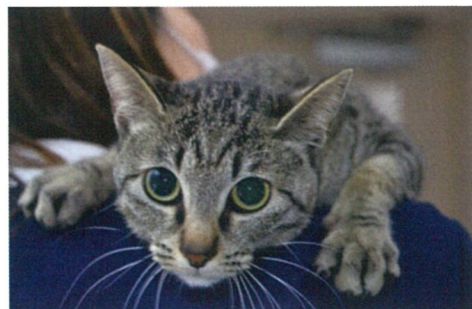
東京蒲田 野口 広

私のクラブが創立した翌月、一九八七年三月に、香港東ロータリークラブ（RC）の例会でバナー交換し、同年一〇月に、今度はニューヨークRCで二枚目のバナーを交換したのを機に、その後バナー交換を続けることを決めました。以降二〇一二年までの二五年間に、一五の国と地域の五二クラブとバナーを交換してきました。

出張の関係から同じ国、地域が多く、一番多いのはアメリカで一、香港七、シンガポール七、台湾六、ドイツ三、でした。台北百合RC（台湾）での五〇回目を機にバナー交換をやめようと思っていたのですが、その例会が三クラブ合同例会に当たり、五二クラブになりました。

海外のクラブは総じて開会時間がルーズで、開会時間に来ている人はほとんどいません。もし来てもSAA（会場監督）か幹事とみられる会員だけで、開会は三〇分から一時間も遅れて始まるのが普通でした。

日本のように定時に始まる例会はほとんど



の上着で外出した、という話です。

またある時、ムハンマドが愛猫の額をなでると、アルファ

ベットのイニシャルで「M」という字が浮かび上がったとい

う話から、イスラム教徒は、これを「ムハンマドの猫」と呼び、額にMの模様を持ったネコは、大切に扱われるようになりました。

アルファベットは、紀元前一七〇〇

一五〇〇年の、地中海東部の沿岸地域で発達し、フェニキア、ギリシャ、ラテン文字を経て形成された文字です。ちなみにアルファベットという語は、ギリシャ文字の最初の2文字、 α 、 β の読み方に由来するそうです。ムハンマドの時代に、アラビア語とは異なるこのアルファベットが、アラビア半島で知られていても不思議はありませんが、ムハンマドは八歳から孤児同然でほとんど教育を受けておらず、読み書きができなかったという説もあります。しかし貧しかったのは二五歳までで、ハデージャという裕福な寡婦と結婚してからは、商人として大成していますので、読み、書き、計算は、二五歳以降に十分に学んでいた可能性があります。

「ムハンマドの猫」の逸話は、イスラム

教の開祖として名声を得てからのことなので、アルファベットのMから始まるストーリーが流布されるのは一応理解できますが、一三〇〇年の昔、アラビア語でないMのストーリーがイスラム教の中心地で、素直に受け入れられたかどうか、いささか疑問が残ります。

もともと、あの独特な書体のアラビア文字を、ネコの額の文様に求めても、それは不可能ですが……。 (第二七六〇地区 愛知県 獣医科)

『少年皇族の見た戦争』を読む

市川 山崎 敬生

戦後七〇年の節目に、ロータリアンが良書を世に送り出してくれた。

『少年皇族の見た戦争』(PHP研究所)を書いたのは、今上陛下のいとこに当たる久邇邦昭氏(第二七五〇地区二〇〇九—一〇年度ガバナ―)であるが、「皇族出身の著者だから」と色眼鏡の構えて手に取らないでほしい。

南北朝時代に始まる宮家として四親王家を祖とする久邇宮家に一九二九(昭和四)年に生を受けた著者が、日本が戦争に至る時代をとても賢く、礼儀正しい少年の目で見つめた時節の流れの記憶は、素直であり、好奇心にも満ちて読む者を飽きさせない。

私たちの知らない戦前の皇族の生活、立場

などを興味深く、戦争へと突き進む時代に、皇族が政治に口出しするのを防ぐため、軍部が行ったことなどもわかってくる。また、高松宮家など多くの皇族が、そうした行為が日本のためにならないと考えていたことも書かれている。

敗戦時、著者は一六歳だが、なぜ三〇〇万以上の日本人が死ななければならなかったのか、皇族がなぜ戦争を止められなかったのか。靖国神社の問題にもさりとて言及しているが、上層部の人たちの事情を知る人だけに、広く、深い真つすぐな目をもって鋭く私たちに伝えてくれる。

戦後、皇籍離脱し平民として海運会社に勤め、高度成長に向かう前から長く海外赴任したというさまざまなエピソードは、現代の若者にも役立つし、戦後経済史の一コマと言ってもいい。

また一九八九(平成元)年から伊勢神宮大宮司に就任し、神道を平和の祈りとして世界に伝えた姿や、遷宮の際の不思議な出来事など、驚くエピソードもある。

私たちロータリアンの中に、著者のような



になります。一部はデジタル化もされ、ロータリー文庫のウェブサイトからも閲覧でき、『ロータリー文庫通信』三二二号（二〇一四年五月発行）の中でも紹介されています。

（第二八四〇地区 群馬県 質店）

今こそ

『ロータリー通解』を

明石西 多胡 健吾

一九一五年に刊行された、『ロータリー通解』（ガイ・ガンディカー著、小堀憲助訳）はロータリーのバイブルとされていて、

一〇〇年を経過した今も色あせることなく、われわれが忘れ去ろうとしているロータリーの本質を首尾一貫して説いています。

本書は、ロータリークラブの目的として

①会員個人の向上、②会員企業を理想と現実において向上させること、③会員の属する職種全体の向上、④会員の家、町、国、ならびに社会全体の向上させること、となつていきます。①は現在の「ロータリーの目的」が、すべて、ロータリアン個人を対象に書かれているということに、②は「ロータリーの目的」の主文に、見事に反映されています。

会員個人個人の向上は、ロータリーの理想の追求と実践の基礎であり、その手段として例会があり、例会において異なる職業を代表する会員と親睦を深める中で互いに切磋琢磨し、職業人として自己を向上させなければなりません。例会はロータリーの原点であり、核心です。出席率の高い会員こそロータリークラブの宝なのです。

一業種一会員制については、現状は然らず、言葉もありません。ロータリアンの種類はただ一つ、積極的に活動する、active Rotarianであり、会員はロータリーが彼の属する企業団体へ送った大使です。例会のプログラムは娯乐的なものよりも教育的、企業経営的行事を優先させるべきであり、少なくとも六週間に一回はロータリーに関する理解を深めることだけを目的にする例会をもたねばなりません。

ロータリーにおける奉仕とは、奉仕すべ

き人と物を行動に結び付ける心の状態を言います。額に汗しない奉仕はないと言います。職業奉仕はロータリーの根幹をなすものでありと再認識されます。

また、最後に掲載されている、「ロータリー倫理訓」は、全てのロータリアンが一読し、肝に銘ずべき教訓に満ちていて、われわれに高い職業倫理をもち、寛大で、行動力のある真の人間になるよう求めています。

この著書は決して時代遅れではありません。ロータリーがその本来の輝きと魅力を失いつつある今こそ、ロータリアン必読の書であることを確信します。

（第二六八〇地区 兵庫県 外科医）

ムハンマドの猫

名古屋和合 鷺塚 貞長

イスラム教の開祖、ムハンマドがネコ好きであったことは多くの記録があり、モスクへのネコの出入りは自由です。

ムハンマドが毒蛇にかまれ、生死の境をさまよっていた時、ネコに救われたなど、いくつかの逸話がありますが、最も有名なのは、ある日外出しようと、上着を取ろうとしたところ、かわいがっていたムアッザというネコが、袖の上で気持ちよく寝ていたので、起こすのがかわいそうと、上着の袖を切り、片袖



東京紀尾井町ロータリークラブ

第二五八〇地区（東京都）

バナー自慢

紀尾井町は、紀伊徳川家、尾張徳川家、彦根藩井伊家の屋敷があったことから、三家の頭文字を取って付けられた町名です。皇居など、緑に恵まれた千代田区のイメージをグリーンで表し、徳川の家紋である葵紋を地にあしらいました。



講演会には約 200 人が聴講に訪れ、戦争への関心の高さがうかがえました

が友好都市を結んで三〇周年という節目の年です。三〇年という月日を経て、日中の関係は未来へ向けてますます発展しています。また今年は終戦七〇年という節目の年でもあります。両国の未来を思い描いていくためには、過去を振り返るという行為を避けて通ることはできません。

そんな思いから、私が代表理事を務める芸術振興団体「相鑑舎」では江成常夫写真展「まぼろし国・満州と戦争孤児」を企画し、七月二七日から約一か月にわたり開催しました。

写真家の江成氏は、その生涯をかけて「戦争の昭和」を撮り続けています。一九八一年には訪中して、旧満州の中国東北部で日本人戦争孤児たちを撮影取材、以後も数回にわたって訪中し、写真集『シャオハイの満州』を出版されました。タイトルにある「シャオハイ」とは中国語で「子ども」を意味します。

そして八九年からは再び「満州」シリーズの撮影を始めました。江成氏の仕事はどれも長期にわたって取材するスケールの大きい、根気のいる仕事で、「満州」シリーズは九五年に写真集『まぼろし国・満州』として出版。同写真集でこの年の毎日芸術賞を受賞しています。

また開催期間中、終戦の日の八月一日に開催した講演会には約二〇〇人が聴講に訪れました。スライドとともに、戦争孤児の証言（『シャオハイの満州』収録）を和子夫人が朗読するなど、充実した時間となりました。

また、出品作品はその点数を増やし一〇月に無錫市で行われる友好都市三〇周年記念事業に合わせて巡回しています。

本企画を通して中国との発展的な未来を思い描けたらと考えています。

（第二七八〇地区 神奈川県 芸術鑑賞施設）

古澤丈作『行商日記』

高崎シンフォニー 金子 秀隆

古澤丈作（一八八一―一九五五年）をご存じですか？ 昭和初期に活躍したロータリアンです。

彼は大連ロータリークラブ（RC）創立（一九二八年）時の副会長で、「大連宣言」を起草しました。帰国後、日本が国際ロータ

リーに復帰した時、東京RCの会員で、サンフランシスコ平和条約が発効された年に会長となった人です。

その会長年度（一九五二―五三）には、現在の米山記念奨学会の基となる「米山基金」を提唱しました。彼の実績を「大連宣言」で知るか、「米山基金」で知るかはともかく、国内のロータリアンに少なからず影響を与えた人だと思います。

日本人初のロータリアンである福島喜三次と同じ一八八一（明治一四）年生まれ、一九〇〇年に東京高等商業学校（現・一橋大学）に入学します。やはり福島と同窓です。二年目の予科を終えた夏休みに、三〇日かけて行商実習を行いました。この記録が翌年、『実科教育』という雑誌に、八回にわたり連載されました。この複写を入手することができましたので、ここに紹介します。一〇〇年以上前、当時二二歳の古澤青年が若者らしい視点で、明治時代の文語体で語っています。

行程は東京↓千葉↓栃木↓群馬↓長野↓東京でした。これらの地を行商しながら各地の産業や特産を調査、報告し、また、土地の伝統や祭りなども紹介しています。特に当時、日本をけん引していた群馬の絹産業に対する詳細な報告は、一読の価値があると思います。教育史から見ても、行商実習の報告は興味深いと思います。明治の風俗習慣にも触れていて、多面的な価値観があると思います。

この資料にご興味のある方は、この複写をロータリー文庫に寄贈しましたので、ご覧

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

忘れられていた 日本兵の軌跡

桐生西 野村 滋

二〇一五年四月一七日夜、私たち桐生西ロータリークラブ（RC）の会員五人は、タイ最北西端、ミャンマーとの国境沿いにあるカレン族の住むキアウポン村を訪問しました。旅の目的は、私たちのクラブと交流のあるチェンマイのティンタインガムRCの要請で、水道施設がなく水不足に悩む住民に、きれいな水を供給できる浄化設備をつくるグローバル補助金プロジェクトのための現地視察でした。

村に到着した私たちは、村長夫人が用意してくれた昼食をごちそうになりました。その時、さり気なく村長が言いました。

「ここから車で一時間半くらいの所に、日本人のお墓と遺品があるので、案内するから

帰りにでも行ってみたいなか」

なぜ、カレン族の村に日本人墓地が……。

一瞬、言葉を失いました。ビルマ（現ミャンマー）でのインパール作戦に敗北した日本軍兵がばらばらになってタイを目指して逃げだし、食料もなく、何百とも知れない山越えをして、やっとたどり着いたのがキアウポン村。村人たちは兵士に食べ物を与え、休ませてあげたそうです。しかし、力尽きて死んでいく兵士も多く、村人は墓をつくり、手厚く葬ってくれたのでしょう。そうした兵士の遺品が今も大切に保管されており、その事実を知る老婆が一人だけ健在だと聞きました。

私たちが「生き残った元兵士やその家族が、この村を訪れたことがありますか？」と聞くと、「この村を援助する目的で日本のNPOメンバーが来ただけです」とのこと。その時は「なんと不義理な……」と思いまし



水プロジェクトを通して、思わぬ歴史を知りました

たが、後で知ったインパール作戦の悲惨さを感じれば、自分を恥じる気持ちでいっぱいです。いったいこの奥地から祖国日本までたどり着いた兵士が何人いたでしょうか。ほとんどの人が戦死されたことでしょう。お世話になった兵士や、その家族に代わって、お礼を申し上げます。

昼食を終えた私たちは、本来の目的である視察を行い、集まった村人と一緒にプロジェクトの成功を祈りました。

心残りなのは、日程の都合や、道中の危険性などの理由から、日本兵のお墓参りができなかったことと、遺族への情報を何も持ち帰れなかったことです。この旅が、思ってもいなかった方向に展開したのは、単なる偶然なのでしょうか。それとも戦後七〇年、異国の地に眠り、忘れ去られようとしている兵士たちの叫びだったのでしょいか。

専門の通訳がいなかったので、話を正しく理解できていない部分もあったと思います。二年後、竣工式のためキアウポン村に行く折には、必ずやお墓参りをしたいと思っています。
(第二八四〇地区 群馬県 ホテル業)

中国との 発展的な未来を願って

相模原橋本 橋本 欽至

今年は相模原市と中国（江蘇省）の無錫市

わがまち..... ROTARY そしてロータリー



例会であいさつする新井典夫会長



ホテルの最上階で夜景を楽しみながらの家族会

場は、一日借りて五万円ほど。おおむねビンボーなアマチュア劇団などの頼みの綱であり、今年二〇回目を迎えた「まつもと演劇祭」の主会場の一つになっている。

多彩な活動の一つに鉄砲がある。狩猟ではなく、火縄銃を伝承し研究する「松本城鉄砲隊」。城好き、歴史好きという子どもたちのところからの夢がかなって、いまや隊長さんだ。

「国宝松本城古式砲術演武」というイベントを見物した。松本城鉄砲隊のほか、愛知、静岡の隊も参加、城の天守をバックに鉄砲をぶっ放す、夢のように大胆な催しである。

西堀隊長の雄姿は写真をご覧いただくとして、火縄銃なるもの、とにかく音がデカい。たった三〇丁ほどの斉射が、城の外堀の役目をはたしていた女鳥羽川付近でもドスンと腹に響く。殿、落城は近うござるゾ。

町の人たちはこの城を、ただ「お城」とだけ呼ぶ。「松本城R.C.」も呼び名は「まつもとお城ロータリークラブ」である。

市内の子どもの多くは、ボランティアで天守の床を磨いたことがあるそうだ。クルミと米ぬかを包んだ「タンポ」で床や柱をひたすらこする。子どもたちは、「お城」が生きた歴史を自らの手のひらで確かめ、伝えていく。

松本R.C.の最古参・降幡廣信さん。建築設計事務所の代表で、民家再生の大家だ。八六歳のいまも各地を飛び歩いて活動している。

民家再生に本腰を入れるきっかけになった言葉がある。三十数年前、民家の調査をしていた女性所員のホシノさんにこう言われたのだ。

「社長が良心的な建築家だしたら、あの家を見捨てておくことはできないはずですよ。ぜひ見てください」

由緒ある家の屋根は崩れ、雨漏りだらけの部屋に老夫婦が暮らしていた。気の毒だもったいない。

「人間には医者がいるが民家にはいない。古い家を壊し、捨ててしまってもいいの」

以来、三〇〇の民家を手当てし、伝統を守りつつ快適な暮らしができるよう再生させた。「古い家は生き物として扱わないと壊れてしまう。病人や老人に対処するのと同じです」

降幡さんは昨年、クラブ在籍五〇年で表彰された。入会したのは三五歳。創立時のお歴々ぞろいのところで、「それはもう雲の上の方々、誇りを持った松本人の集まりでした」

印象深いのは故・金井泉博士。戦時中には軍医として病院船氷川丸の病院長などを歴任、松本R.C.では三代会長を務めた人だ。

「わたしは金井先生の発言や態度を通してロータリークラブというものを知りました。先生は毅然かつ颯爽としておられて、松本平から見るアルプスの風景のように感じたものです」

降幡さんと別れて町を歩く。蔵づくりの店が並ぶ通りの先には必ずアルプスが見えた。

河童橋と梓川



上高地も松本市内だ





松本隊による「大筒放」



西堀隊長の雄姿



降幡廣信さん

望月宗敬ガバナー

その感じ方、ルールや事故防止など、登山者に伝えたいことがたくさんあるものですから」
「好きな山はやっぱりツバクロですね。飽きません。登るたびに感動があります」
土地柄か、松本RCには山好きが多いようだ。「山好会」というクラブがあって、六〇周年記念事業の吉澤曹典実行委員長をリーダーに、秋の三連休にも洞沢散策を楽しんでいた。
最後は「学都」。松本には明治初期の旧開智学校（重要文化財）や信州大学がある。松本RC創立当初の会長も信州大の学長が務めた。
ついでに、と言ってはなんだが、今年度第二六〇〇地区の望月宗敬ガバナー（松本RC）は現在、信州大学の大学院生である。税理士法

人の社長を六五歳で引退し、翌年同大の経済学部三年に編入、さらに大学院に進んで来秋修了予定という。いまは半年間の休学中。
研究テーマは「長野県における青果物流通の変化」で、専門の「税金」とは関係ない。「わたし、税金は飽きたんで」と笑う。大学では圧倒的な最年長。学割も使えるのだが、「高齢者割引のほうがトク」だそう。
「学都」ならぬ、「学徒」のお話でした。
雲の上の方々
誇りを持った松本人

今回の取材は「友」の地区代表委員・西堀恒司さん（松本RC）にお世話になった。西堀さんは三代続く信濃毎日新聞専売所の社長。国宝松本城近くの本店を含め、市内に一四の販売店を展開している。
雑誌記者のころ、知らぬ土地へ取材に行くと勤め先の新聞社の支局でなく、まず販売店に駆け込んだものです。販売店の店主は、その町の政治経済から人情風俗、出回っている噂の信憑性まで、じつに詳しかった。
西堀さんは情報通だけではない。自らが文化の発信者であり、松本のまちづくりにも大きく関わっている。大正ロマンの街並みにある本店はもとより、販売店すべてを蔵づくりに改装してしまっただけだ。
松本でも昔からの映画館は次々に廃業し、もう一館も残っていない。西堀さんは十数年前、「ピカデリー」という館を買い取り、芝居小屋に改装して存続させた。客席数二四〇のこの劇

にぎわう「第12回信州そばまつり」（松本城公園）

明治9年完成の旧開智学校（重要文化財）



そば打ちの実演。外国人観光客も興味津々



わがまち..... ROTARY そしてロータリー



新旧のシャレた街並み

ろうプロジェクト」というのを始めた。松本市とその周辺も松くい虫の被害が大きい。とりあえず町の中のマツを守ろう。

講演会を開き、小、中学校の校長会や松商学園のインターアクトクラブの協力で被害状況を調べた。それをもとに、枯れたマツの伐採などの措置を市などに働きかけるそう。

松本駅の表玄関・東口広場に、三角形の御影石の時計塔がある。松本南RCが寄贈した「三ガク都時計塔」だ。

「三ガク都」は松本市のキャッチフレーズである。音楽・山岳・学問。それぞれの「ガク」をとって「三ガク」と、まあ一種のこじつけだが、中身が伴っているから説得力がある。

松本RCも関わりが深い。

子どもの才能を伸ばす音楽教育で名高い「スズキメソード（才能教育研究会）」いまや世界四六か国に広がるが、松本が発祥の地で、「楽都」の出発点となった。創始者の故鈴木鎮一さんはクラブの創立会員である。

研究会の現会長である鈴木裕子会員は鎮一さんの姪にあたる。幼いころから伯父さんの指導を受け、メソードの普及行脚にも同行した。

「日本中、どの村からも音楽が聴こえる村づ



駅前の「三ガク都時計塔」

くりをしたい。伯父はよく言っていました」

「楽器がうまい子どもというより、そんな感性を持った子どもを育てるのが望みでしたね」

穏やかな紳士の鎮一さんは、郷里の名古屋弁でダジャレを飛ばすお茶目さんでもあった。

「そんなことやったって音はD線（出ーせん）がね」（D線はバイオリンの弦）

研究会の本部で伯父さんの思い出を語る裕子さんは、なんともうれしそう。レッスン室からバイオリンの音が聴こえていた。

「楽都」を担っていたもう一つのイベント「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」は、今年から「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名前が変わった。

松本市は標高六〇〇メートル。東に美ヶ原、西に北アルプスを望む、まさに「岳都」である。上高地だって「市内」なのだ。

北アルプスの表銀座、燕岳の山小屋・燕山荘のオーナー赤沼健至さんは三代にわたる松本RCの会員である。小屋は大正一〇（一九二一）年、登山家の祖父千尋さんが建てた。日本の近代登山を見守ってきた歴史ある小屋だ。

営業期間中の毎週末、赤沼さんは松本市内から小屋まで通う。小学校三年の時から通い慣れた山道である。

「小屋の仕事もありますが、山の素晴らしさ、

大名町通りにある「ようこそ楽都・松本」の看板



スズキメソードの創始者鈴木鎮一氏の写真を掲げる鈴木裕子さん



わがまち..... ROTARY そしてロータリー

長野県 松本市

音楽・山岳・学問 誇らかに「三ガク」の町

文・宮本 貢 写真・水村 孝

どの村からも
音楽が聴こえる村づくりを

新宿から中央本線の特急で、諏訪湖を過ぎ、塩嶺^{えんれい}トンネルを抜けると、視界が一気に開ける。のびやかに広がる松本平の彼方に北アルプスの峰々が連なっている。息をのむ景観だ。

頂を目指さず、麓をうろろするだけの情けない山好きだった学生時代を思い出しつつ長野県の松本市を訪れたのは、松本ロータリークラブ(RC)の例会日だった。この日は夜間例会。「家族会発足記念」だそうで、集まった会員と夫人たちはちよっとお洒落しておられる。

日本ソムリエ協会から講師を招いて、ワインとフレンチのフルコースディナー。来年四月の創立六〇周年式典に向けて、ロータリー活動に

家族の理解を得ようというコンタンらしい。松本RCは長野県で最初にできたクラブである。ふつう、RCはまず県庁所在地に設立されることが多いが、そこは信州。それぞれの地域ごとに事情があり、松本にお鉢がまわった。そんなこともあってか、親クラブには名古屋RCと甲府RCの両者が名を連ねている。

今年度の新井典夫会長の「会長方針」を読んで笑ってしまった。「最も『笑顔』が似合わない私が、『笑顔で明るく』の言葉を胸に刻み」とある。建築物の構造計算という堅い仕事をしておられる新井さん。顔つきは多少いかめしいが、それが崩れて笑顔になる一瞬がなんとも可愛らしい。笑顔、似合ってますよ。

クラブの継続事業で「市木アカマツを守

松本駅と北アルプスの山々。中央右の三角形が常念岳

下 市の中心部を流れる女鳥羽川
右下 小さなお城の古書店



学校五年生と中学校二年生でした。毎日いじめ被害にあっているピークも小五と中二でした。ということは、その学年でいじめ予防を始めたのでは遅く、その前までにスタートしなければいけません。

いじめをなくすには、まず大人が変わることが大切です。私たちが正しい知識、正しい方法を知る。組織として、地域として、継続的に、具体的に、傍観者から介入者にならなければいけません。

いじめの問題は放っておくと、成人期の精神疾患、ニート、自殺、犯罪などの問題につながります。これは大変重要な問題ではないかと私たちは思っています。これらを予防するためにも、四つのキーワードをはじめとする知識をシェアしてください。今までの研究が正しいと言っている知識ですから。

子どもたちに対して、私たちは傍観者のままではなく、何かアクションを起こさなければなりません。それには三つの段階があります。病気と同じです。

一つ目は、予防的なやり方、早期、初期対応です。いじめ対策としては、「学校風土」を変えることですが、「風土」を変えるのはそう簡単にはいきません。成果が出るのに一年半から二年かかると言われています。長期的視野に立ち、せめて一年半は待つくらいのつもりで働きかけるのがよい、と言われています。一つの教室だけでなく、学校、地域など、みんなで行う必要があります。この教室ではしているが、隣の教室では先生が怒鳴りちらして、いじめのモ

デルになっているようではだめです。

次に、いじめかもしれないことが起きて、深刻化しないようにする方法について、私たちはプログラムを持っています。一年間に六時間の授業案と教材も準備していますので、もしご興味があったら、それは研修を受けてもらう必要があります。

三つ目が問題です。いじめかもしれない、ではなくていじめが起きてしまった場合です。加害者、被害者、傍観者、それぞれへのアプローチが必要ですが、ここでも私たちの研究の成果を生かすことができます。

例えば、加害者は悪いことをしたわけなので、先生は罰を与えてOK（体罰はダメですが）です。罰の与え方は発達段階で違うと思います。しかし、罰を与えるだけでは不十分で教育が必要です。間違った考えを正す、共感性を高める、この二つに集中するのがセオリーです。

被害者に対しては、まずケアをしなければいけません。「あなたが悪くていじめられたのではない」と先生は言わなければいけません。その子自身に問題がある場合は、それはいじめから切り離して、後から改善するよう働きかけます。特別支援教育として行えばいいのです。

もう一つ行わねばならないのは、孤立を避けること。孤立が続けていたらまたターゲットになるので、正しい集団と結び付け、この子がヘルプを出せる環境をつくっていくことが、被害者へのアプローチになります。

傍観者に対しては予防と同じで、基本的なことを伝えて、いじめかもしれない出来事が起

こつたときの対処法を教えてください。

今日お話ししたように、いじめは予後が悪いです。われわれ自身がいじめの経験者だから、大丈夫なような気がするのですが、われわれはその中でもラッキーなことに、なんらかの能力、なんらかの環境があつて、そこから生き残ってきました。そして自立してきました。

最も深刻な影響を受けるかもしれない子どもたちを相手にしている時は、私たちは自分の経験ではないところに、より所を持つべきだろうと思います。いじめの四つのキーワードは汎用性^{せうようせい}が高く、パワハラストップや虐待ストップに使うこともできます。

いじめの予後が悪いということでは、いじめを予防し、やめさせることが、将来の犯罪、精神疾患、もしかしたらニートとかひきこもりとかを予防することにもなるかもしれないことを意味します。とにかくデータ、数字に語らせないとみんなで包括的に取り組みませんので、やはりデータを取るところから始めるべきだ、というのが私たちのスタンスです。まさに学校と教育者の実力が問われている、という状況です。しかし、学校と教育者だけが子どもの支援者かというところではなくて、地域、そうした学校を支える仕組み、行政、もちろんお父さんお母さん、家庭、ということがあると思います。これは私たちみんなの問題、私たちみんなの未来の問題ですから、一緒にがんばっていくことができれば、と思います。

（ホスト 桐生西RC／本誌二〇一五年七月号横組み五〇ページ「ロータリーデー」に関連記事掲載）

なのです。

「学校風土」、要するに集団の雰囲気と考えた時、いわゆる普通の子、普通にがんばっている子どもたちには「もつとがんばれ」ではなくて、「君たちは今、それで素晴らしいよ」と褒めてあげて、ちよつと足りないところ、落ちそうなのを支える必要があります。

この「学校風土」は、研究で確かめられています。学校風土が良いと学業成績が上がる、不登校が、問題行動が減る、持病が少なくなる、良いことばかりです。

これは多分、「企業風土」でも、同じことが言えると思います。企業の「風土」が良いと業績が上がり、離職率が減って、パワハラもなく、事故も減るでしょう。

学校を良くしたいのだったら、「学校風土」を良くすることにアプローチした方がいいのではないかと考えています。では「学校風土」とは何なのかが問題です。欧米の研究では、この「風土」を計測します。計測し客観視することによって、改善のアプローチを理詰めで行いましょうという発想になります。これは日本にはない発想です。

少し宣伝になりますが、私たちの研究所では『学校安全調査』という質問紙を開発しました。これはいじめに対する評価をするものです。いじめが「学校風土」と関係があるので、「学校風土」も一緒に計測することができます。昨年度、二〇〇〇人程度の小学校四年生を対象に、私共の研究所でいじめの調査をしました。いじめの被害を受けた子どもの半分以上が、

我慢するしかない、ということになっています。

一方、「助けを求めた」というグループもあります。「逃げた」とか「やめてと言った」という行動、何らかの好ましい行動もあります。「やり返した」という行為もあります。やり返せるのだったら、単純ないじめではなく、けんかとして分類できるのではないかと、という話もあるので、これはこれで別のグループに分けます。

道徳的なアプローチではなく、行動を変えていくためのアプローチをしないと、恐らくいじめはなくなりません。何らかのいじめを受けたことがある、と回答した子どもが五七割いましたが、そのうち、三六割はいじめもやっていました。やられたからやり返す。別の子にやり返す。その本人には怖いからできないので、自分より弱い子にやり返す。いじめに全く関わっていない子は三七割でした。

「学校風土」は大切です。仲間意識や規範意識が高い、学習意欲も高い。こういうものは学

校に必要なと思っています。皆さんが今まで何となく感じていたことも、数値で出していかなければいけません。客観的に、比較することが可能な、何らかのモノサシが必要であると思います。

学校によって結構差があります。その差はどこから来るかというと、その地域の問題もあります。私たちとしては、データに基づき策を施すとか教育を行うことが、これからの日本を変えていくには必要だと思っています。データを取り、現況を追跡していかなければなりません。

いじめをなくすには まず大人が変わること

ある学校区を全部、学年ごとのいじめの被害のデータを取りました。小学校一・二年生はうまく取れなかったのですが、三年生以上の質問で見ると、この学校区はいじめのピークは、小



■(公社)子どもの発達科学研究所
主席研究員

和久田 学

一九六四年 静岡県生まれ。

八六年 静岡大学教育学部卒業。

八六〇二〇一一年 特別支援学校教諭。

二〇〇九〇二年 大阪大学大学院、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学、連合小児発達学研究所後期博士課程修了、小児発達学博士号取得。

現在、公益社団法人 子どもの発達科学研究所、主席研究員。
大阪大学大学院特任講師、浜松医科大学非常勤講師。

を確認していけばいいのです。力の濫用がいけないということを教える。不公平な影響が起これるよという、四つ目のキーワードを教える。強い立場にいる人間がいつもそこを考えれば、いじめはなくなります。

被害者になりそうだったら「いじめ関係の渦に巻き込まれる前に、助けを求めよう」と動くことを教えればいいのです。四つのキーワードが揃いそうになったら、「今、私は誰かにヘルプの信号を出さなければいけないのだ」と動けるようにしていきます。

いじめの影響はあとから出てきます。不登校、学業不振、自己肯定感低下、健康上の問題などです。例えば、アメリカ・カリフォルニア州では、「小児科医がいじめ被害について聞きなさい」というガイドラインを出しています。日本では、保健室の先生が気づいてくれる傾向があります。

いじめに関係しない、傍観者になる三つの理由はわかっています。一つ目、何をしたいかわからない。二つ目、報復を恐れている。三つ目、何かをしてさらに状況を悪くするのを恐れている。大人は子どものいじめに関して傍観者である、というのが現実です。先生も親も傍観者の立場です。教師の四割がいじめに向き合いますが、あとの九六割は見えて見ぬふりである、という調査結果もあります。

統計では、欧米の場合七五割の子どもが、日本だと六〇割の子どもが、自分がいじめ被害にあつていても親には言いません。とすると、大人がいじめの被害者、加害者を見つけないのはな

かなか難しいということになります。

では、どうすればいいでしょう。被害者、加害者を見つけないのではなく、傍観者を見つければいいのです。傍観者を見つけないのは簡単です。学校の先生であれば、目の前にいる子どものほとんどが傍観者です。傍観者の中には、いじめをやめさせたい、と思っている者も含まれています。彼らにこそ、「それはだめだよ」「辛かったね。先生のところに、一緒に助けを求めに行こうよ」「そんなことはしちゃだめだよ」というふうに、具体的な行動や言葉を教えます。

もう一回、子どもの良い社会、集団をつくる。子どもの社会は私たちの将来の社会でもあります。ここに最も大きいいじめの予防の可能性があるし、逆にこれをやらないと、日本の将来はなかなか難しいかもしれないのではないかと、思っているところです。

いじめをなくすために 良い「学校風土」をつくる

こんな記憶はありませんか。「あの先生のクラス雰囲気いいな。あのクラスになりたい」「何年何組みんな楽しそう、あのクラスは頑張っている、不登校もいじめもないし、みんなにここ」「あの学校、雰囲気悪いよ、いじめっ子が多いし、あの学校に行くぐらいだったら、転校させたい、したいよな」。また、親になつてからも始業式の日になつて子が、「今年は当たり前いい先生のクラスになつた」もしくは「今年是我慢だよ、外れちゃった」ということがあるの

ではないでしょうか。

この「当たり前」は、そう言われる側の教員にとっては深刻です。私は教員でしたが、教員の側にも「当たり前」はあります。あの校長先生の下で、あの学年主任の下で働きたい。あの学校がいい。会社でもあります。あの会社の雰囲気がいい、働きたいな。これを「風土」と言います。

人の行動を考えると、いい環境にいればパフォーマンスが上ががり、毎日仕事が楽しくなり、業績が上がるといってもいいかもしれません。でも、悪い環境、いつもギスギスしている所だと、やる気もなくなるし、転職先をいつも探しているような格好になります。行動と環境の相互作用です。

子どもはまさにそうです。学校と家庭しかありませんから。そして集団の雰囲気は多数派、いわゆる「もの言わぬ集団」がつくり出します。

一つの集団にはいわゆる「普通の人」が八五割ぐらいいます。会社で言うと平均レベルで働ける人が八割。集団の中でちょっと問題だなという子どもは一五割ぐらいいます。特別支援の必要な子どもが一〜二割いて、私たち支援者、管理者はここに一番目がいくのです。

ところが、この支援が必要な子どもにばかり注目していると、そこまでいい子ではない子、普通と言われている子が、危うくなります。

つまり普通と言われている子、普通のことをがんばっている人たちにこそ「もつとがんばれよ」ではなく、「今のままでいいよ」「もつとすてきになるにはこうしたらいいよ」と言うことが今後必要になります。これが、言わば「予防」



刻な場合があるので、この定義、このキーワードはあまり大きく採用すべきではない、という人もいます。

三つ目、「意図的なネガティブな行動」。つまり、わざとやっているということです。

四つ目が「不公平な影響」。やられている側、被害者はとても辛いのですが、加害者はあまり影響を受けません。そのぐらいやって当然、遊びだ、おれには権限がある、指導だ、と信じている、ということが起こります。

いじめの関係がいったん出来上がってしまったら、被害者と加害者という当事者だけでは止められない、という特徴を持っています。外から介入するしかありません。当事者同士で解決できない構造を持つのがいじめ、ですから深刻化し、自殺までいってしまうことさえあります。

この構造をどこかで崩せば、いじめは変えられます。どこを崩すか、なのです。定義の一番上と一番下が重要です。力の不均衡があるのを均衡させること、不公平な影響の加害者側が気づけるように、支援することが重要です。つまりこのキーワードにいじめ関係を壊していくヒントがあります。

私たちは、四つのキーワードを子どもたちに教えます。いじめの定義の共有は予防効果を高めます。力の不均衡は人間社会のどこにでもあることです。子ども同士でも、先輩後輩にも、どこでもあります。力の不均衡そのものはあつてかまいません。

いけないのは力の濫用です。範囲を超えた力の濫用がいけない、という意味ですから、そこ

いじめ予防を考える

いじめ、問題行動予防の 前提となる集団づくり

いじめをなくすにはまず大人が変わること。子どもを変えるためには、まず私たちが変わらなければいけません。私たちが正しい知識、正しい方法を知る。組織として、地域として、継続的に、具体的に、傍観者から介入者にならなければいけません。

(公社) 子どもの発達科学研究所 主席研究員 **和久田 学**
Manabu Wakuta

ほぼ一〇〇が いじめの経験者

皆さんはいじめの経験者ですか。加害者か、被害者だったかもしれません。傍観者だったかもしれません。私たちはいじめ予防プログラムを行っていますが、その冒頭で個人個人に自分の過去を振り返ってもらいます。傍観者まで入れば、ほぼ一〇〇がはいじめの経験者です。それがいじめの対応を難しくしています。

いじめは、不登校、ニート、ひきこもり、精神疾患の危険因子(リスクファクター)なので、いじめにあった人には、悪い方に転がってしまう人が結構多いのです。深刻ないじめだったら、PTSD(Post Traumatic Stress Disorder 心的外傷後ストレス障害)で苦しむかもしれません。うつになってしまうかもしれません。自殺までいくかもしれません。

今ここにおられる皆さんは、教員、企業のオーナー、いろいろな社会的な立場をお持ちです。精神的余裕を持って、何かしてあげようと思っ

とで気を紛らわせることができた。そうした保護因子(プロテクティブファクター)があったからたといじめが深刻でも、ここにいることができたのです。

危険因子の影響をもらに受けた人はここにいられません。ですから、いじめに関して、特に弱者への支援を考える時には、皆さんが持つている経験則は一回、横に置かなければいけないのです。「おれはこうだった」というのでは、今、本当に苦しい、もしくは苦しむであろう弱者の子どもには手は伸ばせません。昔の自分たちとは状況が違うのです。

私たちが頼るべきなのは、科学的な根拠です。まず、ただ遊んでいるだけなのか、いじめなのかある程度、分けていかないとけません。大人が「それはいじめだ」として介入すべきなのか、子どもの学びの場として本人たちで解決すべきなのか、わからないといけません。

今日はいじめの定義として、マール・ボンズ(Marla Bounds)らが二〇〇一年に出した、四つのキーワードを共有したいと思っています。「力の不均衡」「繰り返しされる行動」「意図的なネガティブな行動」「不公平な影響」の四つです。

一つ目、いじめは「力の不均衡」なところに存在します。その力の不均衡は肉体的なものだけではなく、精神的、社会的、知的な力の不均衡を含みます。どこにでも力の不均衡がある、ということが重要です。大人の世界で起きるパワハラとちよつと似ています。

二つ目、「繰り返しされる行動」。いじめは一定期間、何回も何回もある。もちろん一回でも深

12月は疾病予防と治療月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

いじめ予防を考える

いじめ、問題行動予防の前提となる集団づくり…… 4

■(公社)子どもの発達科学研究所 主席研究員 和久田 学

シリーズ わがまち……そしてロータリー…… 9

音楽・山岳・学問 誇らかに「三ガク」の町

長野県 松本市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

友愛の広場

忘れられていた日本兵の軌跡

中国との発展的な未来を願って

古澤丈作『行商日記』

今こそ『ロータリー通解』を

ムハンマドの猫

『少年皇族の見た戦争』を読む

『ロータリーの友』の一枚の写真から

世界各国五ニクラブでバナー交換

世界へのプレゼントになろう

『ロータリーの友』賛歌

●バナー自慢

卓話の泉

特別警報とは

増えるうつ病 変わる治療

成田空港におけるLCCの現状

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

◆稲畑 汀子 選

◆佐佐木幸綱 選

◆てじま晩秋 選

20

野田俊一郎

松井 宏夫

西浦 文吾

22

22

22

13

桐生西 野村 滋

相模原橋本 橋本 欽至

高崎シンフォニー 金子 秀隆

明石西 多胡 健吾

名古屋和合 鷺塚 貞長

市川 山崎 敬生

村上 西坂 寛

東京蒲田 野口 広

和光 加藤 洋子

桑名西 鶴田 正道

ロータリー・アット・ワーク

プロバスケット選手を

招きクリニック開催

名古屋城北ロータリークラブ

〈写真〉八代／彦根／額娃／さいたま中央／佐久／

新潟南／熊本菊南／魚津西／大阪梅田／葦崎／

函館／越谷南

岡山ネクスステージジャズコンサート

音楽で福知山を元気に！ コンサート開催

国際交流コンサート 富士へ響け友好の歌声

来日学生の特別合宿オリエンテーション

事業検証のためスリランカを訪問

二国間の友好港調印をロータリーが橋渡し

米山梅吉記念館訪問バスハイク

被爆七〇年目を前に平和記念公園で早朝清掃

創立四〇周年を前に物故者追悼法要例会

御巣鷹の尾根 慰霊・清掃登山

離島甲子園開催！ おもてなしの清掃活動

第三回中学校新人野球大会開催

ロータリークラブって何ですか？

会長の熱い思い！ 高校生を対象に上映会

ニタマ駅長もうれしいにやん

表紙のメッセージ 岡井 耀毅

表紙 横組み 「都会のオアシス」 大須賀 予優子(二七六〇 岡崎南)

縦組み 「くま川下り」 梅田 勇(二七二〇 人吉中央)

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 眞牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4〜5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

35

和歌山東南

行橋

杉戸

上川

藤岡

武生府中

広島西南

第二五八〇地区



24

岡山旭川

福知山西南

三島

第二七七〇地区

神奈川

八代南

第二五八〇地区

広島西南

武生府中

藤岡

上川

杉戸

行橋

和歌山東南

第二五八〇地区

広島西南

武生府中

藤岡

上川

杉戸

行橋

和歌山東南

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
 Home Page
www.rotary.or.jp



© Alyce Henson / Rotary International

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO DECEMBER 2015 VOL.63 NO.12

ロータリーの友12月号 第63巻 第12号
平成27年12月1日発行(毎月1日発行)
通巻756号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

12
2015



SPEECH ———

いじめ予防を考える

和久田 学

わがまち……そしてロータリー
長野県松本市

Rotary 